

# 広 報 資 料

(市政, 経済同時)

平成 22 年 7 月 16 日  
京 都 市 産 業 観 光 局  
(担当: 商工部産業政策課 TEL 075-222-3325)

## 市内中小企業の景況について

(第 95 回京都市中小企業経営動向実態調査)

市内中小企業の経営実態, 経営動向などを把握するため, 四半期ごとに実施している「京都市中小企業経営動向実態調査」の調査結果がまとまりましたので, 報告します。

### 京都市中小企業経営動向実態調査の概要

- ・ 調査目的 京都市域中小企業の経営実態を把握し, 経済行政に反映させる。
- ・ 調査時点 平成 22 年 6 月
- ・ 調査対象期間 平成 22 年 4~6 月期 (3 箇月実績) / 平成 22 年 7~9 月期 (3 箇月見通し)
- ・ 調査方法 郵送アンケート
- ・ 回収状況 製造業 380 社, 非製造業 420 社, 計 800 社に対しアンケートを送付。514 社が回答 (回収率 64.3%)。

#### 業種別回答企業数 (%)

項 目	企業数 (構成比)	項 目	企業数 (構成比)
製造業	252 ( 49.0 )	非製造業	262 ( 51.0 )
西陣	26 ( 5.1 )	卸売	67 ( 13.0 )
染色	36 ( 7.0 )	小売	60 ( 11.7 )
印刷	27 ( 5.3 )	情報通信	23 ( 4.5 )
窯業	19 ( 3.7 )	飲食・宿泊	28 ( 5.4 )
化学	17 ( 3.3 )	サービス	49 ( 9.5 )
金属	21 ( 4.1 )	建設	35 ( 6.8 )
機械	29 ( 5.6 )	不明	0 ( 0.0 )
その他の製造	77 ( 15.0 )	合 計	514 ( 100.0 )

#### ▶ DI=Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)

増加, 上昇などと回答した企業の企業割合から, 減少, 低下などと回答した企業割合を差し引いた数値。50 を基準として, それより上である場合は, 上向き傾向を表す回答が多いことを示し, 下である場合は, 下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

#### ▶ 中小企業の定義

中小企業基本法に基づき, 業種別に以下のとおり設定している。

業種	従業員規模/資本金規模
製造業, その他の業種	300 人以下 又は 3 億円以下
卸売	100 人以下 又は 1 億円以下
小売	50 人以下 又は 5,000 万円以下
サービス (情報通信, 飲食・宿泊を含む。)	100 人以下 又は 5,000 万円以下

★この広報資料については, インターネットホームページでも御覧いただけます。

URL [http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0\\_1.html](http://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/soshiki/7-1-11-0-0_1.html)

# 調査結果概要

## 1. 景気動向調査について

- 製造業、非製造業ともに、取引先の稼働率の改善や生産調整の緩和、営業力の強化や得意先の開拓などにより、企業景気DIは4期連続で上昇。全体の企業景気DIは40ポイント台まで改善しているものの、本格的な景気回復といった声は少ない。
- 来期見通しについては、非製造業の企業景気見通しDIが上昇したものの、製造業の企業景気見通しDIの低下により、全体の企業景気見通しDIは若干低下。加えて、設備投資の見通しも低水準であり、景気動向は依然として先行き不透明な状況にある。

### (1) 今期実績 平成22年4～6月期

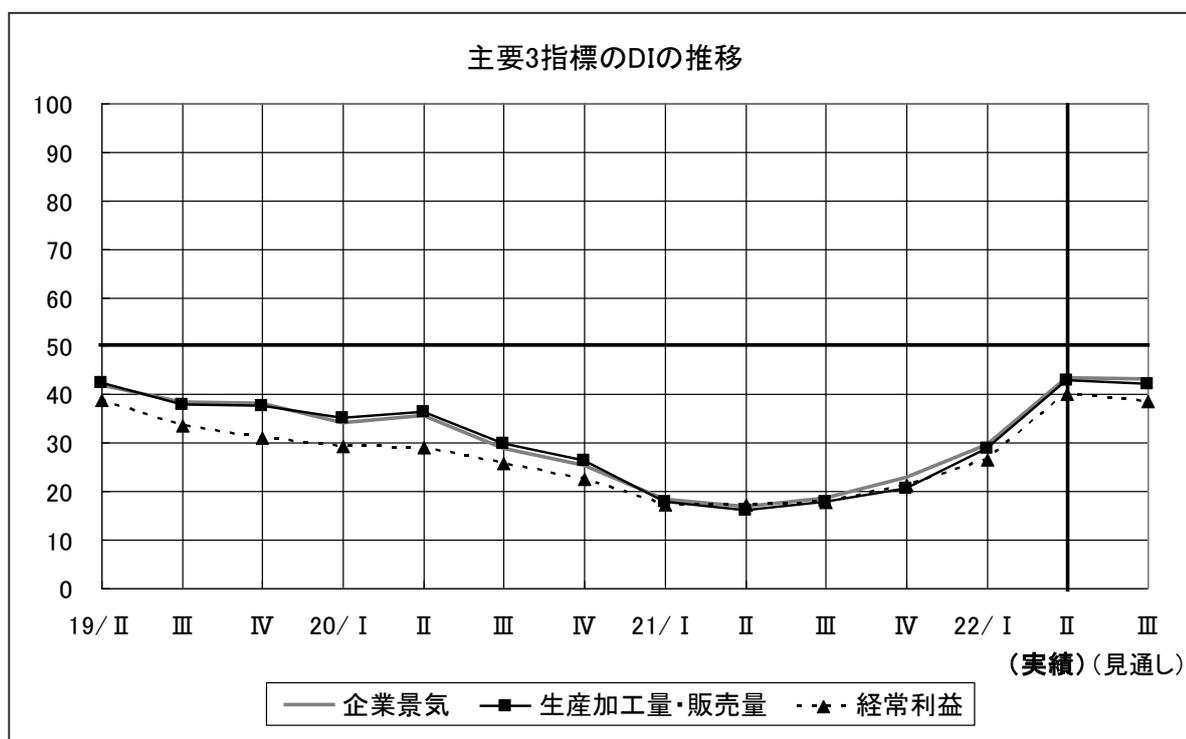
今期（平成22年4～6月期）の全業種の主要3指標DIは、企業景気DIが43.4と前期と比較し、13.8ポイントの上昇となった。生産加工量・販売量DIは、42.8で同13.9ポイント、経常利益DIは、40.1で同13.6ポイントの上昇となった。

#### ・今期実績

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.4 (△ 13.8)	42.8 (△ 13.9)	40.1 (△ 13.6)
(製造業)	49.2 (△ 15.3)	49.0 (△ 14.2)	47.4 (△ 15.8)
(非製造業)	37.8 (△ 12.4)	36.3 (△ 13.8)	33.0 (△ 11.5)

注：カッコ内は前期との差（今期マイナス前期。△は上昇を示す。）

#### ・主要3指標のDIの推移



今期の企業景気DIは、製造業、非製造業ともに4期連続の上昇となり、平成19年II期（平成19年4～6月期）以来、12期ぶりに40ポイント台の水準となった。

製造業では、「海外からの低価格商品の影響で、地元の陶磁器の生産、販売が不振」（山科区／窯業）、「一般消費動向の停滞感は強く、売上単価や数量が伸びない」（東山区／窯業）のように、安価な商品との競合や一般消費動向の低迷を背景として、窯業のDIは低下した。

一方、前期に企業景気DIが一桁台であった染色は、「受注単価は厳しいが、営業力の強化で既存得意先か

らの受注数量はやや増加」(右京区/染色)と、営業努力による業況改善の声が一部で聞かれ、企業景気DIは上昇している。同じく地場産業の西陣においても、「得意先開拓による売上の維持、経費圧縮による収益の改善」(上京区/西陣)といった、得意先の開拓や経費の圧縮などで企業景気DIは若干改善している。

また、「得意先の稼働が改善され、受注も増加」(右京区/印刷)、「太陽電池、液晶関連での需要が増加している」(左京区/化学)、「自動車関連業界からの受注が改善」(伏見区/金属)、「得意先における生産調整の緩和により、受注状況は改善」(右京区/機械)、「半導体関連業界からの受注が増加基調」(中京区/機械)、「太陽光発電装置、家電機器関連からの案件が増加し、収益もやや改善」(南区/その他の製造)の声にあるように、太陽光発電装置、家電機器、半導体、自動車関連などの各種業界において、取引先の稼働率改善や生産調整の緩和で受注状況が改善し、印刷、化学、金属、機械、その他の製造の企業景気DIは上昇した。結果、製造業全体の企業景気DIも押し上げられ、2期連続10ポイント台の上昇幅となった。

しかしながら、「昨年が悪すぎた」(中京区/印刷)、「昨年に比べると売上は増加しているが、リーマンショック前の水準よりは低い」(伏見区/化学)、「昨年の最悪期に比べての上昇。一昨年の70%程度の状態であり、収益は厳しい」(伏見区/金属)、「昨年同時期よりは改善しているが、本格的な回復ではない」(山科区/機械)など、リーマンショック前の水準には戻っていないとの声も多かった。また、「一部の得意先では生産調整を継続している」(上京区/その他の製造)と、厳しい経営環境を指摘する意見も聞かれた。

非製造業においては、「昨年同時期は、新型インフルエンザ流行の影響でかなり落ち込んだため、昨年比では業況が改善」(東山区/小売)、「昨年は新型インフルエンザの影響で予約のキャンセルが相次いだが、今年は予約状況が安定している」(北区/飲食・宿泊)など、昨年に猛威を振るった新型インフルエンザの収束による利用客や予約状況の改善により、小売や飲食・宿泊の企業景気DIは上昇している。また、「工事を延期していた顧客からの発注があった」(中京区/建設)、「得意先の業況回復に伴い、システムの改良案件が増加」(南区/情報通信)、「4月以降、電気機器や半導体業界からの受注案件が増加」(南区/卸売)、「提案営業の強化で、新規・既存先ともに受注量が回復」(下京区/卸売)、「顧客満足度を追求した企画販売により、販売状況は安定」(伏見区/サービス)と、取引先の業況改善に伴う受注量の回復、営業体制や企画力の強化といった経営努力により、建設、情報通信、卸売、サービスの景況感も改善されている。その結果、すべての業種で企業景気DIは上昇し、非製造業全体では製造業同様、10ポイント台の上昇幅となった。

観光関連については、一般消費動向の低迷が続き、同業他社との競合も激化するなど、依然厳しい環境下にある。しかし、新型インフルエンザ問題が落ち着いたこともあり、昨年と比べて業況が改善している企業は多く、景況感も改善傾向にある。

今回の調査では、京都市内の中小企業において、取引先の稼働率や生産調整の緩和による受注状況の改善に加えて、営業力の強化や得意先開拓などの経営努力で業績が向上したとの声があり、全体の企業景気DIは前期と同様に上昇した。しかしながら、製造業では昨年の最悪期よりは改善したものの、リーマンショック前の水準を上回ったという声は少なく、設備投資状況も依然低調である。非製造業においても、昨年の新型インフルエンザ問題の収束で受注が戻った程度であり、一昨年の水準以上になったという声は少ない。仕入単価も上昇傾向にあり、一般消費が依然として低調な推移であることを考慮すると、景気が本格的に回復したとは未だ言い切れない状況である。

主要3指標DIがいずれも上昇した業種は14業種中12業種であり、いずれも低下した業種はなかった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
機械	65.5 (△ 27.5)	63.8 (△ 21.8)	62.1 (△ 34.1)
飲食・宿泊	41.1 (△ 25.1)	41.1 (△ 28.6)	35.2 (△ 23.2)
卸売	43.3 (△ 21.3)	43.8 (△ 24.6)	36.4 (△ 9.9)
印刷	64.8 (△ 21.0)	63.0 (△ 8.7)	51.9 (△ 16.5)
化学	76.5 (△ 19.0)	76.5 (△ 19.0)	70.6 (△ 15.3)
その他の製造	46.1 (△ 16.7)	48.0 (△ 18.3)	45.9 (△ 17.8)
染色	25.0 (△ 15.9)	22.9 (△ 13.8)	30.0 (△ 16.4)
金属	73.8 (△ 12.7)	73.8 (△ 18.2)	69.0 (△ 10.7)
情報通信	45.7 (△ 11.8)	43.2 (△ 5.2)	43.2 (△ 18.2)
サービス	37.8 (△ 8.6)	32.4 (△ 5.0)	36.4 (△ 10.8)
小売	30.8 (△ 8.0)	30.4 (△ 8.7)	25.9 (△ 9.5)
建設	31.4 (△ 0.8)	27.3 (△ 6.1)	25.7 (△ 6.6)

注：カッコ内は前期との差(今期マイナス前期、△は上昇を示す)

## (2) 来期見通し 平成 22 年 7～9 月期

来期（平成 22 年 7～9 月期）の全業種の主要 3 指標見通し DI は、企業景気 DI が 43.0 となり、今期と比較し 0.4 ポイント低下した。生産加工量・販売量 DI は、42.2 で同 0.6 ポイント低下、経常利益 DI は、38.7 で同 1.4 ポイントの低下となった。

・来期見通し

	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
全業種	43.0 (▼ 0.4)	42.2 (▼ 0.6)	38.7 (▼ 1.4)
(製造業)	46.6 (▼ 2.6)	46.4 (▼ 2.6)	43.3 (▼ 4.1)
(非製造業)	39.5 (△ 1.7)	37.9 (△ 1.6)	34.3 (△ 1.3)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

製造業では、「新規得意先の開拓が進み、売上自体は増加」（上京区／染色）、「客単価の増加が期待できないため、購入しやすい価格帯の製品販売で、数量の増加を期待」（東山区／窯業）と、取引先の開拓、ニーズに対応した価格帯製品の販売強化などにより、染色、窯業の企業景気 DI の来期見通しは上昇している。

反面、「得意先の廃業や需要低下により、受注状況は一向に良くならない」（上京区／西陣）と、厳しい業界環境を背景に、西陣の企業景気 DI の来期見通しは横ばいとなっている。また、「同業者間での受注競争の激化が予想され、業容の拡大は期待できない」（南区／印刷）、「業況の悪化している得意先もあり、売上増加は厳しい」（伏見区／化学）、「得意先における設備投資ニーズが少なく、先行き不透明」（南区／金属）、「民間設備投資案件は依然として伸び悩んでいる」（伏見区／その他の製造）、「4 月以降、受注件数は増加しているが、先行きの受注見通しは不透明」（南区／機械）のように、同業他社との競合、得意先の業況悪化に伴う業績の低迷、設備投資の伸び悩み、先行きの不透明感などから、景気の先行きを不安視する声もある。その結果、印刷、化学、金属、機械、その他の製造に関する企業景気 DI の来期見通しは低下しており、製造業全体における企業景気 DI の来期見通しを押し下げている。

非製造業では、「今後も同業他社との単価競合は続き、厳しい見通し」（山科区／建設）、「業界環境の低迷で、まとまった金額の工事案件が少ない」（右京区／建設）など、同業他社との競争の激化、取り巻く業界環境の停滞により、建設では今後の景況感の改善に厳しい見方となっている。また、「消費動向は厳しく、予約件数、客単価の伸びは期待できない」（中京区／飲食・宿泊）、「一般消費者の節約意識の高まりにより、売上は横ばいが精一杯」（伏見区／サービス）と、一般消費動向の低迷を背景に、飲食・宿泊、サービスの企業景気 DI の来期見通しは横ばいにとどまっている。

一方、「得意先とタイアップしながら市場ニーズにマッチした商品の販売を開始」（下京区／卸売）、「既存顧客への細かいフォローにより、リピート販売が増えている」（中京区／小売）、「得意先との関係強化で、金額は小さいながらも開発件数は増加傾向」（下京区／情報通信）と、市場ニーズを追求した商品販売、顧客サービスの向上、取引先への営業強化などにより、卸売、小売、情報通信では景況感の改善を予測しており、結果として非製造業に関する企業景気 DI の来期見通しは若干上昇している。

国内経済においては前期同様、中国やインドなどのアジアを中心とした新興国での需要増により、電機、自動車を始めとする生産活動の回復が続いた。その他、家電エコポイントやエコカー減税の継続、住宅版のエコポイント制度の開始といった、消費の喚起政策などを通して、幅広い業界で改善傾向にある。6 月には子ども手当や高校授業料の実質無償化といった家計支援策の開始により、一般消費動向の回復も期待されるが、一方で、エコカー補助金制度が 9 月で終了すること、新興国の需要増を背景とした原材料価格の高騰などが懸念材料として挙げられ、内需の本格的な回復は見込めない状況である。

市内中小企業の非製造業においては、市場ニーズに対応した商品展開、顧客サービスの向上、取引先への営業力の強化といった経営努力により、景況感の改善が予測されているものの、改善予測幅は若干にとどまっている。また、製造業については、同業他社との競合、取引先の業況低迷、先行きの不透明感などから、景気の先行きが不安視されている。加えて、設備投資 DI の来期見通しも 10 ポイント台の低水準にあり、景気の好転には不透明な面もあることから、企業の稼働状況、雇用状況、一般消費動向を中心に注視していく必要がある。

主要3指標DIがいずれも上昇と予測している業種は3業種であり、いずれも低下と予測している業種は5業種となった。

<3指標上昇業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
卸売	47.8 (△ 4.5)	45.2 (△ 1.4)	42.3 (△ 5.9)
小売	35.0 (△ 4.2)	33.6 (△ 3.2)	29.1 (△ 3.2)
染色	30.6 (△ 5.6)	25.0 (△ 2.1)	30.9 (△ 0.9)
<3指標低下業種>	企業景気DI	生産加工量・販売量DI	経常利益DI
金属	57.1 (▼ 16.7)	57.9 (▼ 15.9)	57.9 (▼ 11.1)
印刷	55.6 (▼ 9.2)	53.7 (▼ 9.3)	42.6 (▼ 9.3)
建設	27.1 (▼ 4.3)	26.6 (▼ 0.7)	23.5 (▼ 2.2)
化学	73.5 (▼ 3.0)	75.0 (▼ 1.5)	63.3 (▼ 7.3)
その他の製造	44.2 (▼ 1.9)	45.1 (▼ 2.9)	42.4 (▼ 3.5)

注：カッコ内は今期との差（来期マイナス今期。△は上昇、▼は低下を示す。）

・主要3指標DI業種別推移（前期／今期／来期見通し）

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
全業種	29.6	<b>43.4</b>	43.0	28.9	<b>42.8</b>	42.2	26.5	<b>40.1</b>	38.7
製造業	33.9	<b>49.2</b>	46.6	34.8	<b>49.0</b>	46.4	31.6	<b>47.4</b>	43.3
非製造業	25.4	<b>37.8</b>	39.5	22.5	<b>36.3</b>	37.9	21.5	<b>33.0</b>	34.3

	企業景気DI			生産加工量・販売量DI			経常利益DI		
	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し	前期	今期	来期見通し
製造業	33.9	<b>49.2</b>	46.6	34.8	<b>49.0</b>	46.4	31.6	<b>47.4</b>	43.3
西陣	28.6	<b>30.8</b>	30.8	26.8	<b>30.0</b>	34.0	29.6	<b>28.0</b>	30.0
染色	9.1	<b>25.0</b>	30.6	9.1	<b>22.9</b>	25.0	13.6	<b>30.0</b>	30.9
印刷	43.8	<b>64.8</b>	55.6	54.3	<b>63.0</b>	53.7	35.4	<b>51.9</b>	42.6
窯業	35.7	<b>34.2</b>	36.8	35.7	<b>31.6</b>	36.8	31.0	<b>36.8</b>	34.2
化学	57.5	<b>76.5</b>	73.5	57.5	<b>76.5</b>	75.0	55.3	<b>70.6</b>	63.3
金属	61.1	<b>73.8</b>	57.1	55.6	<b>73.8</b>	57.9	58.3	<b>69.0</b>	57.9
機械	38.0	<b>65.5</b>	62.1	42.0	<b>63.8</b>	64.3	28.0	<b>62.1</b>	58.9
その他の製造	29.4	<b>46.1</b>	44.2	29.7	<b>48.0</b>	45.1	28.1	<b>45.9</b>	42.4
非製造業	25.4	<b>37.8</b>	39.5	22.5	<b>36.3</b>	37.9	21.5	<b>33.0</b>	34.3
卸売	22.0	<b>43.3</b>	47.8	19.2	<b>43.8</b>	45.2	26.5	<b>36.4</b>	42.3
小売	22.8	<b>30.8</b>	35.0	21.7	<b>30.4</b>	33.6	16.4	<b>25.9</b>	29.1
情報通信	33.9	<b>45.7</b>	47.8	38.0	<b>43.2</b>	42.5	25.0	<b>43.2</b>	35.0
飲食・宿泊	16.0	<b>41.1</b>	41.1	12.5	<b>41.1</b>	41.1	12.0	<b>35.2</b>	33.3
サービス	29.2	<b>37.8</b>	37.8	27.4	<b>32.4</b>	36.8	25.6	<b>36.4</b>	37.5
建設	30.6	<b>31.4</b>	27.1	21.2	<b>27.3</b>	26.6	19.1	<b>25.7</b>	23.5
観光関連企業	15.3	<b>48.8</b>	47.6	17.4	<b>45.0</b>	47.5	13.5	<b>39.7</b>	39.7

・設備投資DI推移（前期／今期／来期見通し）

	設備投資DI		
	前期	今期	来期見通し
製造業	9.6	<b>13.7</b>	16.3

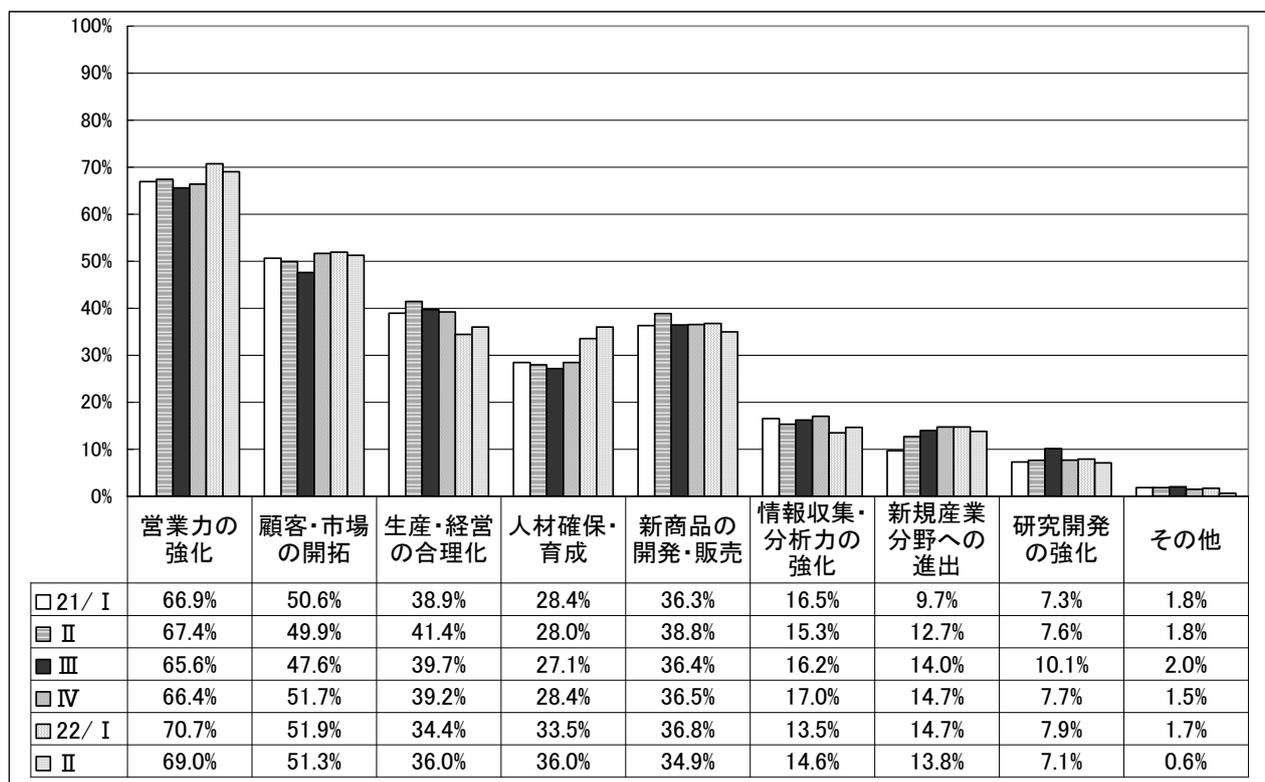
## 2. 当面の経営戦略について

- 「営業力の強化」を挙げる企業が69.0%で引き続きトップ。
- 「人材の確保・育成」の割合が増加している。

当面の経営戦略としては、「営業力の強化」を挙げる企業が全体の69.0%を占め、最も多くなっている。以下、「顧客・市場の開拓」51.3%、「生産・経営の合理化」及び「人材確保・育成」36.0%、「新商品の開発・販売」34.9%の順となっている。

前期と比較すると、「新商品の開発・販売」が3位より5位へと下がったものの、回答数上位5項目の内容に変動はなかった。上位1位の「営業力の強化」及び2位の「顧客・市場の開拓」は減少に転じており、前期5ポイント近く落ち込んだ「生産・経営の合理化」は、4期ぶりの増加傾向にある。「人材確保・育成」については3期連続の増加となっており、業種としては、化学が前期比で50ポイント近い上昇であった。わずかながら回復基調にある景況の影響を受け、人材登用に向けた取組を継続しているものと推察される。

その他の意見としては、「副職・副業をしないといけない（西京区／小売）」といった、厳しい経営状況を示唆するものや、「海外（中国）への商品及び販売システムの提供」（中京区／小売）といった、具体的な販売戦略などが挙げられていた。



注：この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

### 3. 経営上の不安要素について

- 「売上不振」を挙げる企業が、前期比では4.0ポイント減少したものの、62.0%で依然トップ。
- 前期との比較で最も増えたのは「原材料価格上昇」で、6.5ポイントの増加。

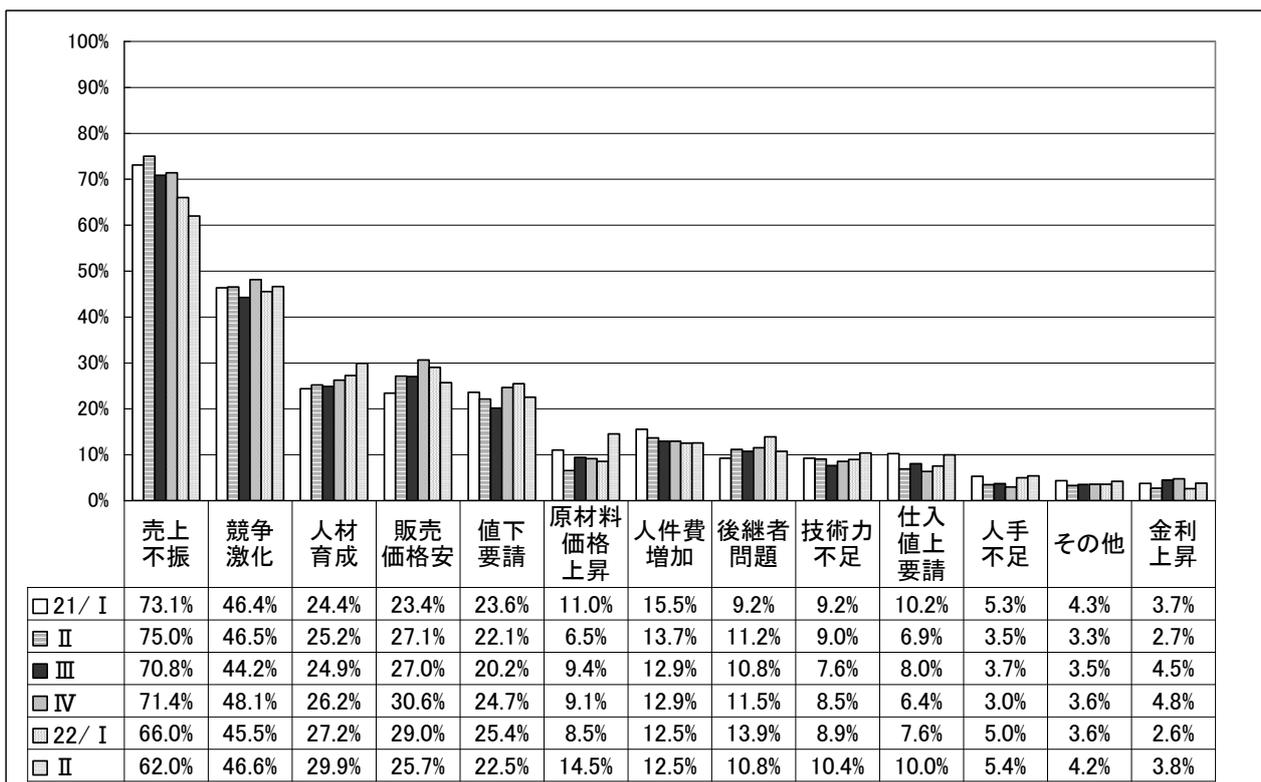
経営上の不安要素としては、「売上不振」を挙げる企業が62.0%を占めており、「競争激化」46.6%が続いている。以下、「人材育成」29.9%、「販売価格安」25.7%、「値下要請」22.5%の順となっている。

前期と比較すると、「人材育成」及び「販売価格安」が逆転したものの、回答数上位5項目の内容には変更がなかった。減少率が最も高かったのは、1位の「売上不振」であり、4.0ポイントの減少となっている。逆に、増加率が最も高かったのは、6位の「原材料価格上昇」であり、4.5ポイントの増加となっている。なお、「原材料価格上昇」に関しては、14.5%と5期ぶりに10%台になっている。

業種別に見たところ、全体と同様に「売上不振」を挙げる業種が最も多かったものの、機械では、「売上不振」と「競争激化」が拮抗している。印刷は、「競争激化」の比率が70%超で最も高く、サービス、建設でも同様に、「競争激化」が高くなっている。化学は、「人材育成」が最も高い結果となっていた。

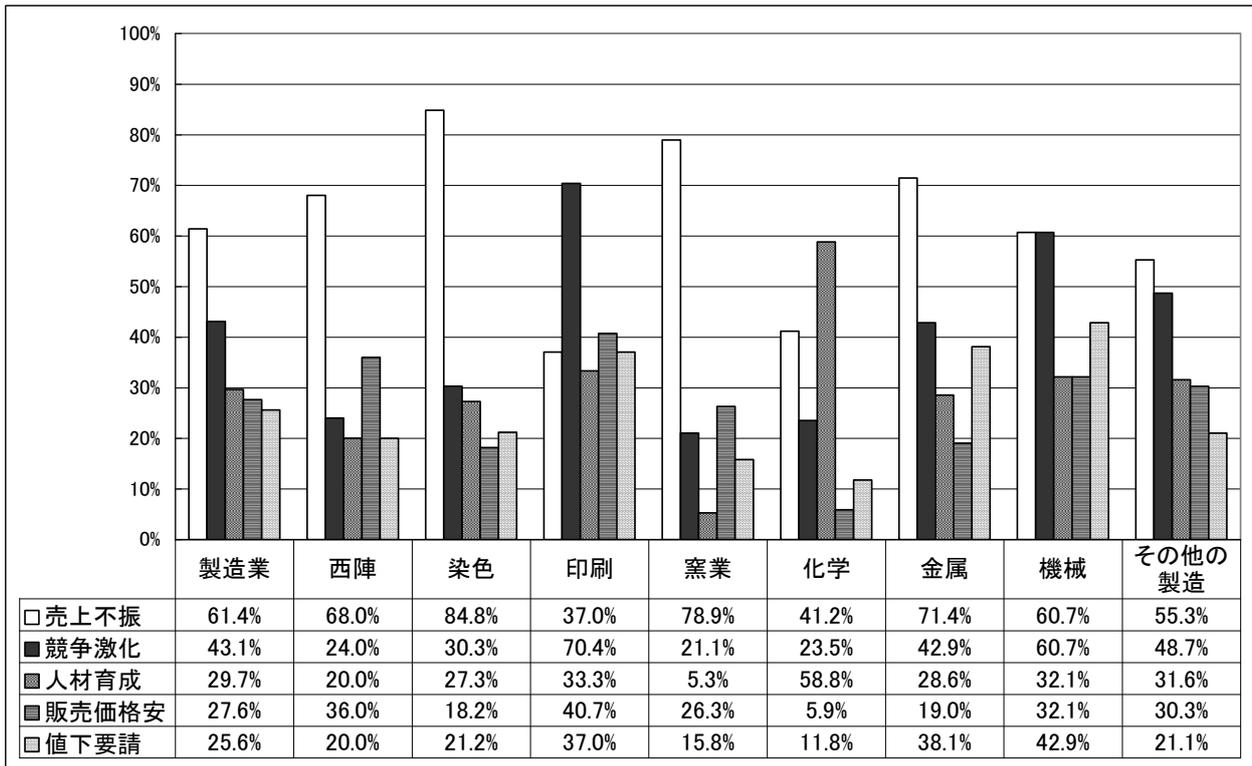
なお、「原材料価格上昇」については、回答のあった53件の内、生糸や紙などの素材関連が19件で35%強を占めており、金属関連の13件が続いている。燃料・原油価格との回答は8件であった。

その他の意見としては、「為替の影響」や「景気」との回答数が最も多く、他には「海外移管による売上減」(右京区/その他の製造)、「特定原資材の品薄状況」(南区/化学)に対する不安などが挙げられていた。

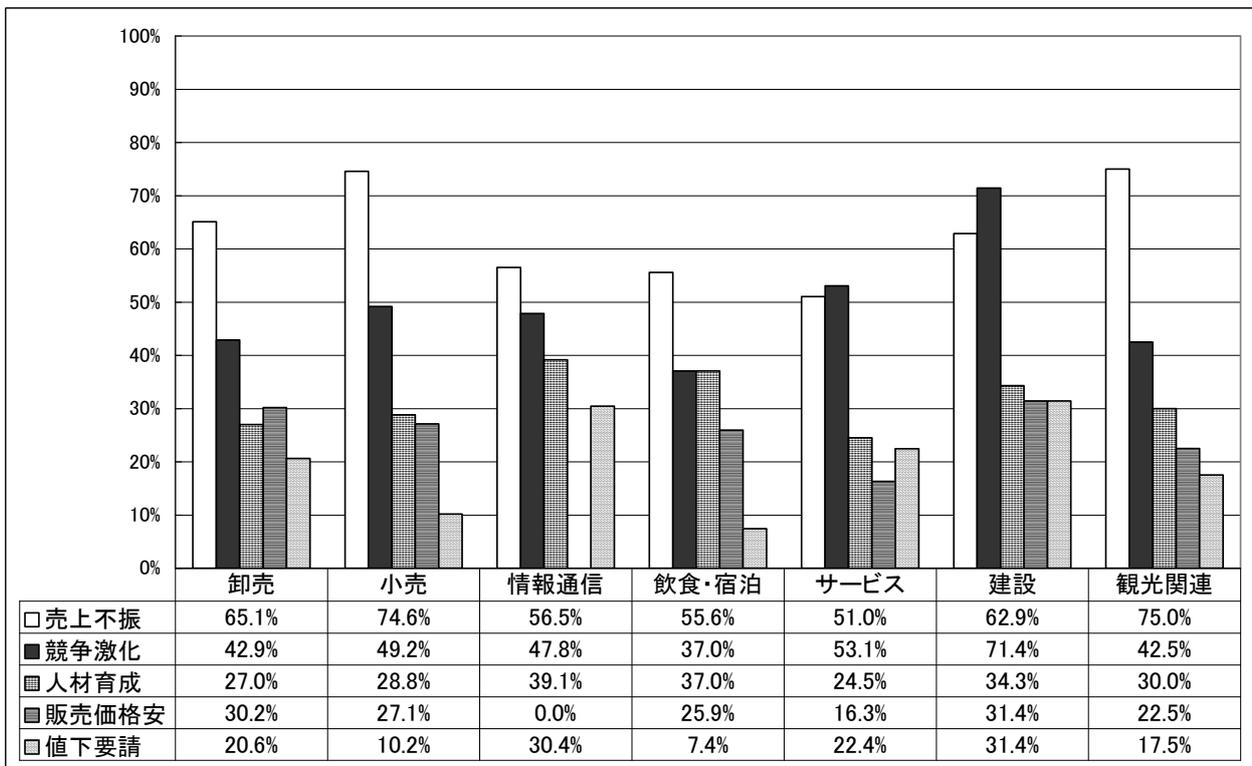


この設問については複数回答であるため、各回答の割合の合計が100%を超える。

・経営上の不安要素・製造業主要回答

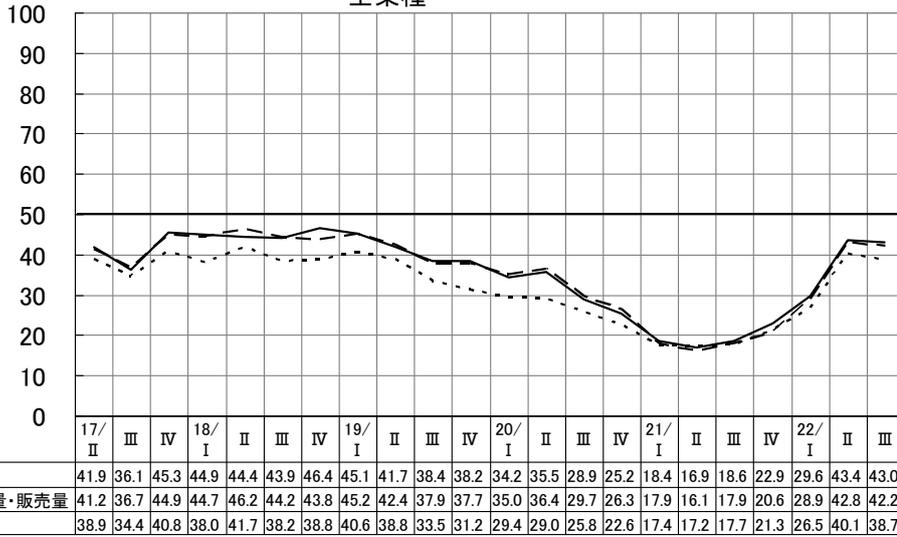


・経営上の不安要素・非製造業主要回答



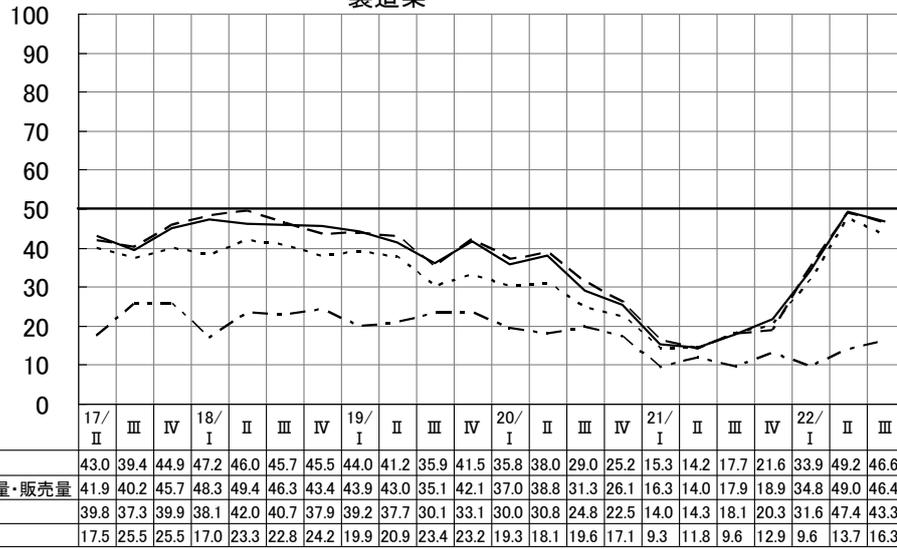
参考1：業種別主要3指標DI推移 ※製造業は、設備投資DIを含む。

全業種



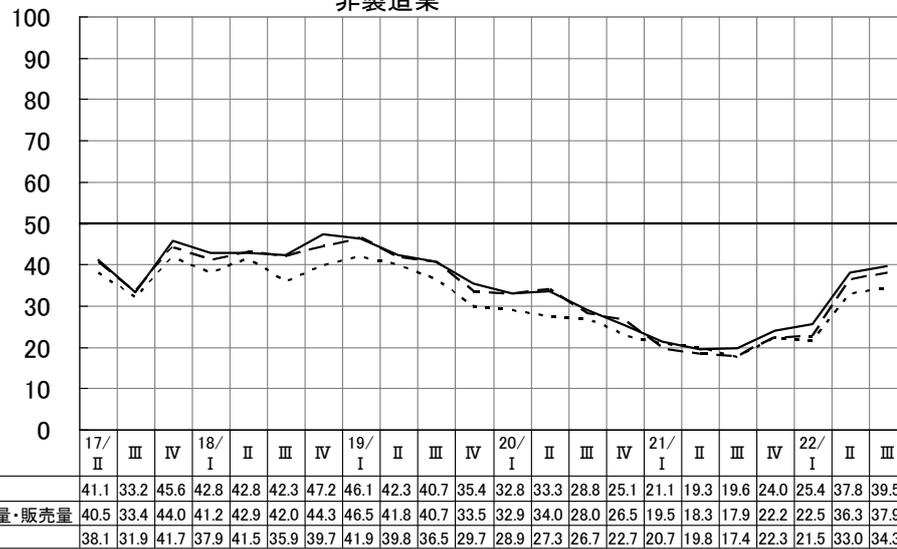
(見通し)

製造業



(見通し)

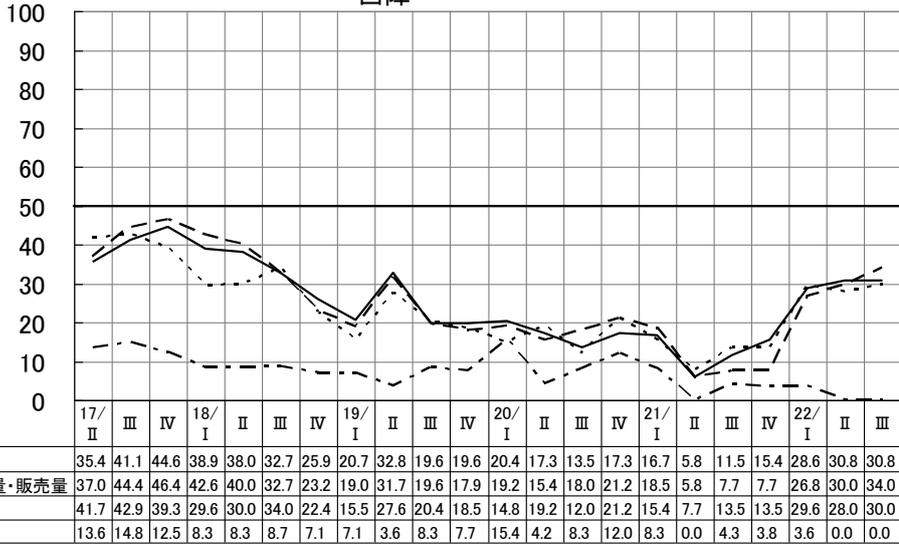
非製造業



(見通し)

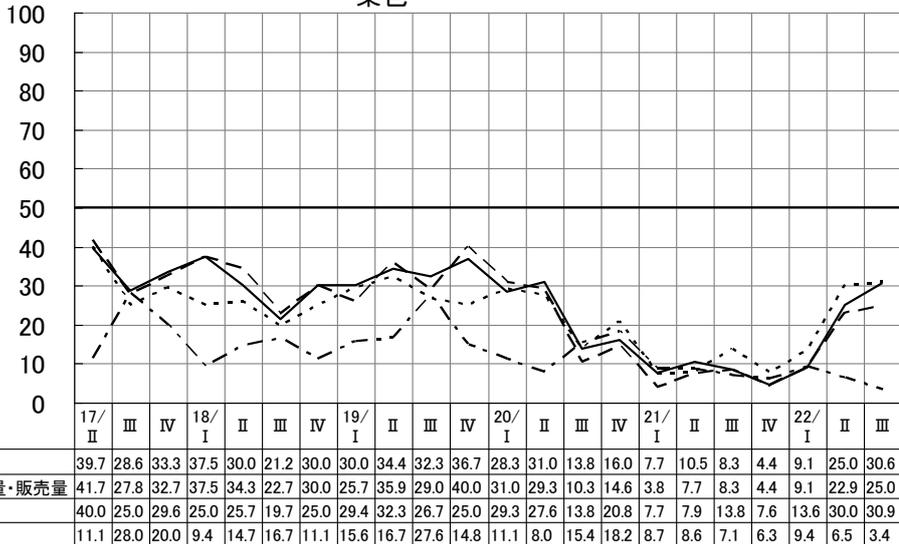
参考2：業種別主要3指標DI・設備投資DI推移

西陣



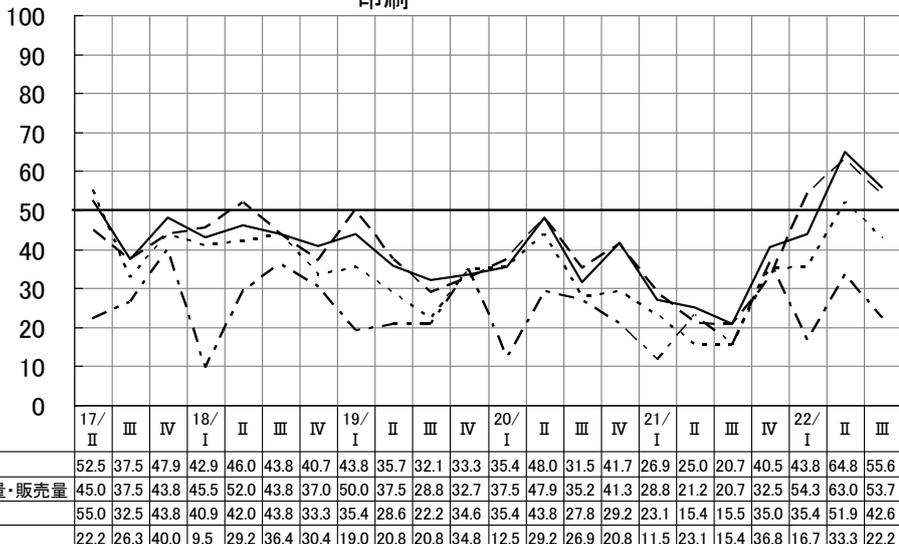
(見通し)

染色



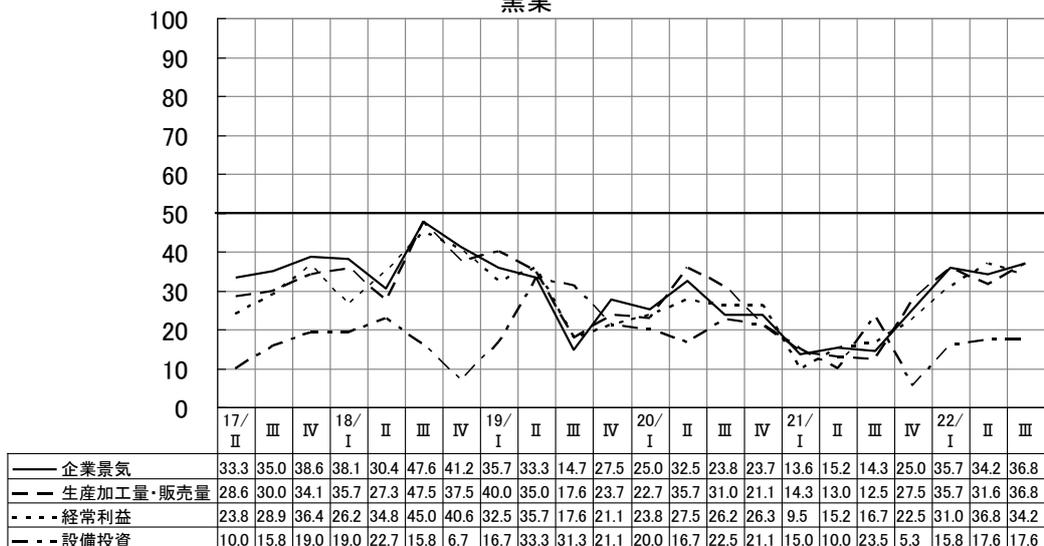
(見通し)

印刷



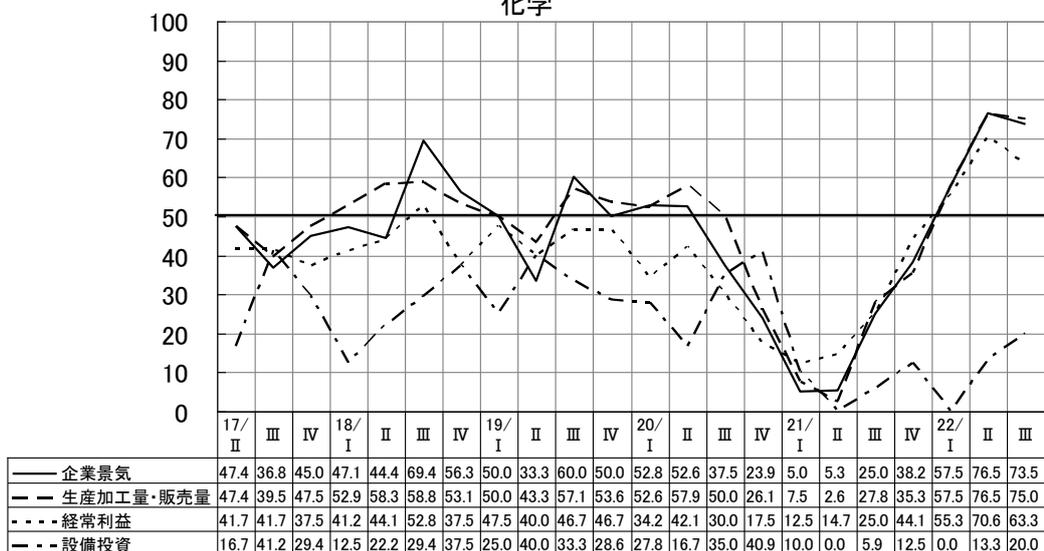
(見通し)

### 窯業



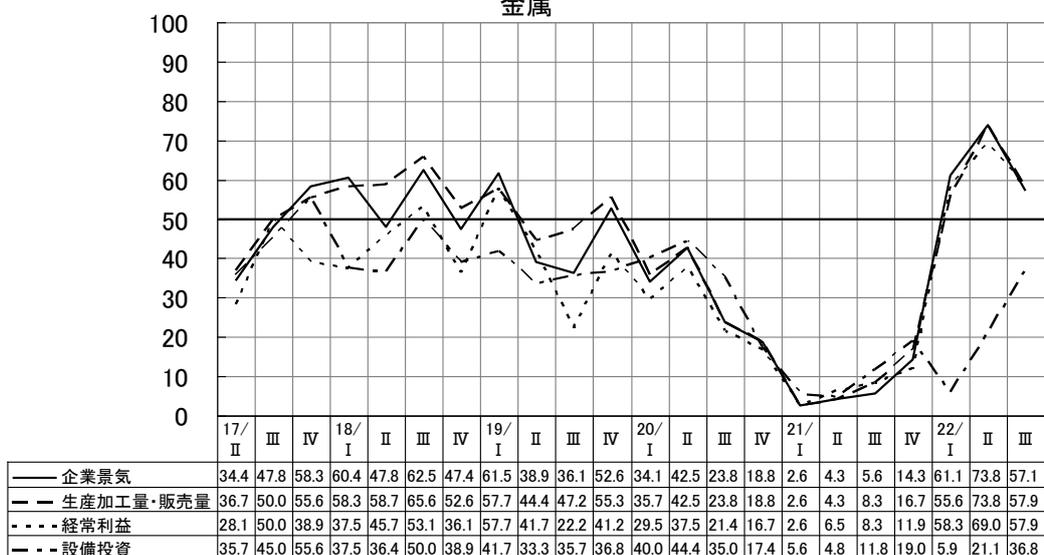
(見通し)

### 化学



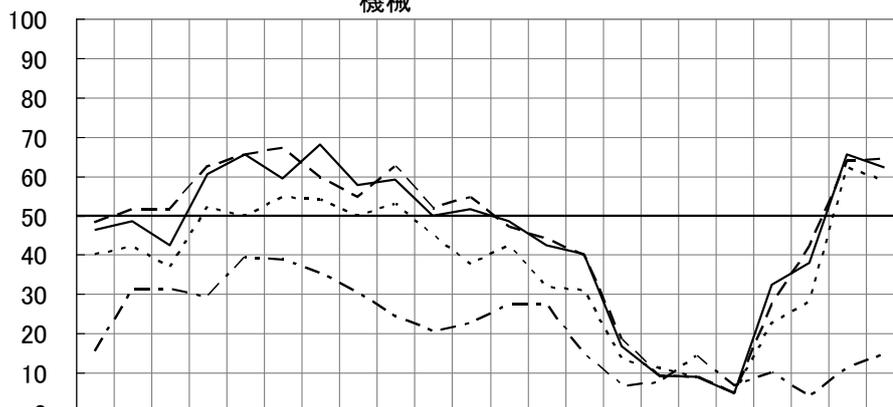
(見通し)

### 金属



(見通し)

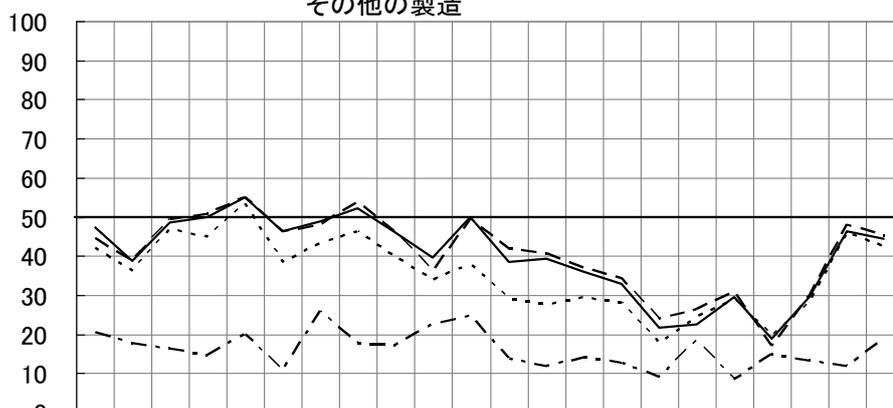
### 機械



	17/II	III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III
— 企業景気	46.3	48.4	42.4	60.4	65.5	59.4	68.1	57.6	59.1	50.0	51.6	48.5	42.4	40.0	16.7	9.3	8.9	4.7	32.3	38.0	65.5	62.1
- - 生産加工量・販売量	48.1	51.6	51.5	62.5	65.5	67.2	59.7	54.7	62.5	51.7	54.7	47.1	43.9	39.7	18.3	9.3	8.9	4.7	27.4	42.0	63.8	64.3
- - - 経常利益	40.0	42.2	36.8	52.1	50.0	54.7	54.2	50.0	53.0	44.8	37.5	42.4	31.8	31.0	13.3	11.1	8.9	4.7	22.6	28.0	62.1	58.9
- . - 設備投資	15.4	31.3	31.3	29.2	39.3	38.7	35.3	30.3	24.2	20.7	22.6	27.3	27.3	14.8	6.7	7.4	14.3	6.7	10.0	4.0	11.1	14.8

(見通し)

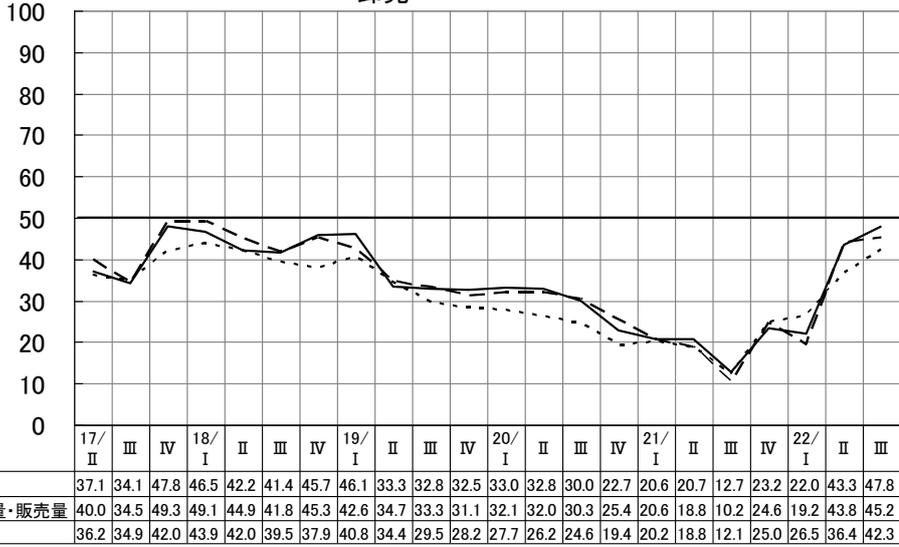
### その他の製造



	17/II	III	IV	18/I	II	III	IV	19/I	II	III	IV	20/I	II	III	IV	21/I	II	III	IV	22/I	II	III
— 企業景気	47.4	38.5	48.5	50.0	55.0	46.2	48.6	52.2	45.9	39.4	50.0	38.4	39.3	35.9	32.8	21.6	22.5	29.5	18.9	29.4	46.1	44.2
- - 生産加工量・販売量	44.6	38.5	49.2	50.7	55.0	46.1	47.9	53.8	45.9	36.0	49.3	41.7	40.7	37.0	34.3	23.8	26.4	30.8	16.7	29.7	48.0	45.1
- - - 経常利益	42.1	36.1	46.9	44.9	53.3	38.3	43.1	46.3	39.7	33.8	37.7	29.2	27.5	29.3	28.0	17.7	24.3	28.8	19.7	28.1	45.9	42.4
- . - 設備投資	20.4	17.5	16.4	14.5	20.0	10.5	25.8	17.7	17.2	22.4	24.6	13.8	11.9	14.1	12.7	9.0	18.2	8.5	14.8	13.2	11.9	18.8

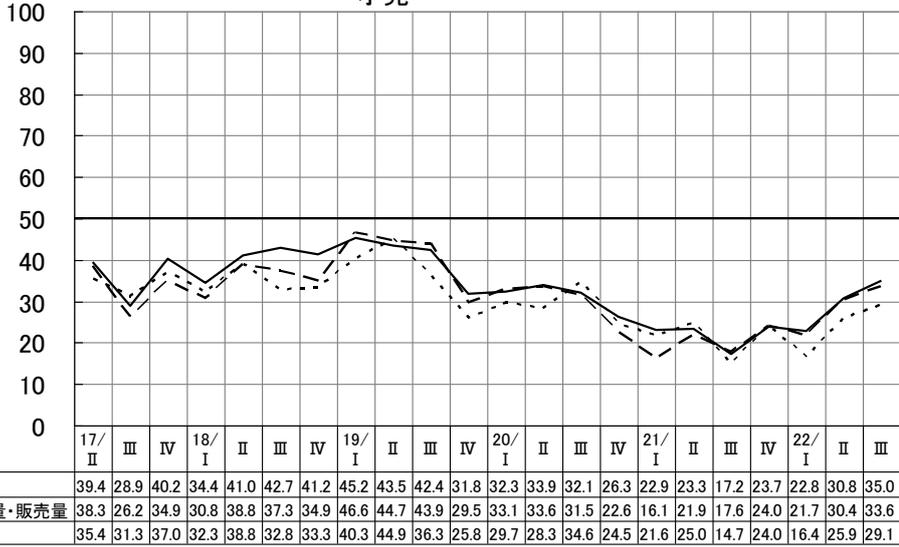
(見通し)

### 卸売



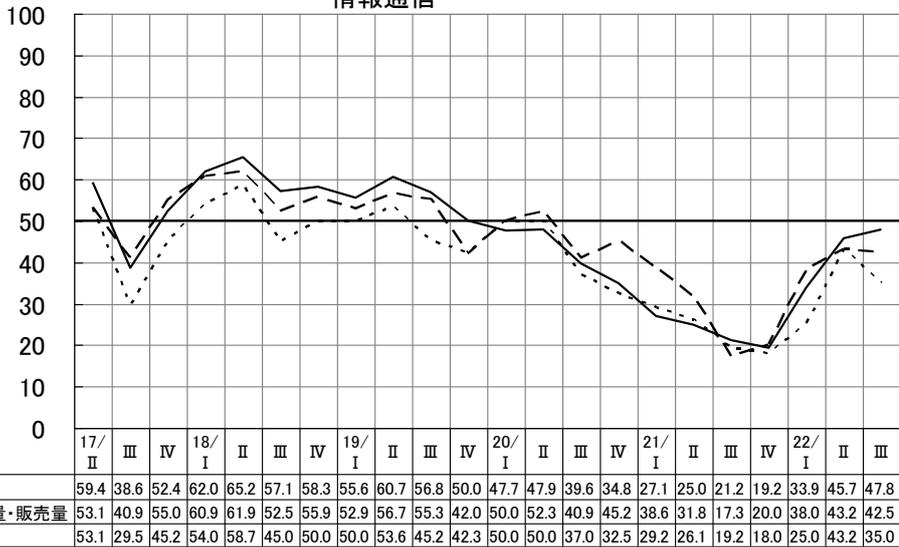
(見通し)

### 小売



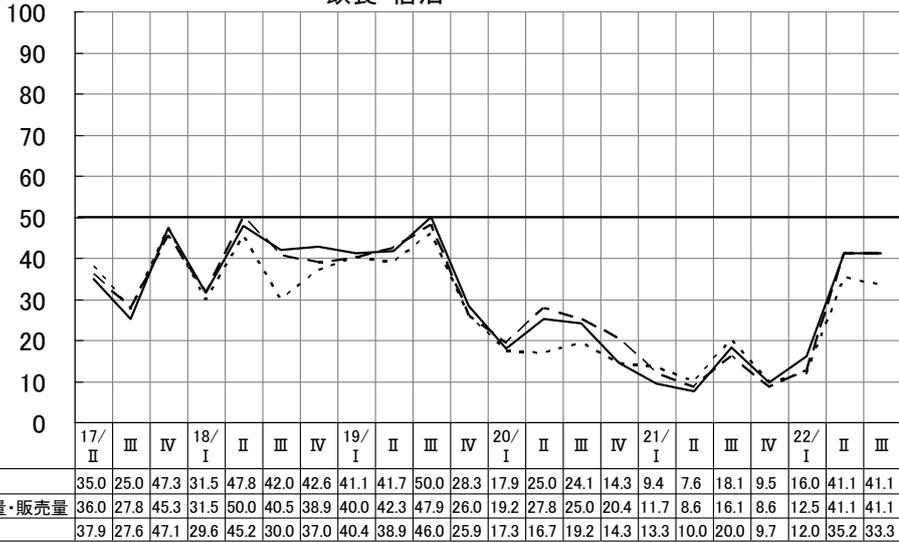
(見通し)

### 情報通信



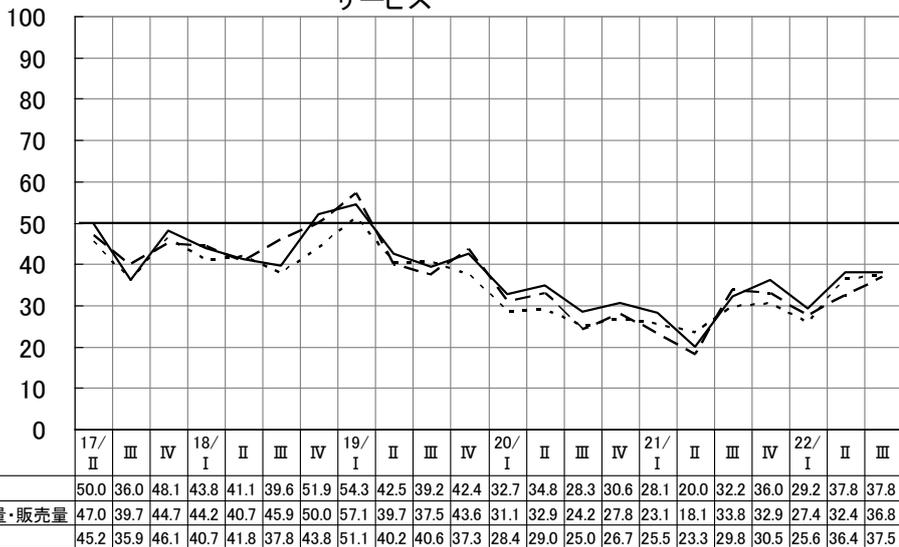
(見通し)

### 飲食・宿泊



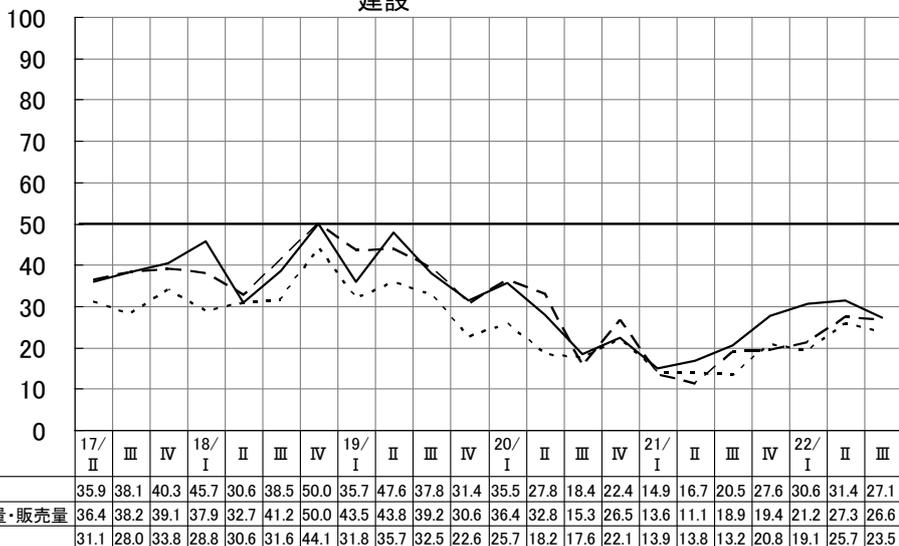
(見通し)

### サービス



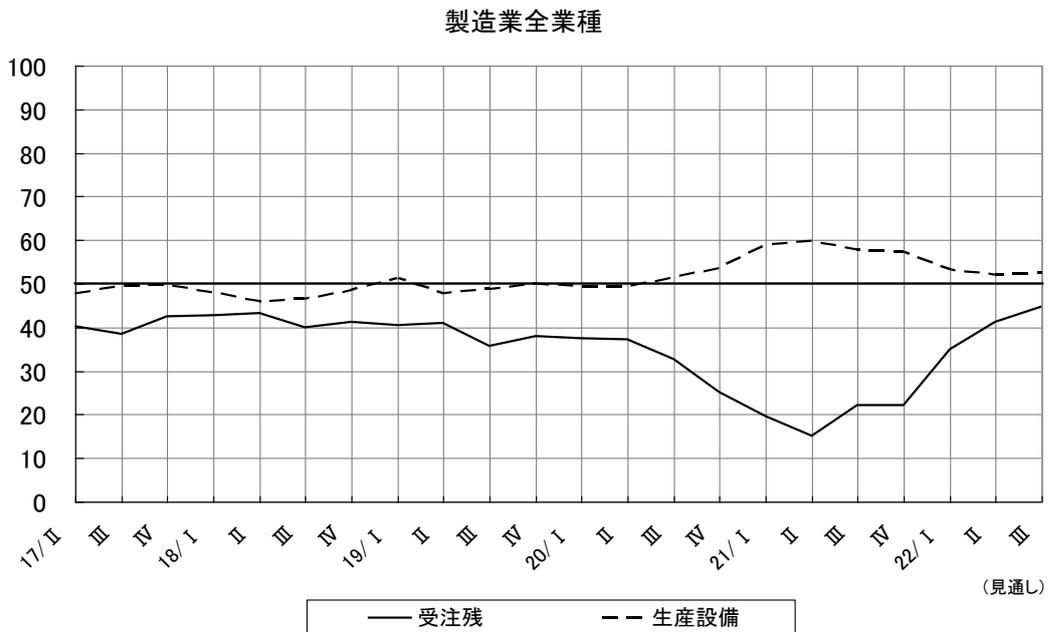
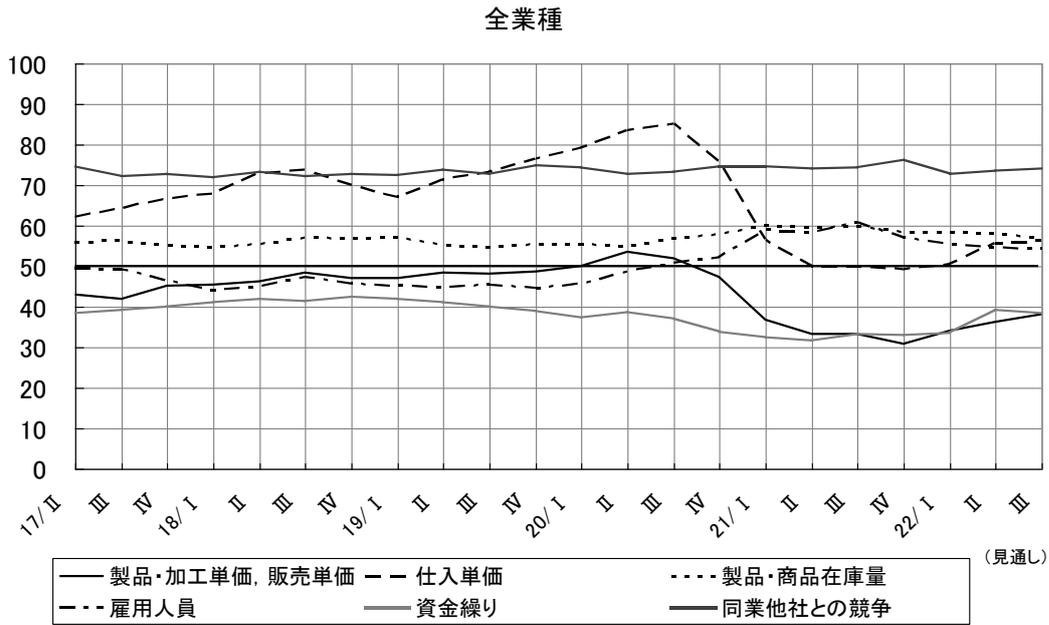
(見通し)

### 建設

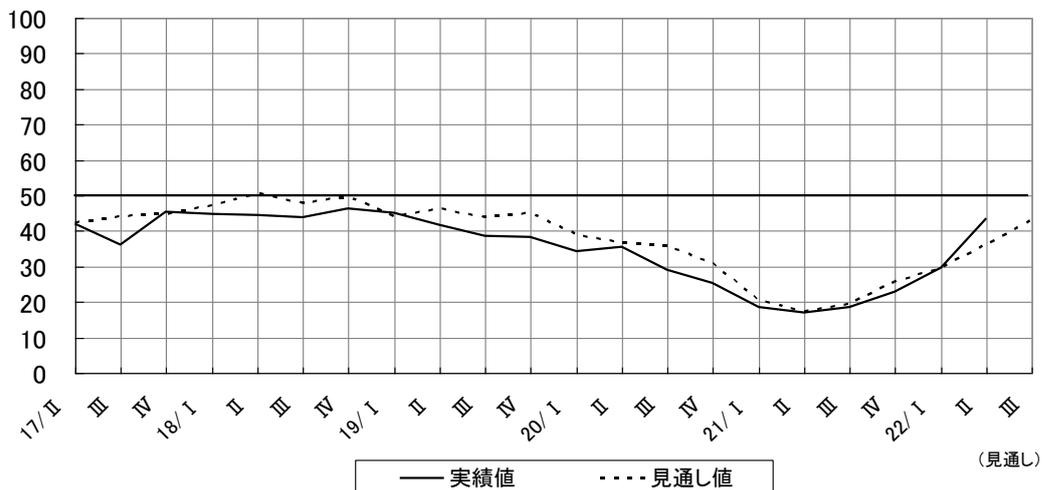


(見通し)

参考3：業種別主要3指標以外のDI推移



参考4：企業景気DIの予測値と実績値の比較



## 調査結果詳細

(1) 景気動向について.....	17
企業景気.....	17
生産加工量・販売量.....	19
経常利益.....	21
製品・加工単価, 販売単価.....	23
仕入単価.....	25
製品・商品在庫量.....	27
雇用人員.....	29
資金繰り.....	31
同業他社との競争.....	33
受注残.....	35
生産設備.....	36
設備投資.....	37
(2) 当面の経営戦略について.....	38
(3) 経営上の不安要素について.....	47
参考：分野ごとの調査票回収状況.....	57

### 注記：各項の表について

- ・ 「▼」は前期と今期又は今期と来期見通しを比較して、DIが低下していることを示す。
- ・ 「観光関連」とは、観光関係の売上げが25%以上の企業群を意味する。

# (1) 景気動向について

## 1. 企業景気

図1. 企業景気DIの推移 (全体)

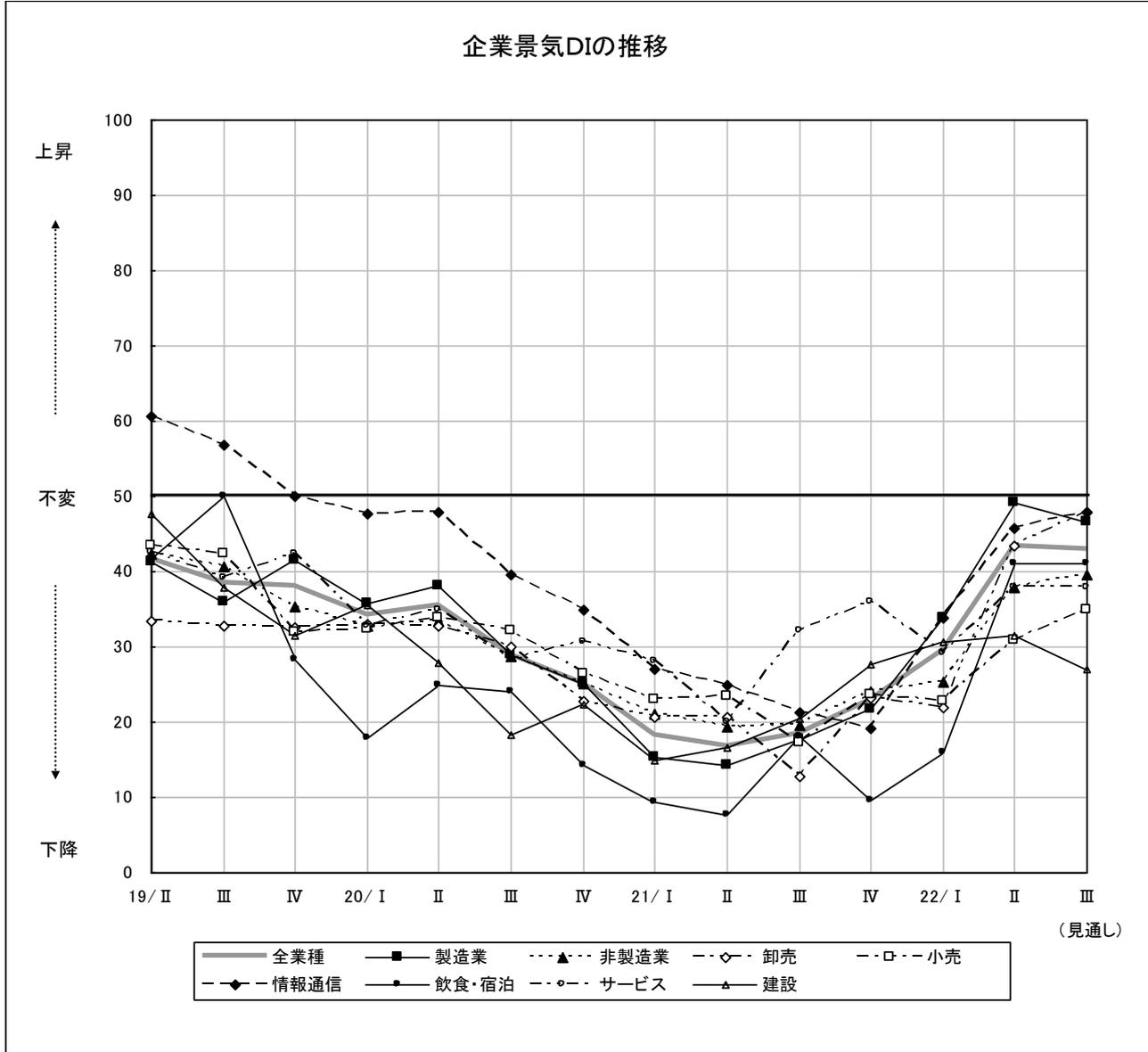


図2. 企業景気DIの推移（製造業）

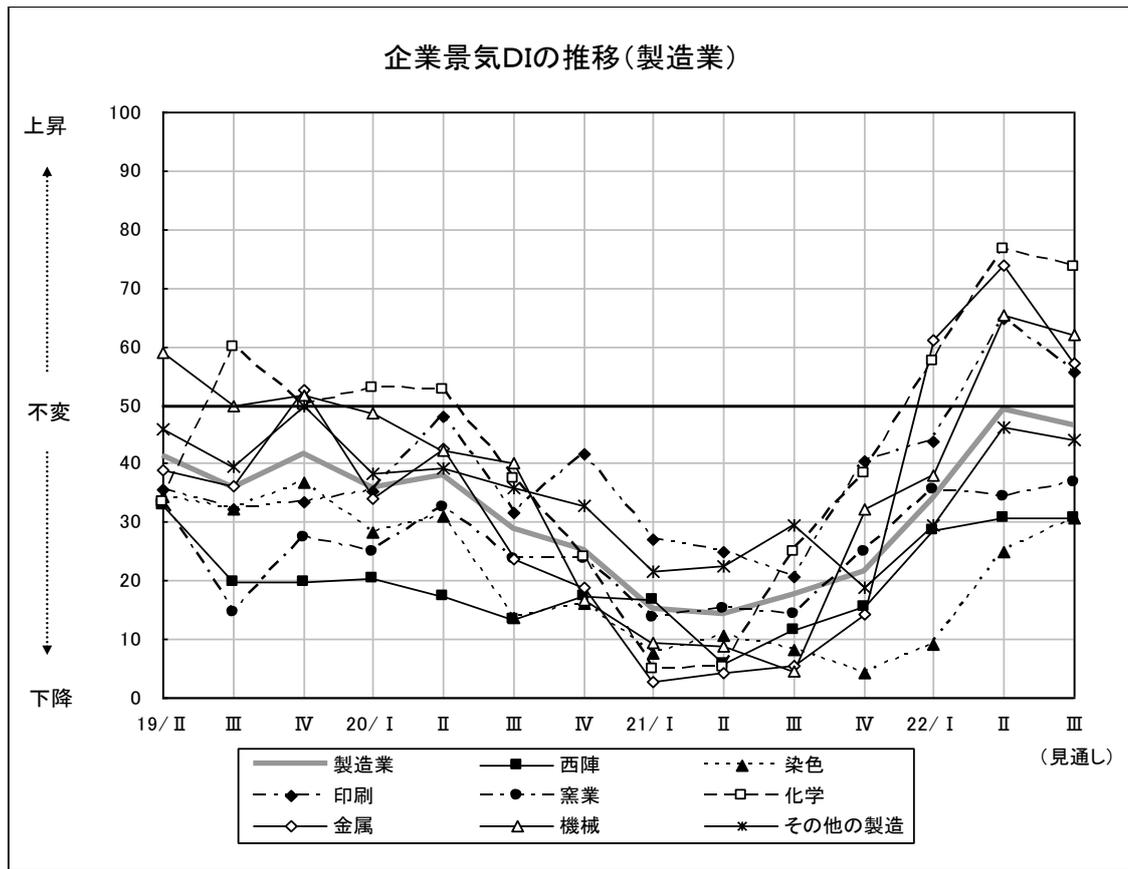


表1. 企業景気DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	29.6	43.4	13.8	43.0	▼ 0.4
製造業	33.9	49.2	15.3	46.6	▼ 2.6
西陣	28.6	30.8	2.2	30.8	0.0
染色	9.1	25.0	15.9	30.6	5.6
印刷	43.8	64.8	21.0	55.6	▼ 9.2
窯業	35.7	34.2	▼ 1.5	36.8	2.6
化学	57.5	76.5	19.0	73.5	▼ 3.0
金属	61.1	73.8	12.7	57.1	▼ 16.7
機械	38.0	65.5	27.5	62.1	▼ 3.4
その他の製造	29.4	46.1	16.7	44.2	▼ 1.9
非製造業	25.4	37.8	12.4	39.5	1.7
卸売	22.0	43.3	21.3	47.8	4.5
小売	22.8	30.8	8.0	35.0	4.2
情報通信	33.9	45.7	11.8	47.8	2.1
飲食・宿泊	16.0	41.1	25.1	41.1	0.0
サービス	29.2	37.8	8.6	37.8	0.0
建設	30.6	31.4	0.8	27.1	▼ 4.3
観光関連	15.3	48.8	33.5	47.6	▼ 1.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 2. 生産加工量・販売量

図3. 生産加工量・販売量DIの推移（全体）

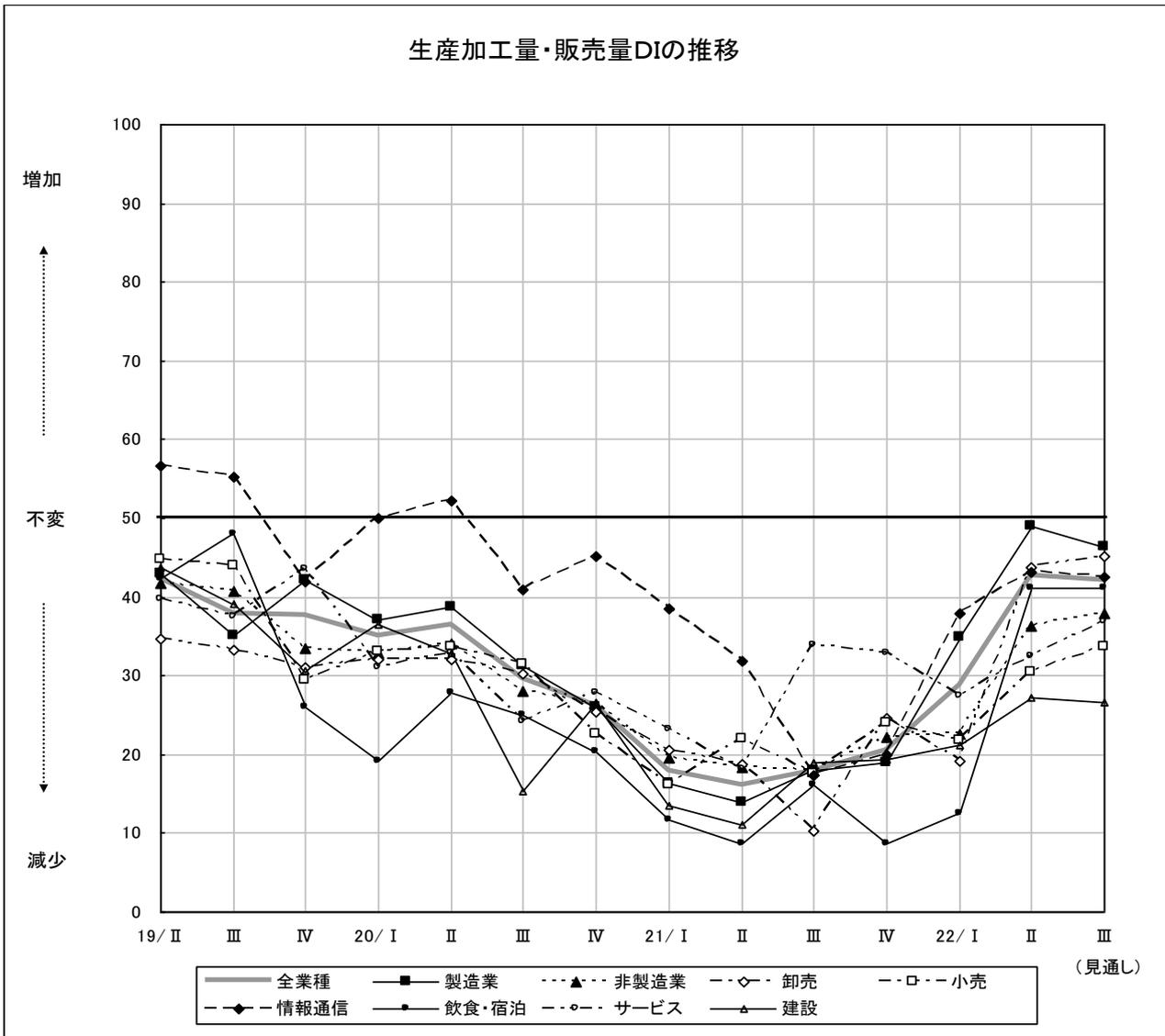


図4. 生産加工量・販売量DIの推移（製造業）

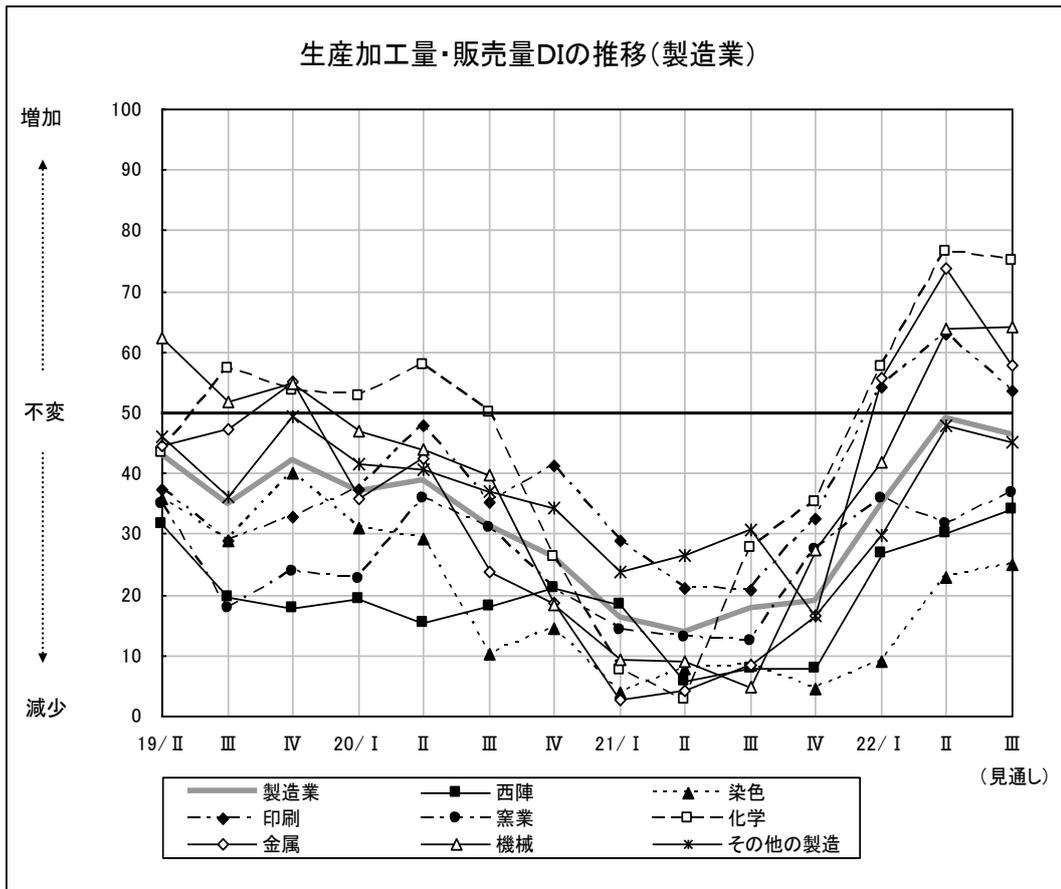


表2. 生産加工量・販売量DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	28.9	42.8	13.9	42.2	▼ 0.6
製造業	34.8	49.0	14.2	46.4	▼ 2.6
西陣	26.8	30.0	3.2	34.0	4.0
染色	9.1	22.9	13.8	25.0	2.1
印刷	54.3	63.0	8.7	53.7	▼ 9.3
窯業	35.7	31.6	▼ 4.1	36.8	5.2
化学	57.5	76.5	19.0	75.0	▼ 1.5
金属	55.6	73.8	18.2	57.9	▼ 15.9
機械	42.0	63.8	21.8	64.3	0.5
その他の製造	29.7	48.0	18.3	45.1	▼ 2.9
非製造業	22.5	36.3	13.8	37.9	1.6
卸売	19.2	43.8	24.6	45.2	1.4
小売	21.7	30.4	8.7	33.6	3.2
情報通信	38.0	43.2	5.2	42.5	▼ 0.7
飲食・宿泊	12.5	41.1	28.6	41.1	0.0
サービス	27.4	32.4	5.0	36.8	4.4
建設	21.2	27.3	6.1	26.6	▼ 0.7
観光関連	17.4	45.0	27.6	47.5	2.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

### 3. 経常利益

図5. 経常利益DIの推移 (全体)

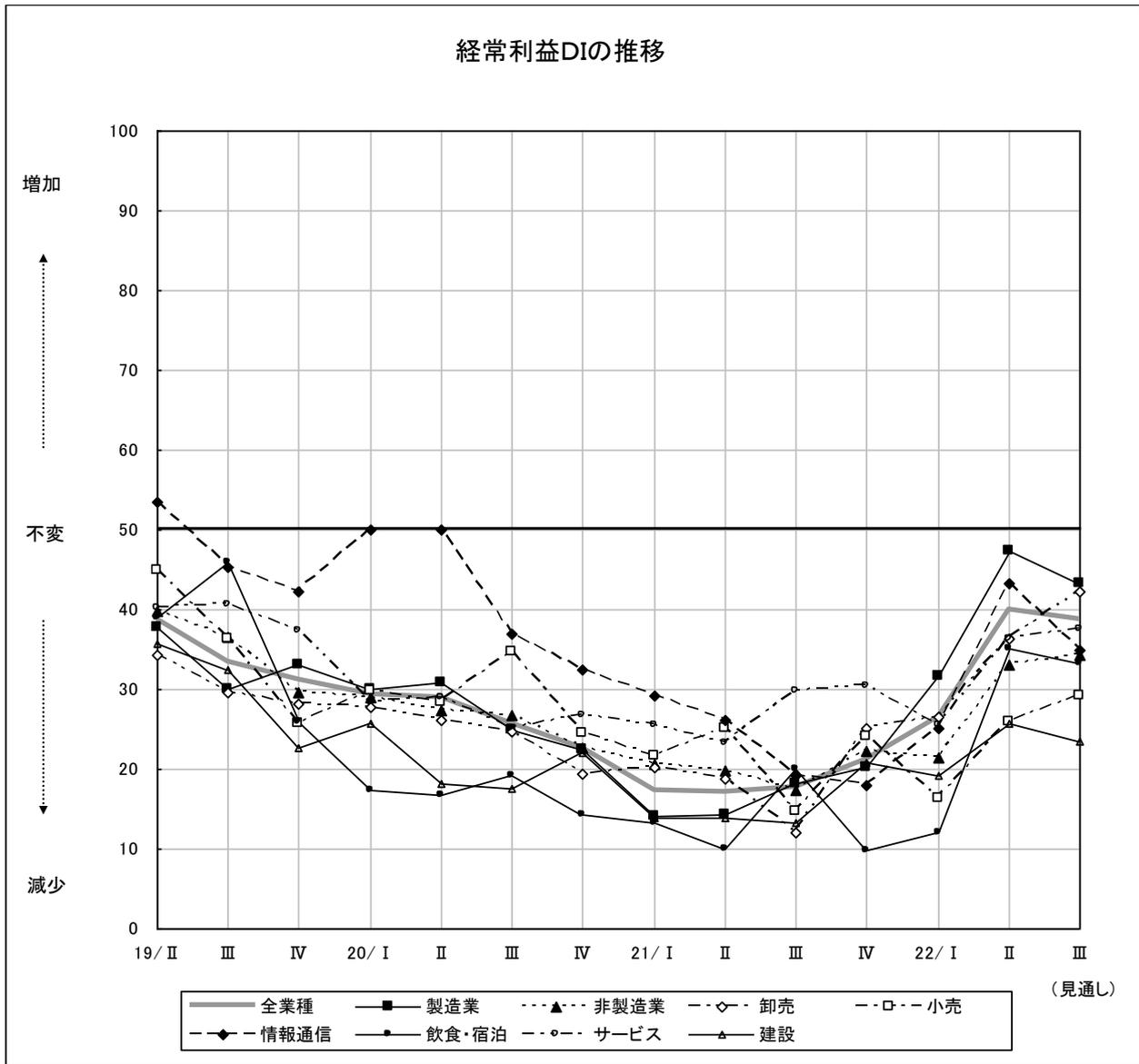


図6. 経常利益DIの推移（製造業）

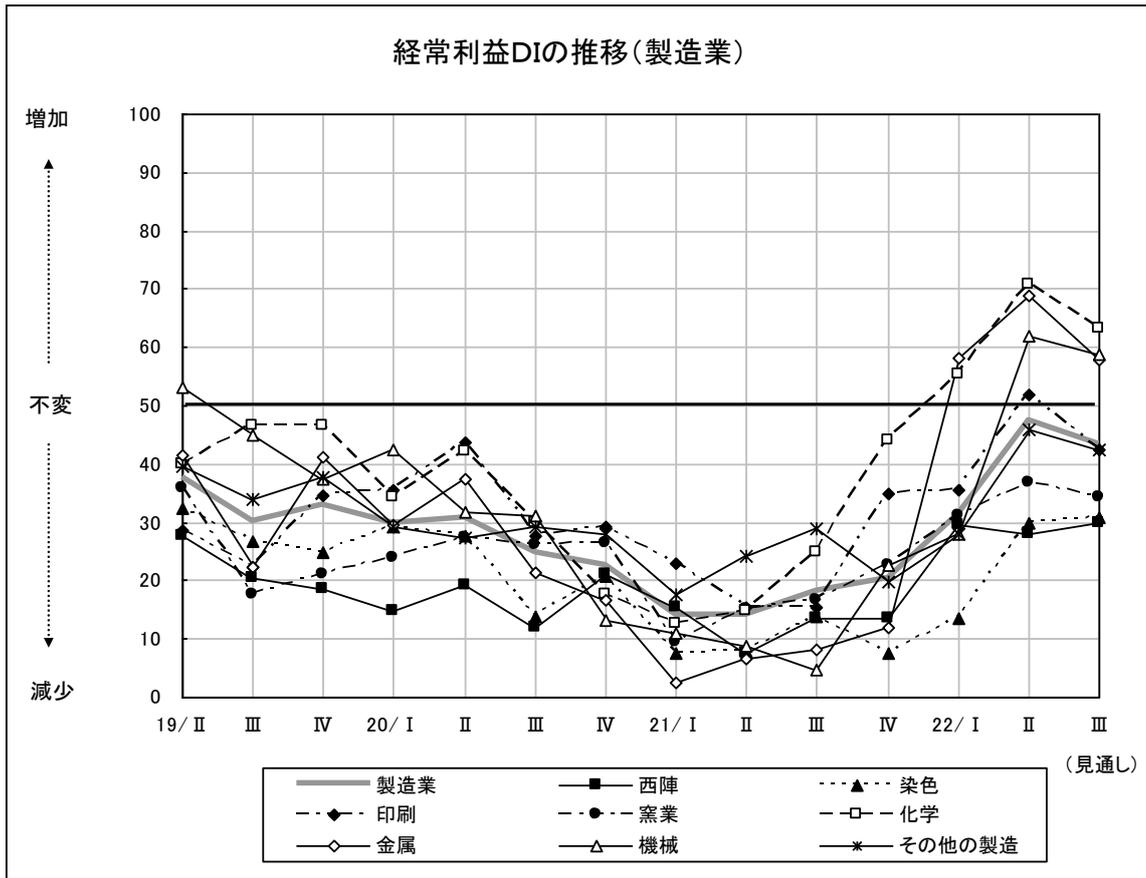


表3. 経常利益DI 実績値（前期/今期/来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	26.5	40.1	13.6	38.7	▼ 1.4
製造業	31.6	47.4	15.8	43.3	▼ 4.1
西陣	29.6	28.0	▼ 1.6	30.0	2.0
染色	13.6	30.0	16.4	30.9	0.9
印刷	35.4	51.9	16.5	42.6	▼ 9.3
窯業	31.0	36.8	5.8	34.2	▼ 2.6
化学	55.3	70.6	15.3	63.3	▼ 7.3
金属	58.3	69.0	10.7	57.9	▼ 11.1
機械	28.0	62.1	34.1	58.9	▼ 3.2
その他の製造	28.1	45.9	17.8	42.4	▼ 3.5
非製造業	21.5	33.0	11.5	34.3	1.3
卸売	26.5	36.4	9.9	42.3	5.9
小売	16.4	25.9	9.5	29.1	3.2
情報通信	25.0	43.2	18.2	35.0	▼ 8.2
飲食・宿泊	12.0	35.2	23.2	33.3	▼ 1.9
サービス	25.6	36.4	10.8	37.5	1.1
建設	19.1	25.7	6.6	23.5	▼ 2.2
観光関連	13.5	39.7	26.2	39.7	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

#### 4. 製品・加工単価, 販売単価

図7. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (全体)

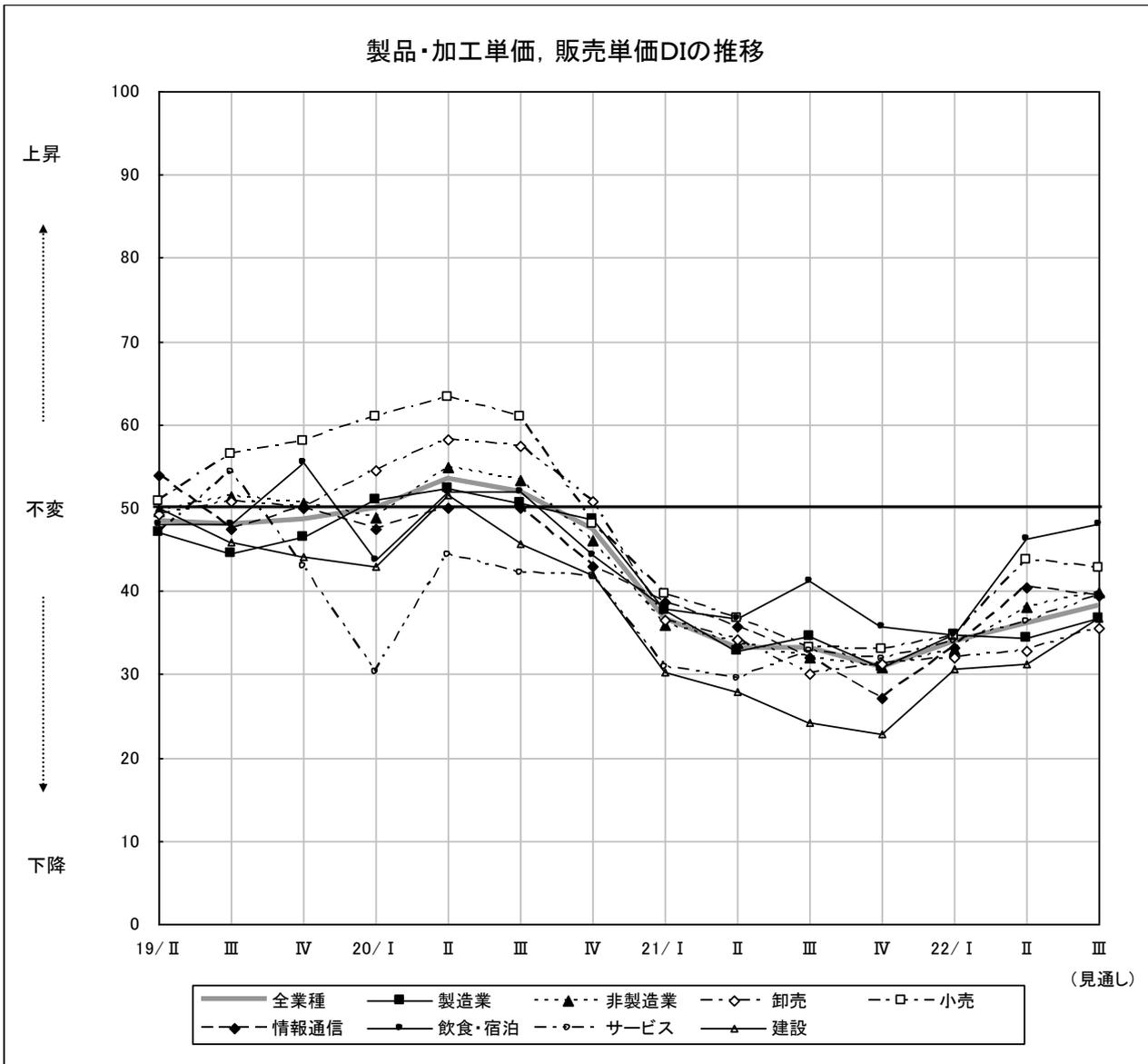


図8. 製品・加工単価, 販売単価DIの推移 (製造業)

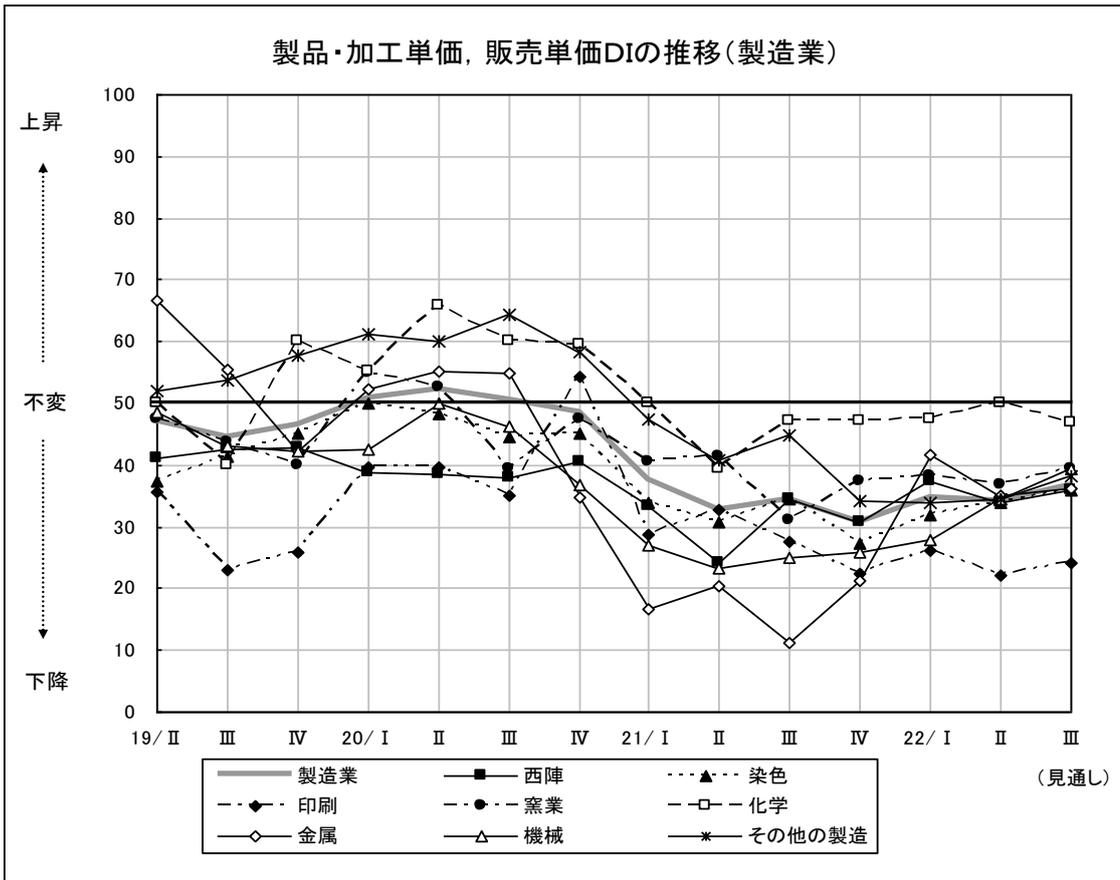


表4. 製品・加工単価, 販売単価DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	34.0	36.1	2.1	38.2	2.1
製造業	34.8	34.3	▼ 0.5	36.7	2.4
西陣	37.5	34.0	▼ 3.5	36.0	2.0
染色	31.8	33.8	2.0	35.9	2.1
印刷	26.1	22.2	▼ 3.9	24.1	1.9
窯業	38.1	36.8	▼ 1.3	39.5	2.7
化学	47.5	50.0	2.5	46.9	▼ 3.1
金属	41.7	35.0	▼ 6.7	36.1	1.1
機械	28.0	34.5	6.5	39.3	4.8
その他の製造	34.0	34.5	0.5	38.2	3.7
非製造業	33.1	38.0	4.9	39.8	1.8
卸売	32.0	32.8	0.8	35.5	2.7
小売	34.5	43.8	9.3	42.7	▼ 1.1
情報通信	33.3	40.5	7.2	39.5	▼ 1.0
飲食・宿泊	34.8	46.3	11.5	48.1	1.8
サービス	33.9	36.4	2.5	39.4	3.0
建設	30.6	31.3	0.7	36.7	5.4
観光関連	37.5	42.5	5.0	42.5	0.0

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 5. 仕入単価

図9. 仕入単価DIの推移 (全体)

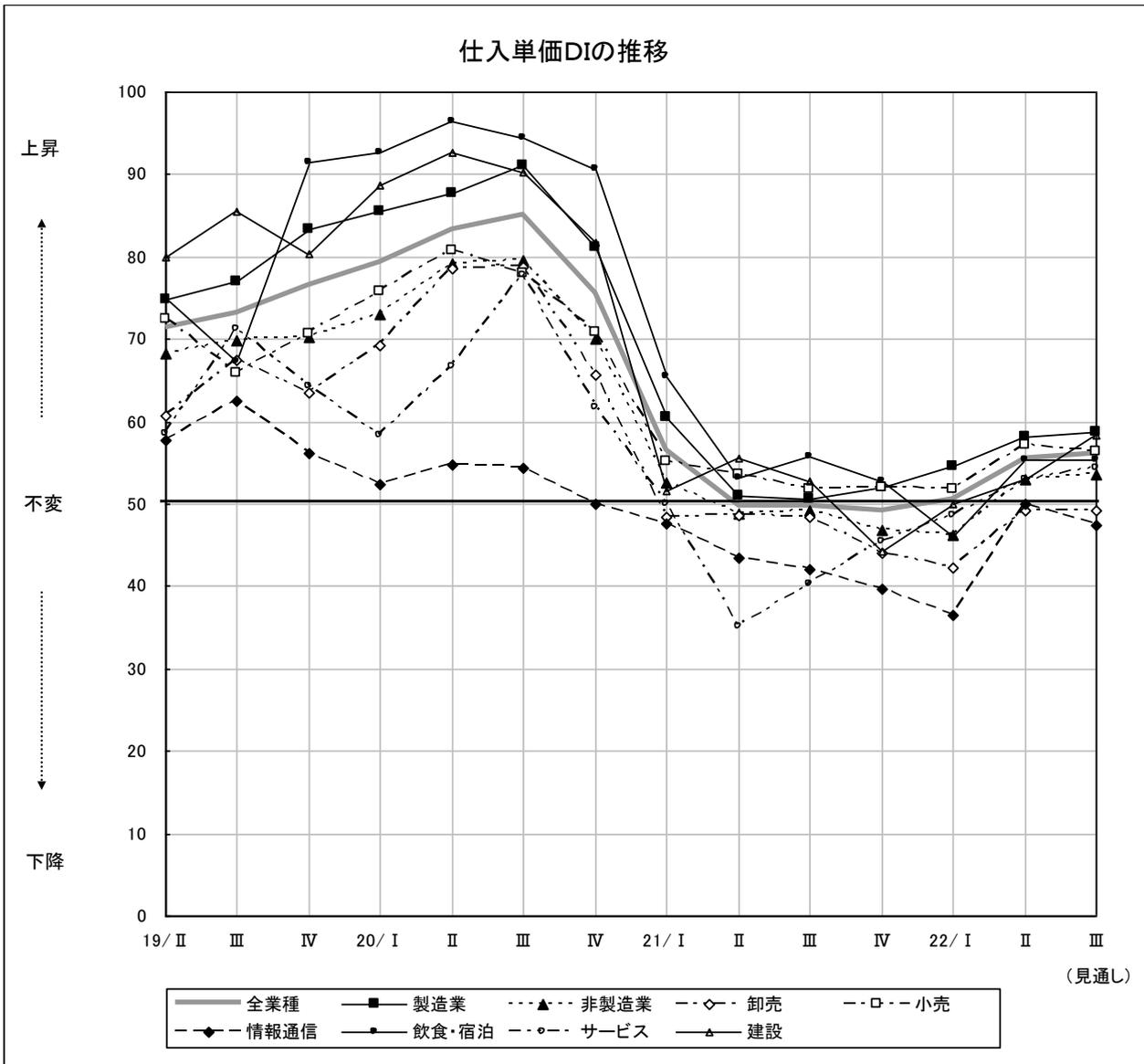


図10. 仕入単価DIの推移（製造業）

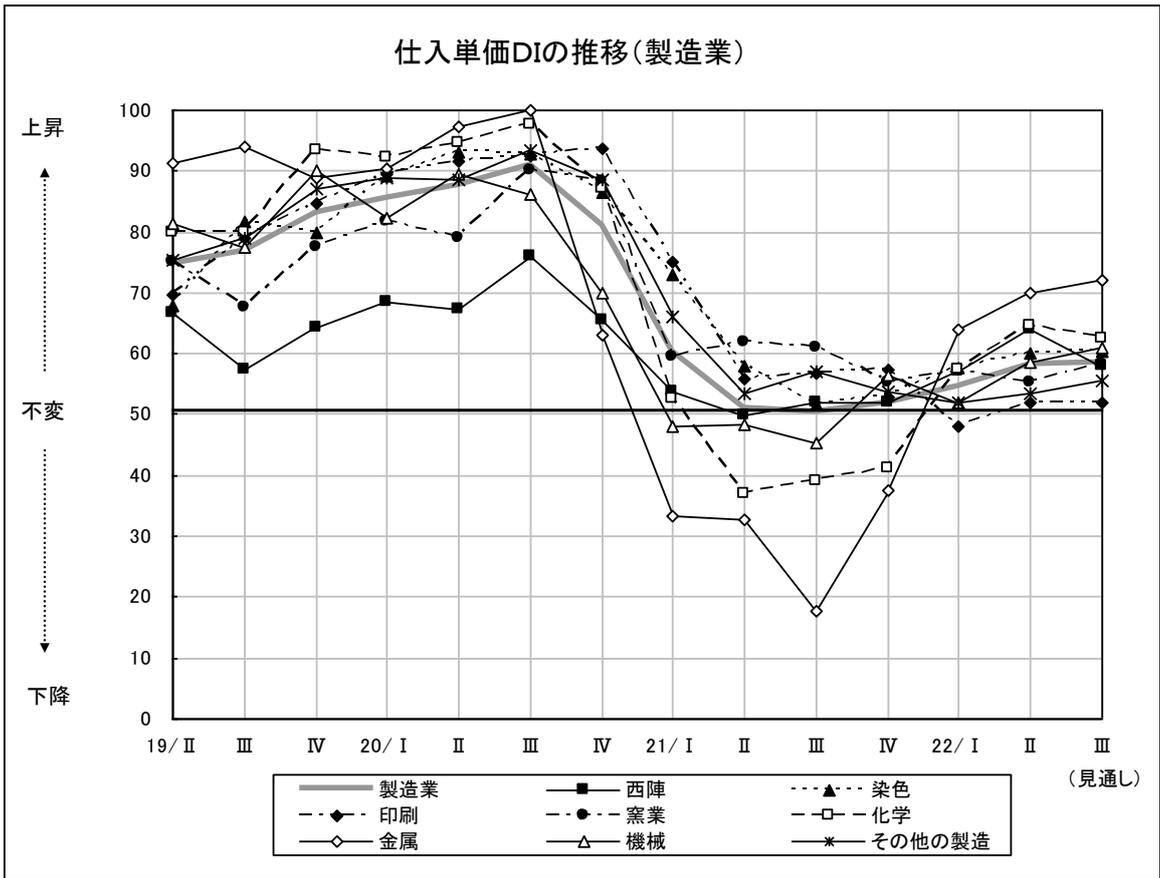


表5. 仕入単価DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	50.5	55.6	5.1	56.1	0.5
製造業	54.6	58.2	3.6	58.7	0.5
西陣	57.1	64.0	6.9	58.0	▼ 6.0
染色	57.6	60.0	2.4	60.3	0.3
印刷	47.9	51.9	4.0	51.9	0.0
窯業	57.1	55.3	▼ 1.8	58.3	3.0
化学	57.5	64.7	7.2	62.5	▼ 2.2
金属	63.9	70.0	6.1	72.2	2.2
機械	52.0	58.6	6.6	61.1	2.5
その他の製造	51.9	53.4	1.5	55.7	2.3
非製造業	46.3	52.9	6.6	53.5	0.6
卸売	42.3	49.2	6.9	49.2	0.0
小売	51.8	57.1	5.3	56.4	▼ 0.7
情報通信	36.5	50.0	13.5	47.4	▼ 2.6
飲食・宿泊	46.0	55.4	9.4	55.4	0.0
サービス	48.6	52.9	4.3	54.4	1.5
建設	50.0	53.0	3.0	58.3	5.3
観光関連	54.3	53.8	▼ 0.5	51.3	▼ 2.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 6. 製品・商品在庫量

図 11. 製品・商品在庫量DIの推移 (全体)

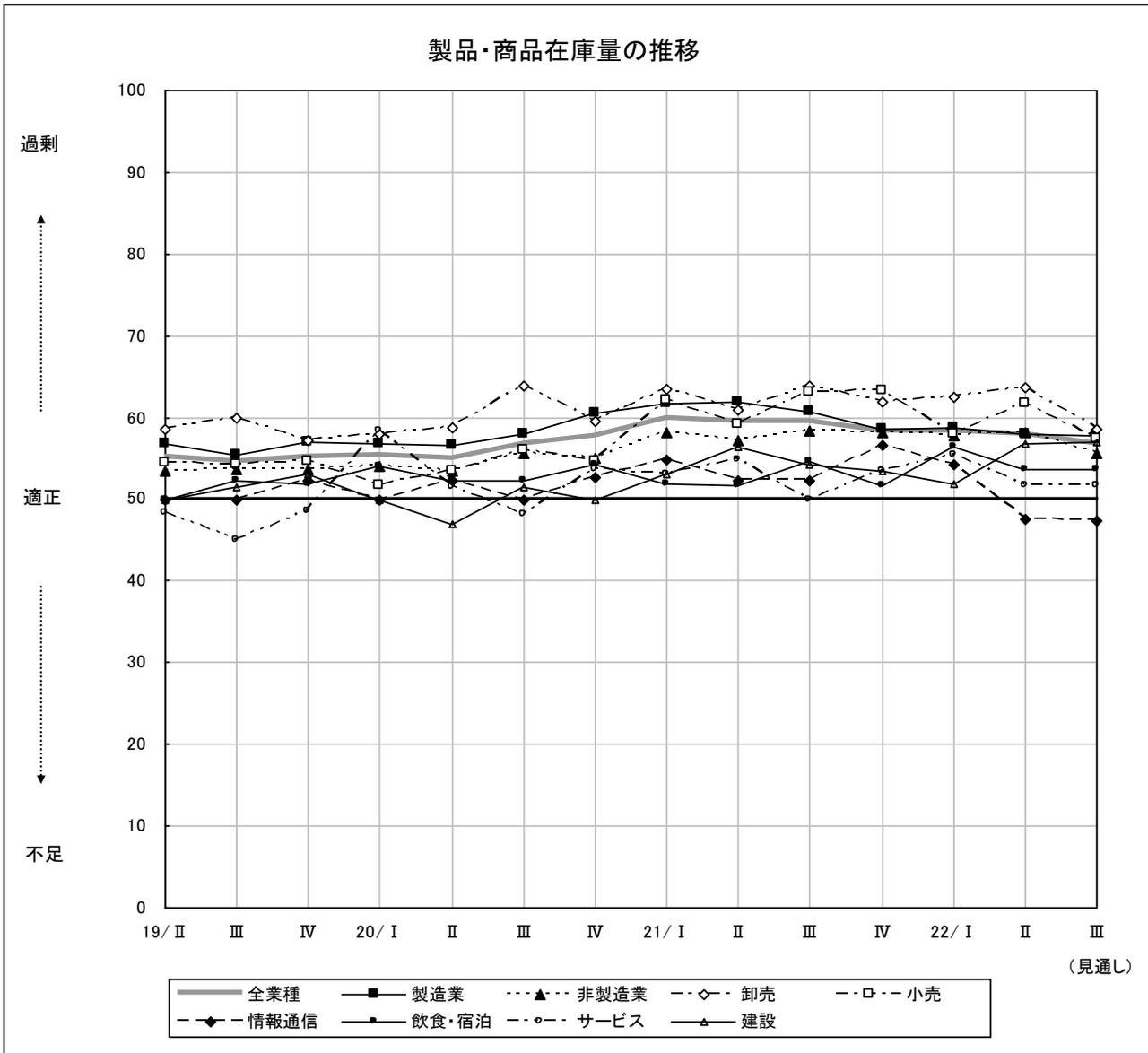


図12. 製品・商品在庫量の推移（製造業）

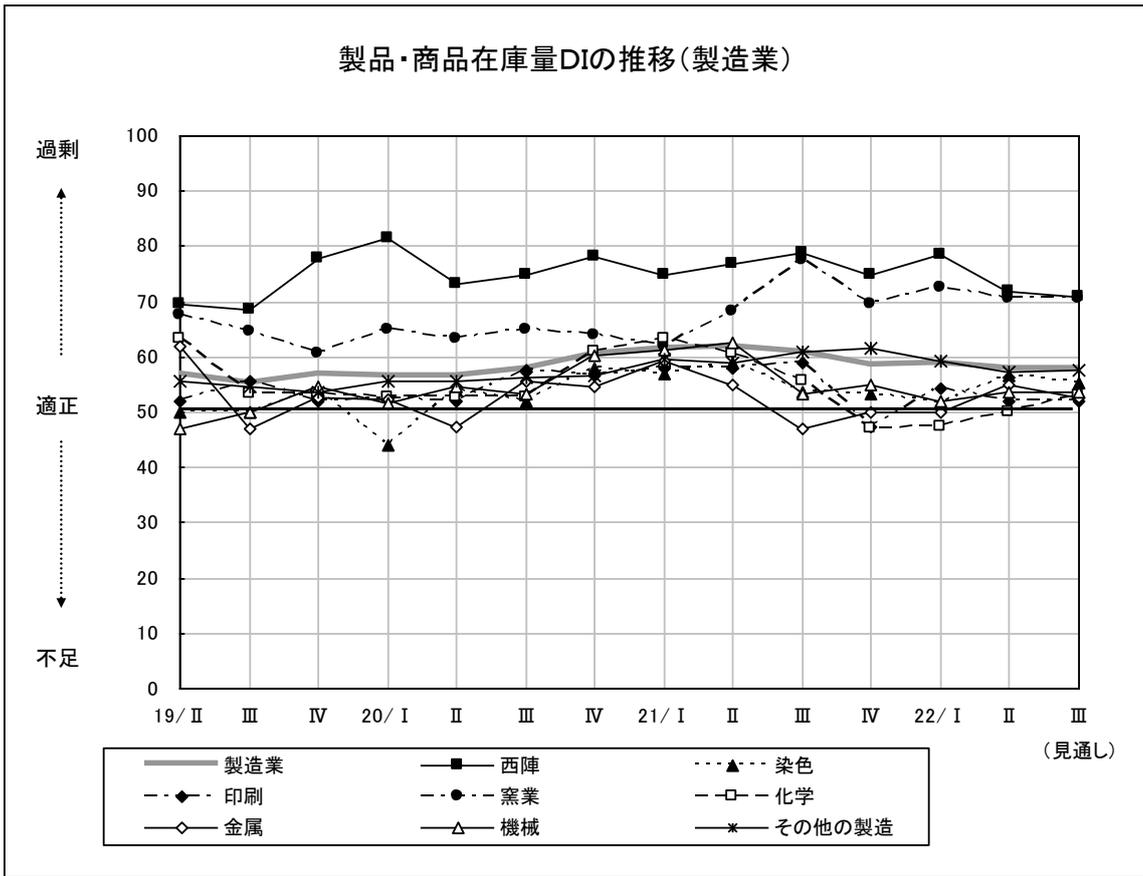


表6. 製品・商品在庫量 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	58.3	58.0	▼ 0.3	56.7	▼ 1.3
製造業	58.8	58.0	▼ 0.8	57.8	▼ 0.2
西陣	78.6	72.0	▼ 6.6	70.8	▼ 1.2
染色	51.7	56.7	5.0	55.2	▼ 1.5
印刷	54.3	51.9	▼ 2.4	51.9	0.0
窯業	72.5	70.6	▼ 1.9	70.6	0.0
化学	47.5	50.0	2.5	53.1	3.1
金属	50.0	55.0	5.0	52.6	▼ 2.4
機械	52.0	53.6	1.6	53.7	0.1
その他の製造	59.2	57.2	▼ 2.0	57.5	0.3
非製造業	57.7	58.1	0.4	55.6	▼ 2.5
卸売	62.5	63.6	1.1	58.6	▼ 5.0
小売	58.0	61.6	3.6	57.3	▼ 4.3
情報通信	54.3	47.6	▼ 6.7	47.4	▼ 0.2
飲食・宿泊	56.3	53.7	▼ 2.6	53.7	0.0
サービス	55.4	51.7	▼ 3.7	51.7	0.0
建設	51.9	56.7	4.8	56.9	0.2
観光関連	60.0	60.5	0.5	57.7	▼ 2.8

## 7. 雇用人員

図13. 雇用人員DIの推移 (全体)

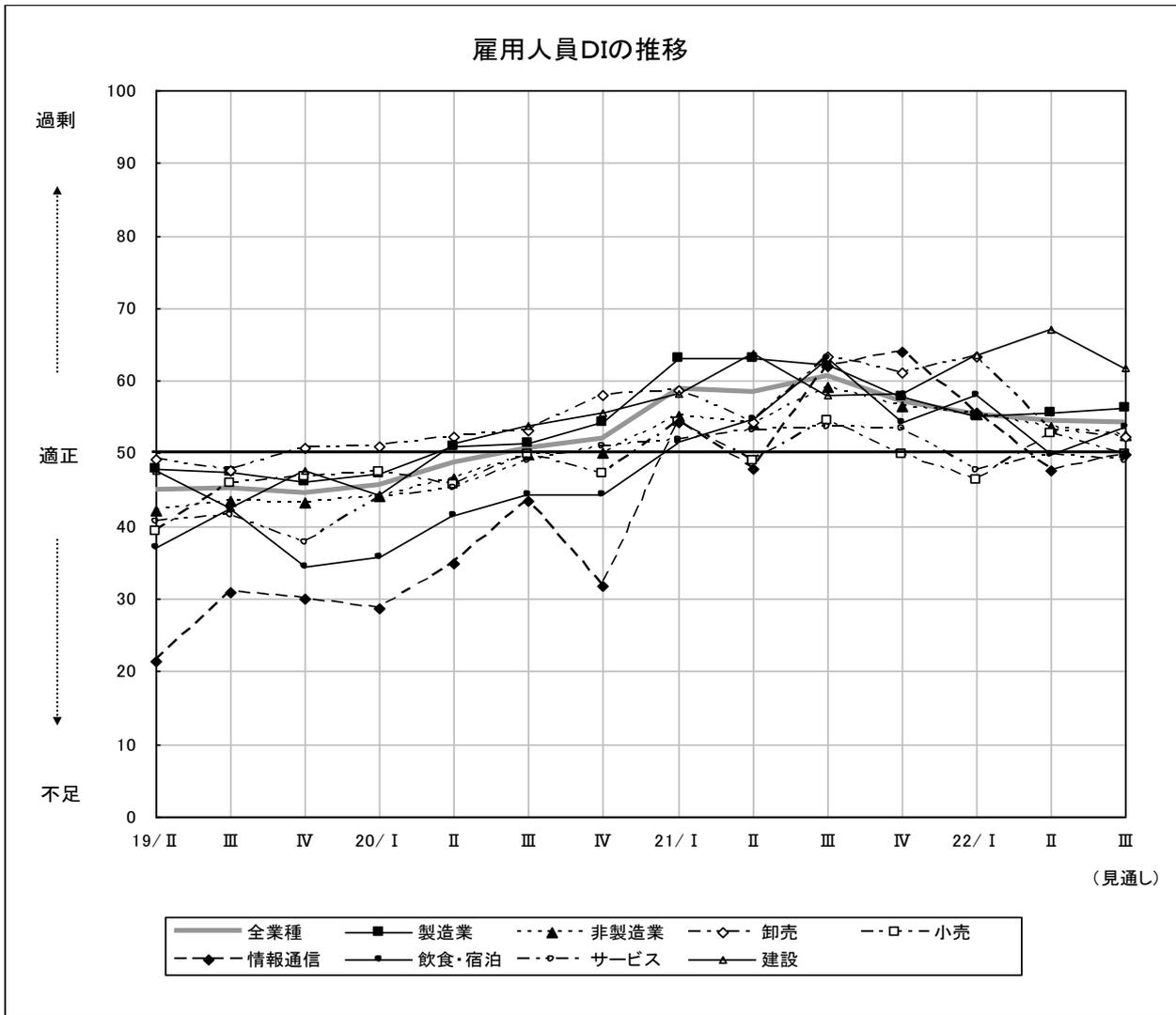


図14. 雇用人員DIの推移（製造業）

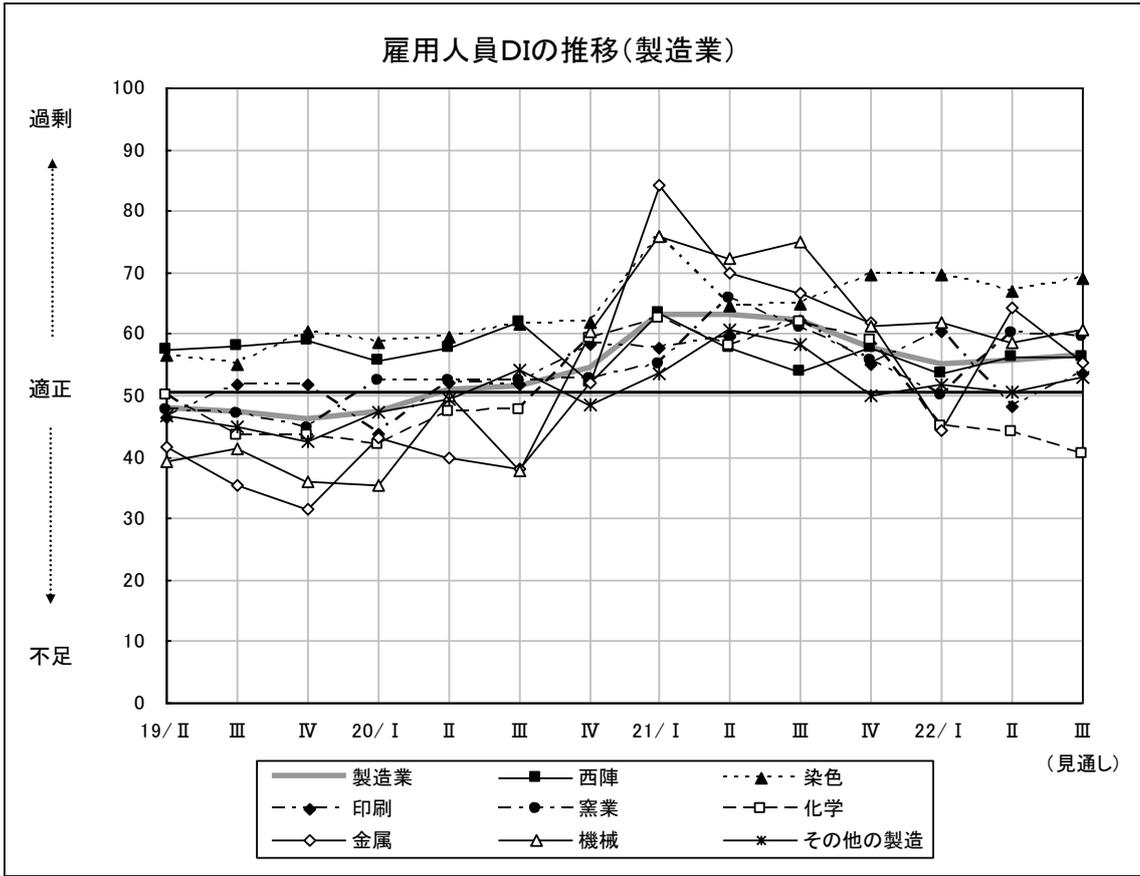


表7. 雇用人員DI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	55.3	54.6	▼ 0.7	54.4	▼ 0.2
製造業	55.1	55.6	0.5	56.4	0.8
西陣	53.6	56.3	2.7	56.3	0.0
染色	69.7	67.1	▼ 2.6	69.1	2.0
印刷	60.4	48.1	▼ 12.3	53.7	5.6
窯業	50.0	60.0	10.0	59.4	▼ 0.6
化学	45.0	44.1	▼ 0.9	40.6	▼ 3.5
金属	44.4	64.3	19.9	55.3	▼ 9.0
機械	62.0	58.6	▼ 3.4	60.7	2.1
その他の製造	51.9	50.7	▼ 1.2	52.9	2.2
非製造業	55.4	53.6	▼ 1.8	52.5	▼ 1.1
卸売	63.3	53.1	▼ 10.2	52.4	▼ 0.7
小売	46.4	52.7	6.3	50.0	▼ 2.7
情報通信	55.6	47.7	▼ 7.9	50.0	2.3
飲食・宿泊	58.0	50.0	▼ 8.0	53.6	3.6
サービス	47.7	50.0	2.3	48.9	▼ 1.1
建設	63.6	67.1	3.5	61.8	▼ 5.3
観光関連	59.8	51.3	▼ 8.5	53.8	2.5

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 8. 資金繰り

図15. 資金繰りDIの推移 (全体)

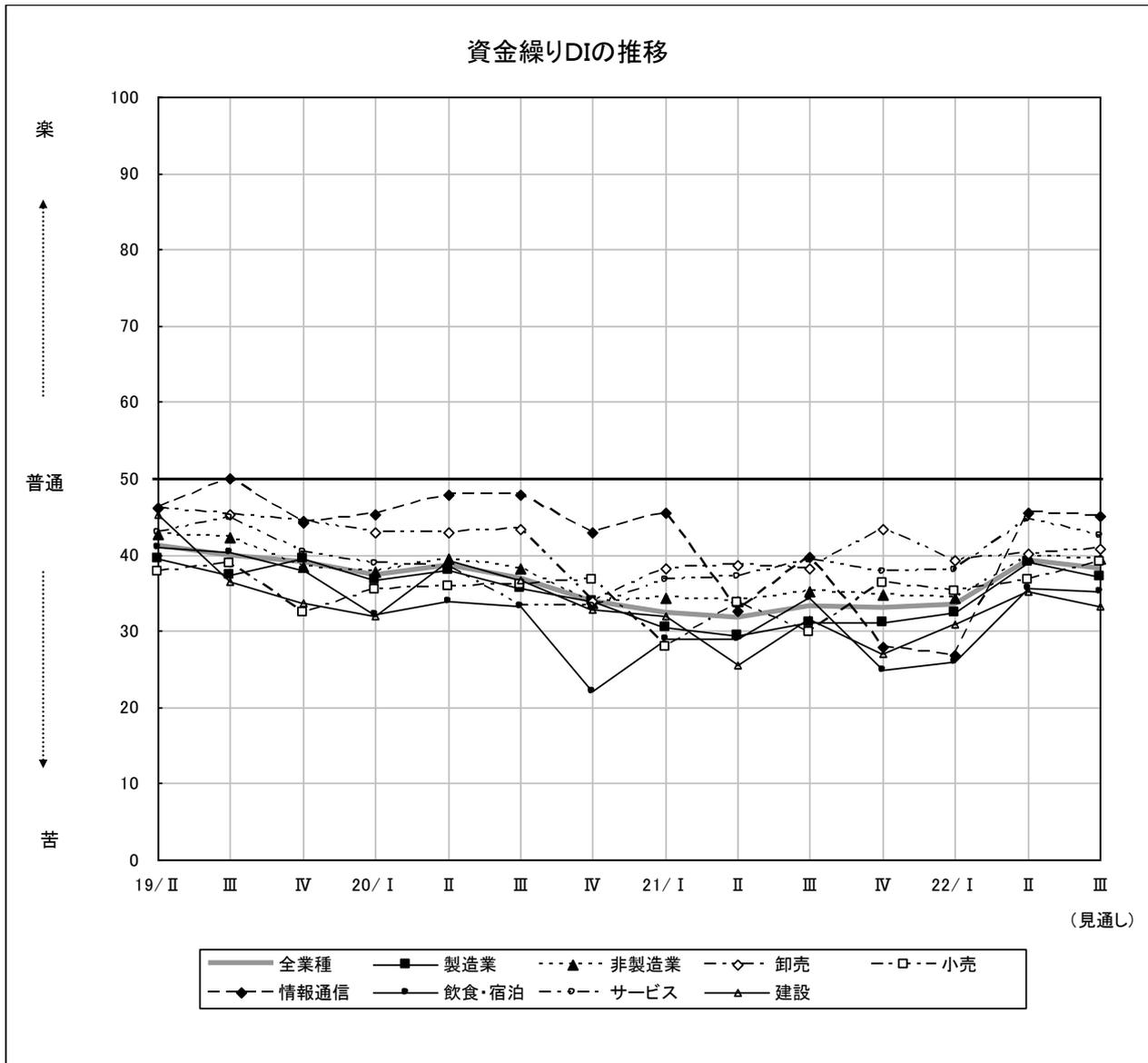


図16. 資金繰りDIの推移（製造業）

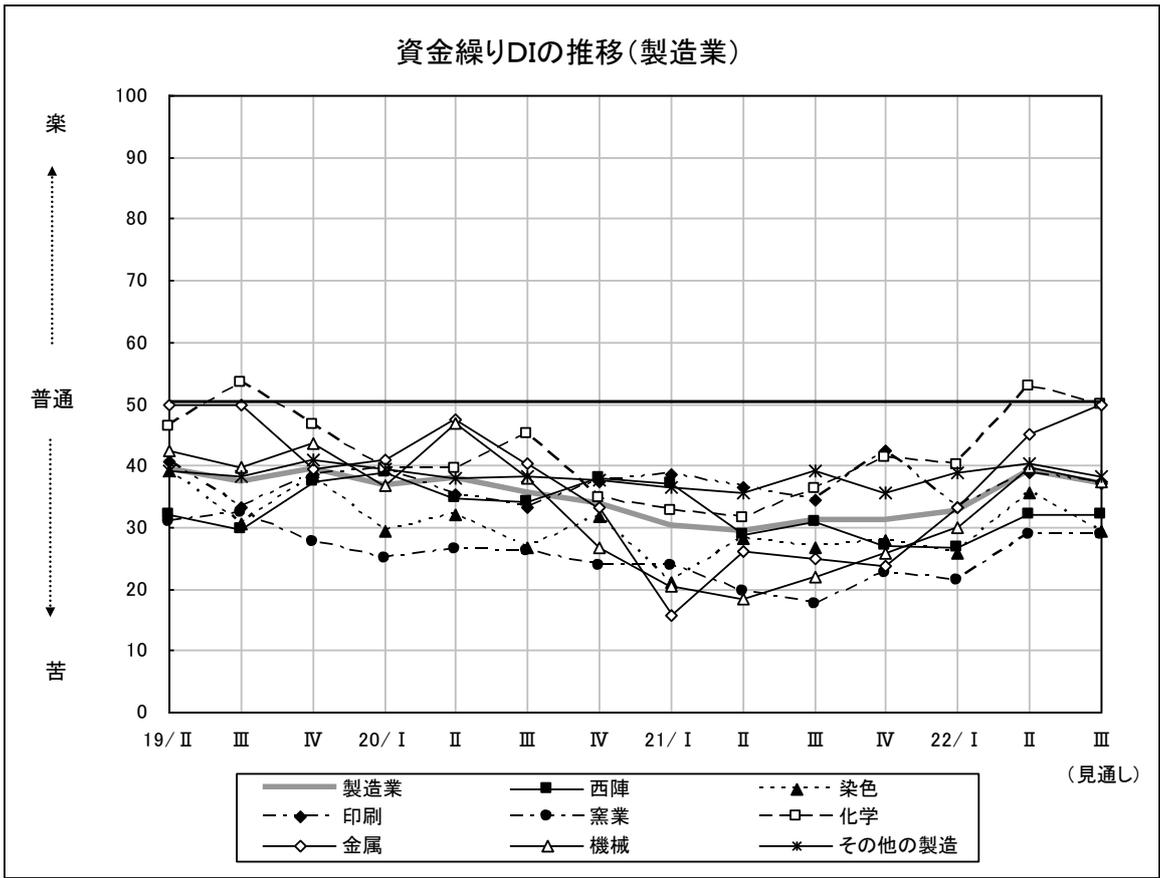


表8. 資金繰りDI 実績値（前期／今期／来期見通し）

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	33.5	39.3	5.8	38.3	▼ 1.0
製造業	32.5	39.1	6.6	37.1	▼ 2.0
西陣	26.8	32.0	5.2	32.0	0.0
染色	25.8	35.7	9.9	29.4	▼ 6.3
印刷	33.3	38.9	5.6	37.0	▼ 1.9
窯業	21.4	28.9	7.5	28.9	0.0
化学	40.0	52.9	12.9	50.0	▼ 2.9
金属	33.3	45.2	11.9	50.0	4.8
機械	30.0	39.7	9.7	37.5	▼ 2.2
其他の製造	38.8	40.5	1.7	38.2	▼ 2.3
非製造業	34.4	39.6	5.2	39.4	▼ 0.2
卸売	39.2	40.2	1.0	40.8	0.6
小売	35.1	36.8	1.7	39.1	2.3
情報通信	26.9	45.5	18.6	45.0	▼ 0.5
飲食・宿泊	26.0	35.7	9.7	35.2	▼ 0.5
サービス	38.0	44.7	6.7	42.4	▼ 2.3
建設	30.9	35.3	4.4	33.3	▼ 2.0
観光関連	33.3	41.3	8.0	37.5	▼ 3.8

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 9. 同業他社との競争

図 17. 同業他社との競争DIの推移（全体）

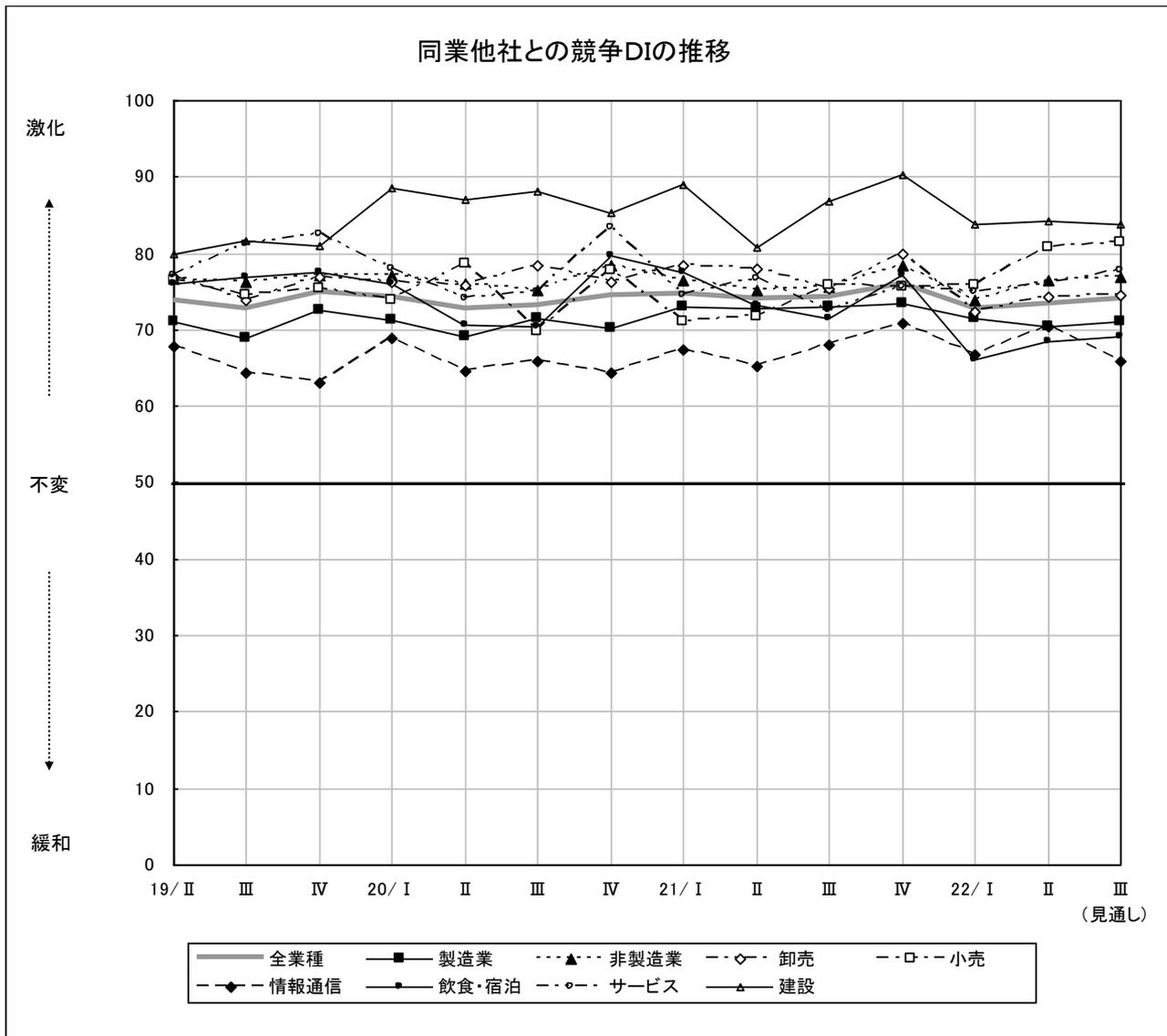


図 18. 同業他社との競争DIの推移 (製造業)

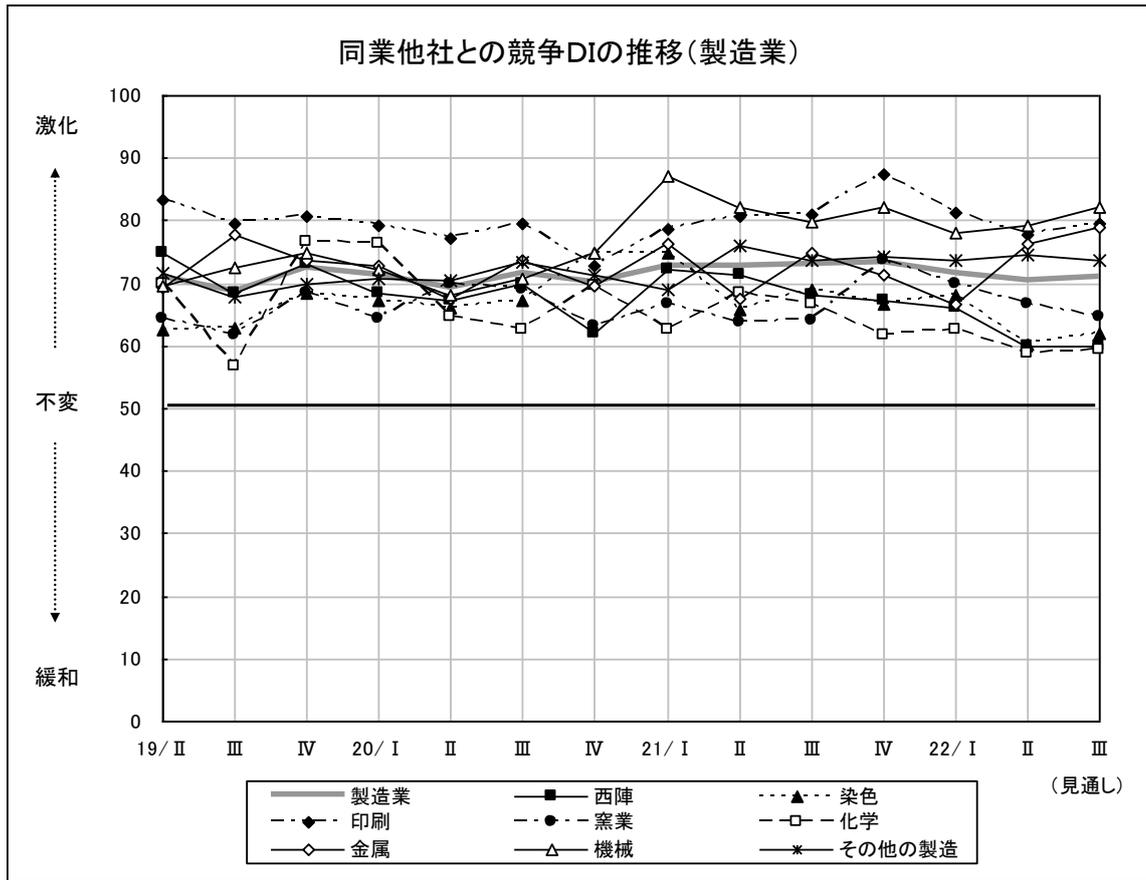


表 9. 同業他社との競争DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
全業種	72.7	73.5	0.8	74.0	0.5
製造業	71.5	70.5	▼ 1.0	71.1	0.6
西陣	66.1	60.0	▼ 6.1	60.0	0.0
染色	68.2	60.3	▼ 7.9	62.1	1.8
印刷	81.3	77.8	▼ 3.5	79.6	1.8
窯業	70.0	66.7	▼ 3.3	64.7	▼ 2.0
化学	62.5	58.8	▼ 3.7	59.4	0.6
金属	66.7	76.2	9.5	78.9	2.7
機械	78.0	79.3	1.3	82.1	2.8
その他の製造	73.7	74.7	1.0	73.6	▼ 1.1
非製造業	73.9	76.5	2.6	76.8	0.3
卸売	72.3	74.2	1.9	74.6	0.4
小売	75.9	80.7	4.8	81.5	0.8
情報通信	66.7	70.5	3.8	65.8	▼ 4.7
飲食・宿泊	66.0	68.5	2.5	69.2	0.7
サービス	75.0	76.1	1.1	77.8	1.7
建設	83.8	84.3	0.5	83.8	▼ 0.5
観光関連	69.6	73.8	4.2	74.4	0.6

# 10. 受注残

図19. 受注残DIの推移

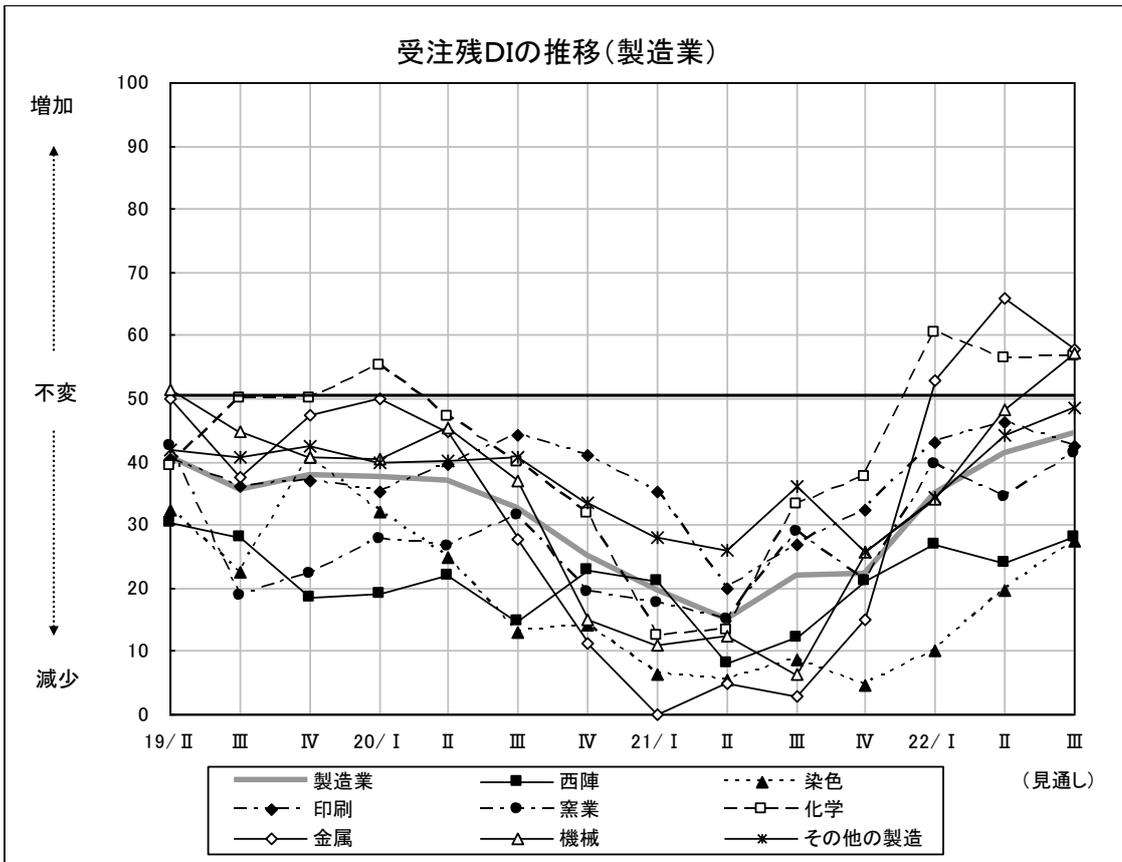


表10. 受注残DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	35.0	41.2	6.2	44.6	3.4
西陣	26.8	24.0	▼ 2.8	28.0	4.0
染色	10.0	19.7	9.7	27.4	7.7
印刷	43.2	46.3	3.1	42.6	▼ 3.7
窯業	39.5	34.4	▼ 5.1	41.2	6.8
化学	60.5	56.3	▼ 4.2	56.7	0.4
金属	52.9	65.8	12.9	57.9	▼ 7.9
機械	34.0	48.2	14.2	57.1	8.9
その他の製造	34.4	44.3	9.9	48.6	4.3
観光関連	28.9	34.6	5.7	35.3	0.7

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## 1.1. 生産設備

図20. 生産設備DIの推移

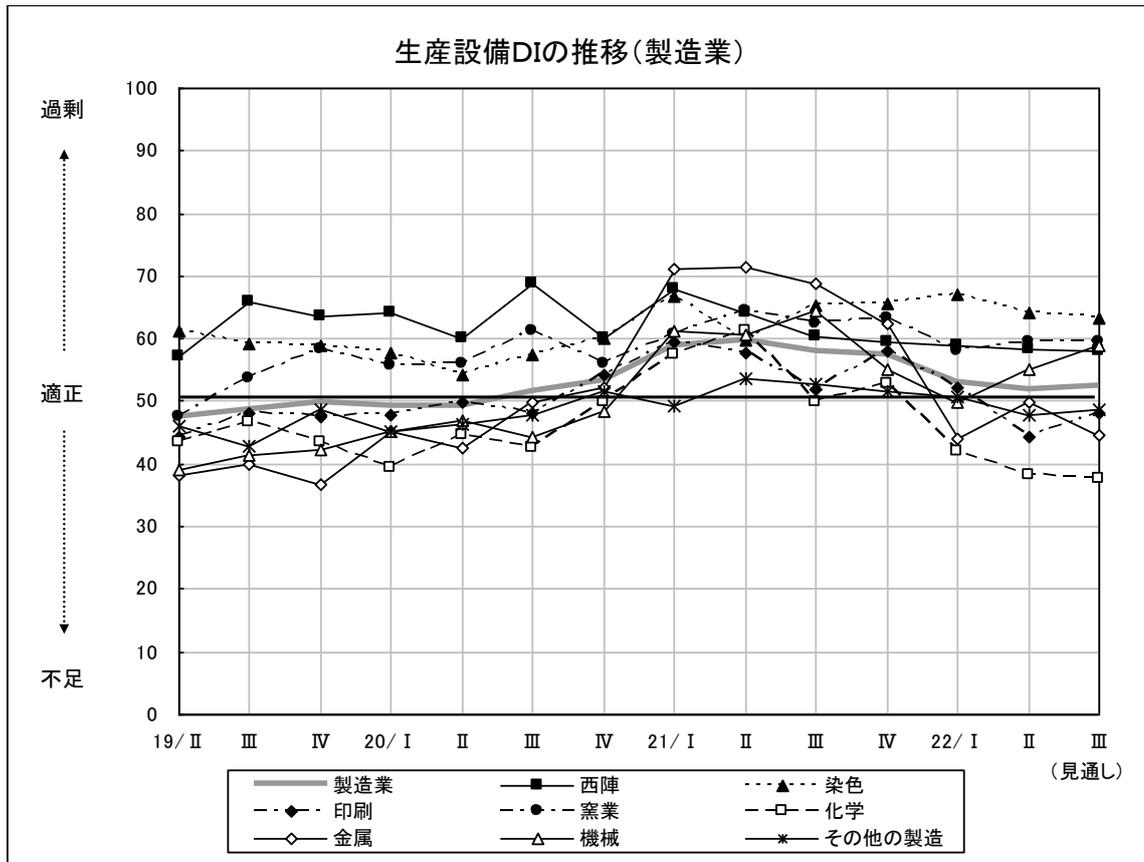


表11. 生産設備DI 実績値 (前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
		前期比		今期比	
製造業	53.2	51.9	▼ 1.3	52.4	0.5
西陣	58.9	58.3	▼ 0.6	58.0	▼ 0.3
染色	67.2	64.1	▼ 3.1	63.3	▼ 0.8
印刷	52.2	44.2	▼ 8.0	48.1	3.9
窯業	57.9	59.4	1.5	59.4	0.0
化学	42.1	38.2	▼ 3.9	37.5	▼ 0.7
金属	44.1	50.0	5.9	44.7	▼ 5.3
機械	50.0	55.2	5.2	58.9	3.7
その他の製造	50.7	47.8	▼ 2.9	48.6	0.8
観光関連	50.0	45.8	▼ 4.2	50.0	4.2

## 12. 設備投資

図21. 設備投資DIの推移

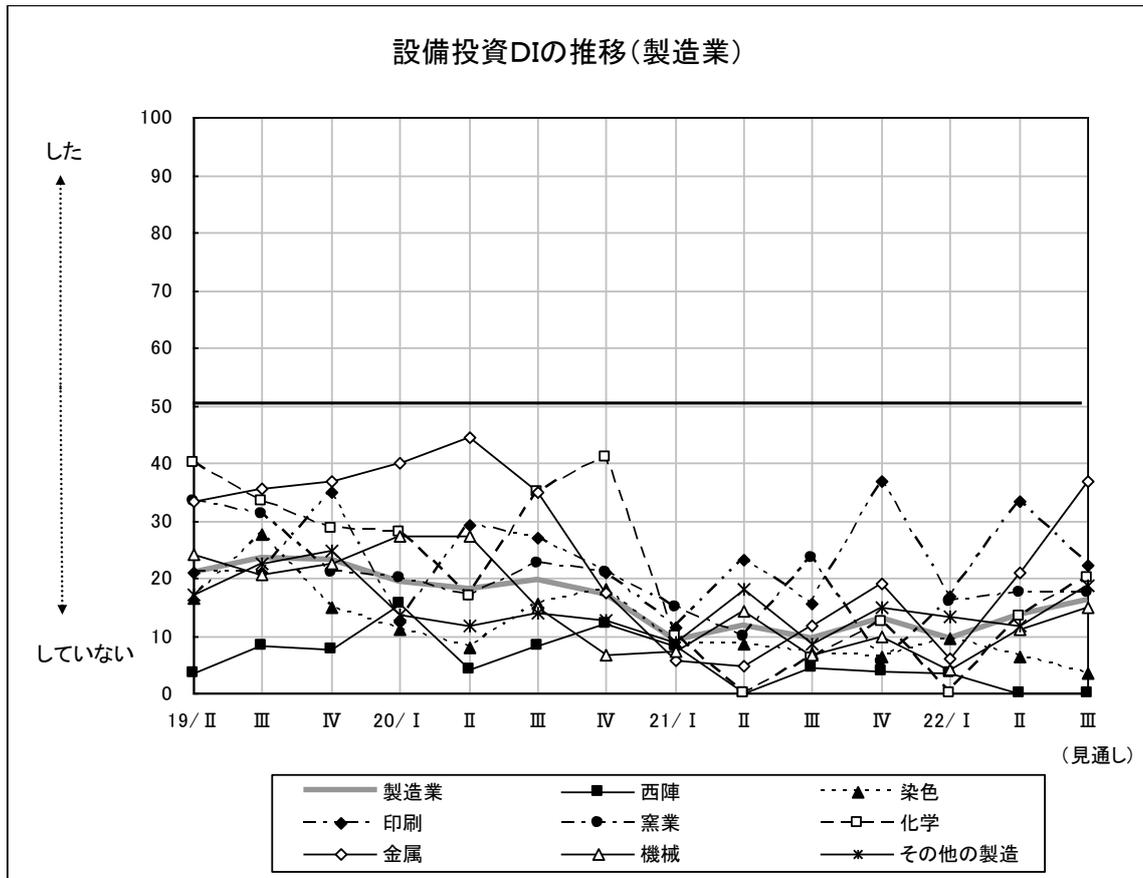


表12. 設備投資DI 実績値(前期/今期/来期見通し)

	前期実績	今期実績		来期見通し	
			前期比		今期比
製造業	9.6	13.7	4.1	16.3	2.6
西陣	3.6	0.0	▼ 3.6	0.0	0.0
染色	9.4	6.5	▼ 2.9	3.4	▼ 3.1
印刷	16.7	33.3	16.6	22.2	▼ 11.1
窯業	15.8	17.6	1.8	17.6	0.0
化学	0.0	13.3	13.3	20.0	6.7
金属	5.9	21.1	15.2	36.8	15.7
機械	4.0	11.1	7.1	14.8	3.7
その他の製造	13.2	11.9	▼ 1.3	18.8	6.9
観光関連	11.1	16.7	5.6	12.5	▼ 4.2

※ 網掛けは、10ポイント以上の変動を示す。

## (2) 当面の経営戦略について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 22. 当面の経営戦略・回答の推移

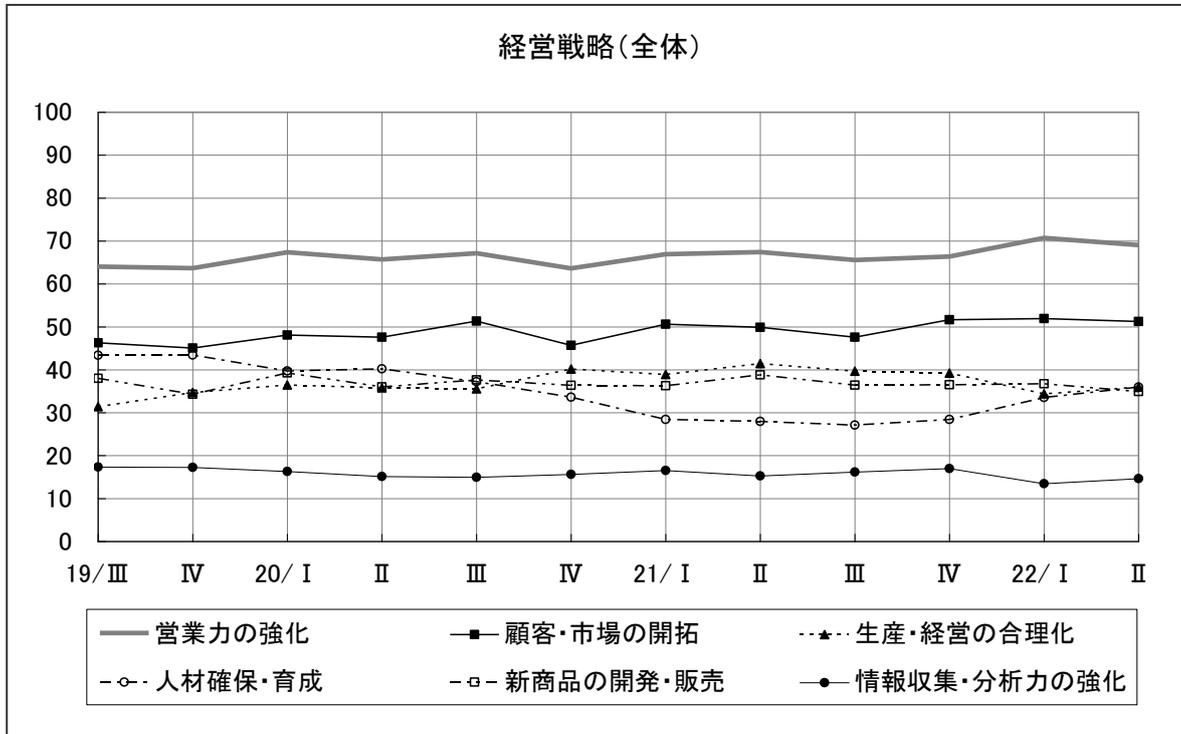


図 23. 当面の経営戦略・製造業主要回答

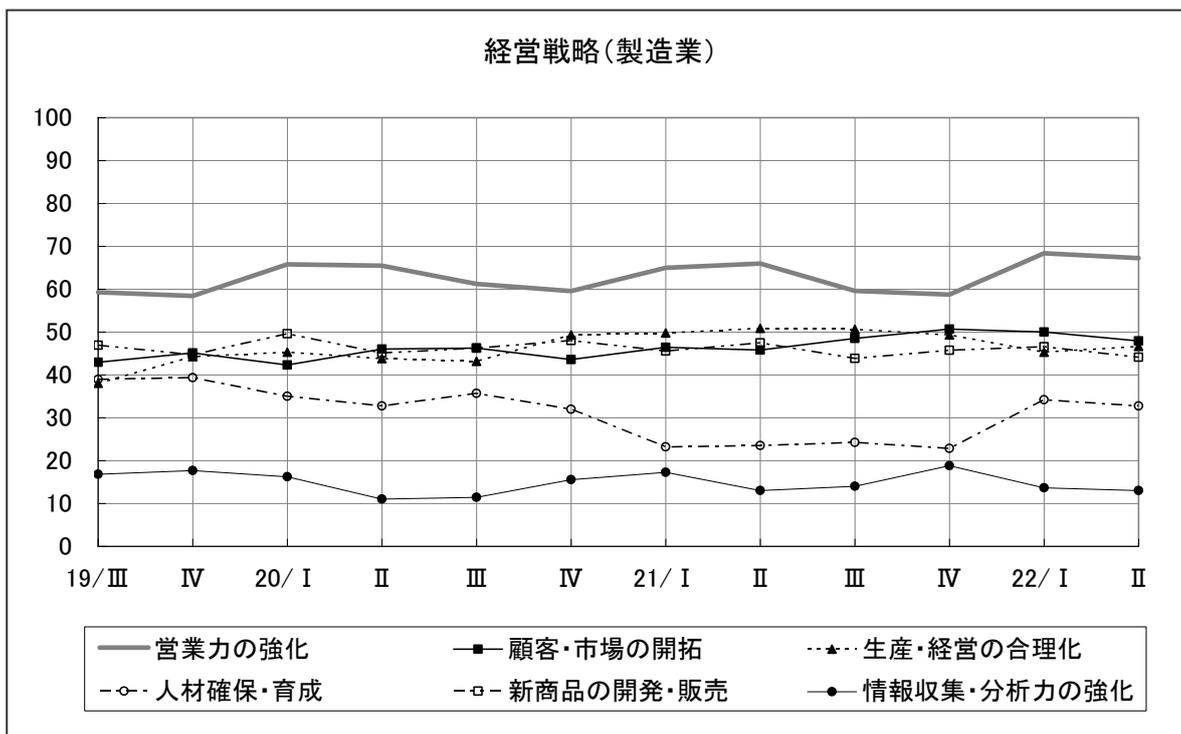


図24. 当面の経営戦略・西陣

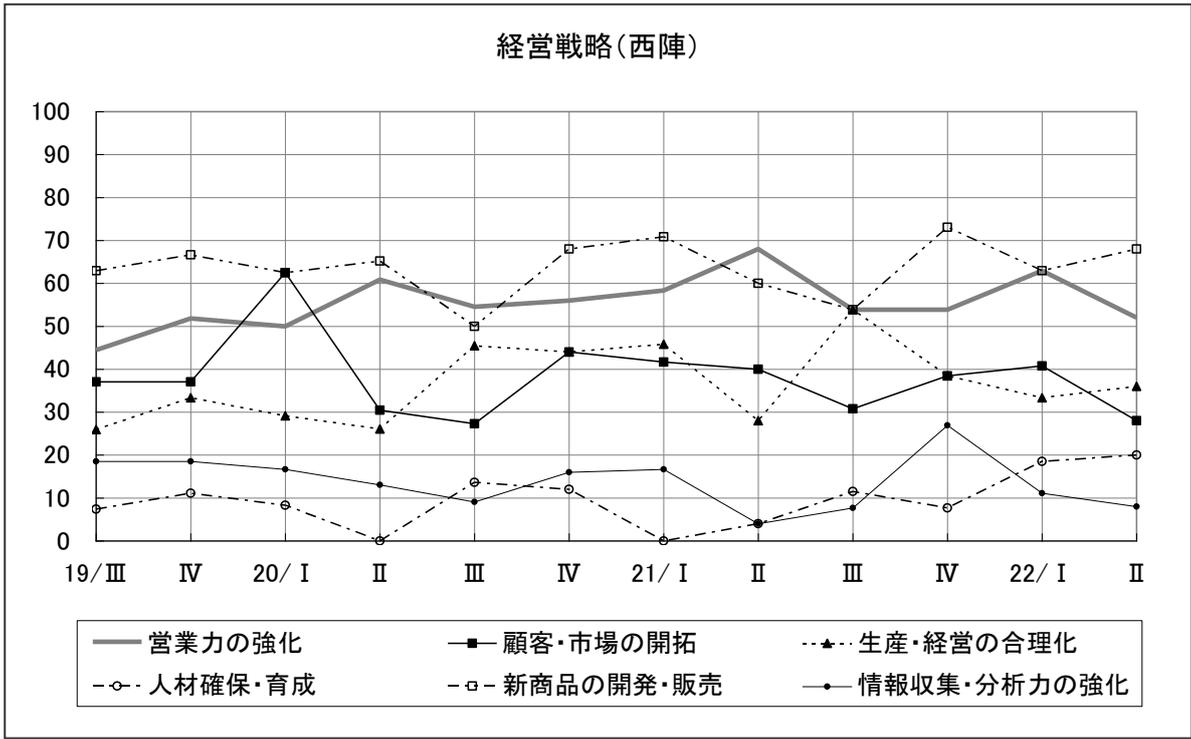


図25. 当面の経営戦略・染色

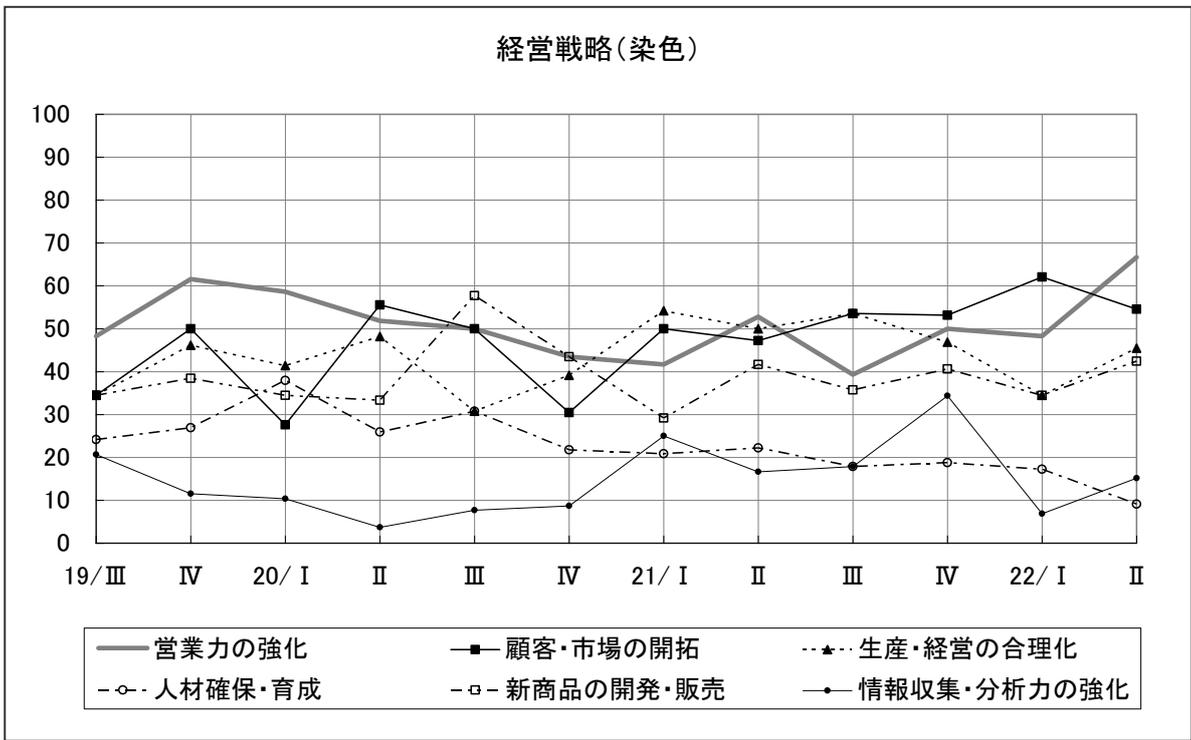


図 26. 当面の経営戦略・印刷

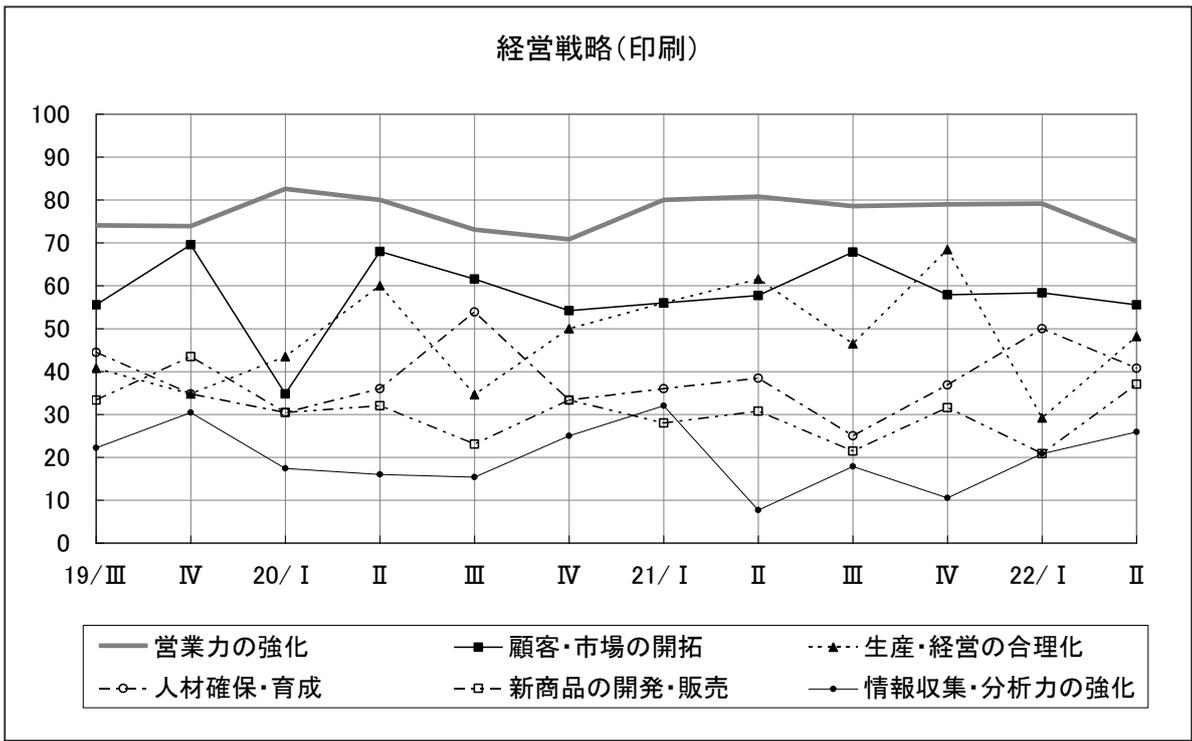


図 27. 当面の経営戦略・窯業

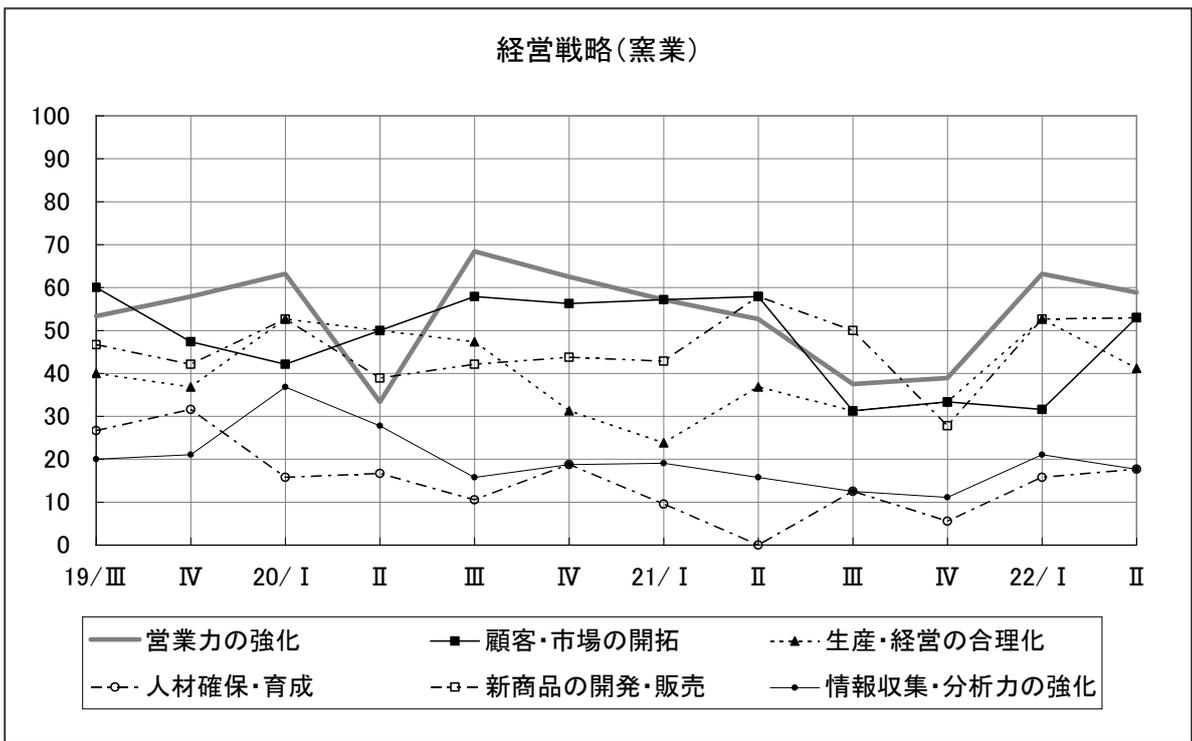


図28. 当面の経営戦略・化学

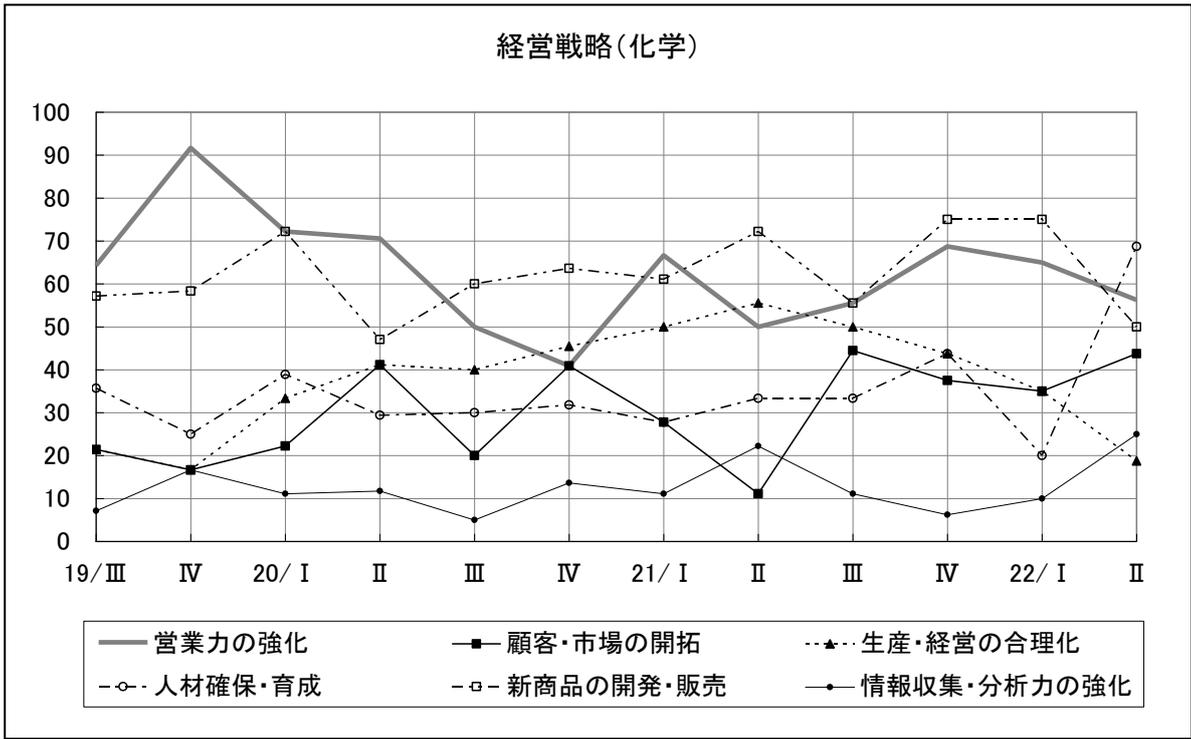


図29. 当面の経営戦略・金属

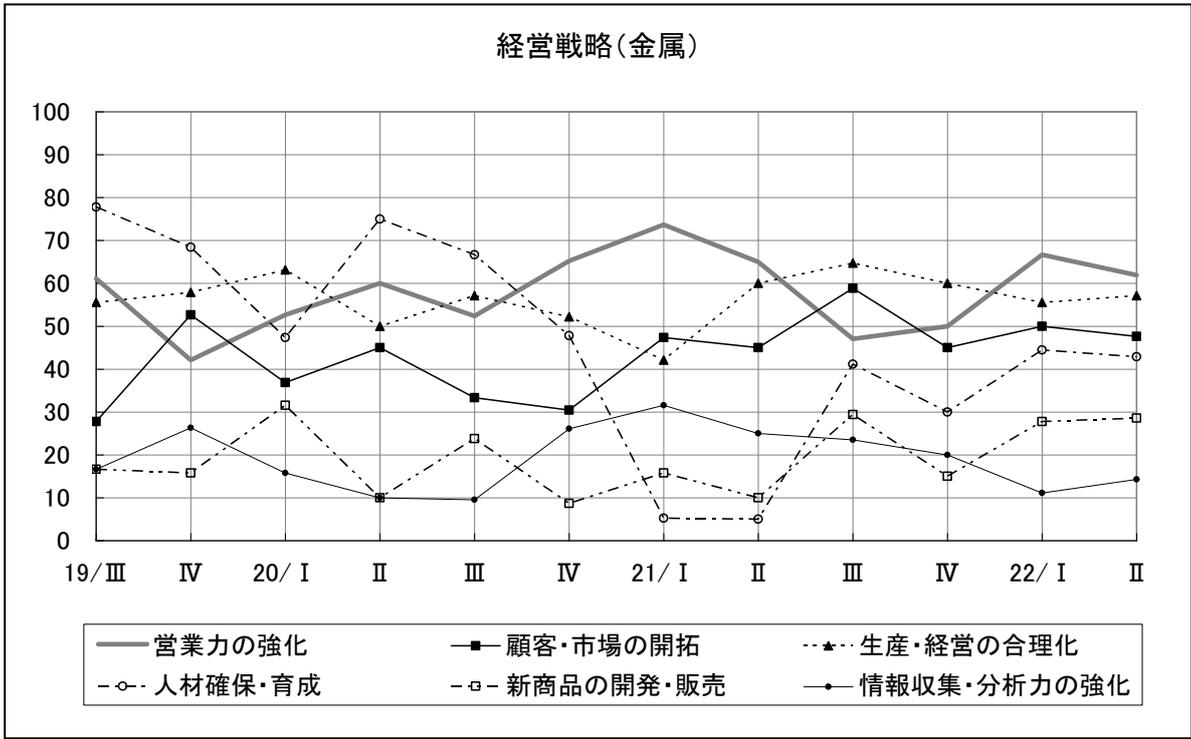


図 30. 当面の経営戦略・機械

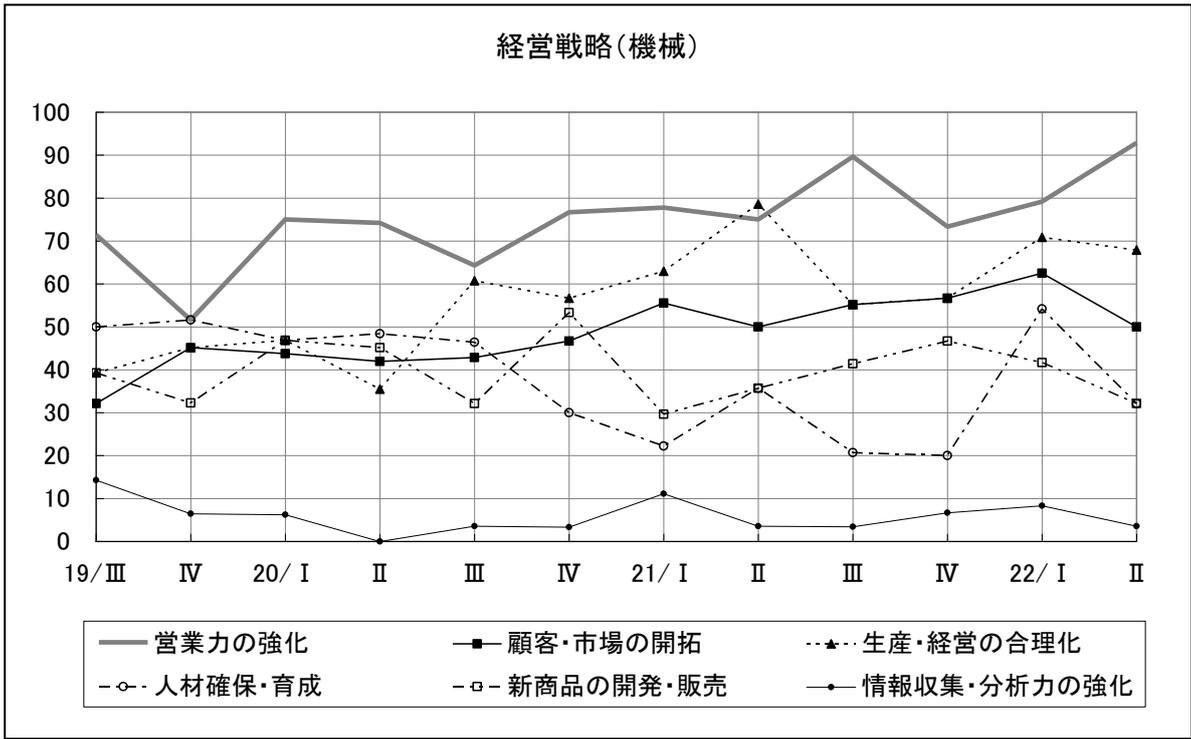


図 31. 当面の経営戦略・その他の製造

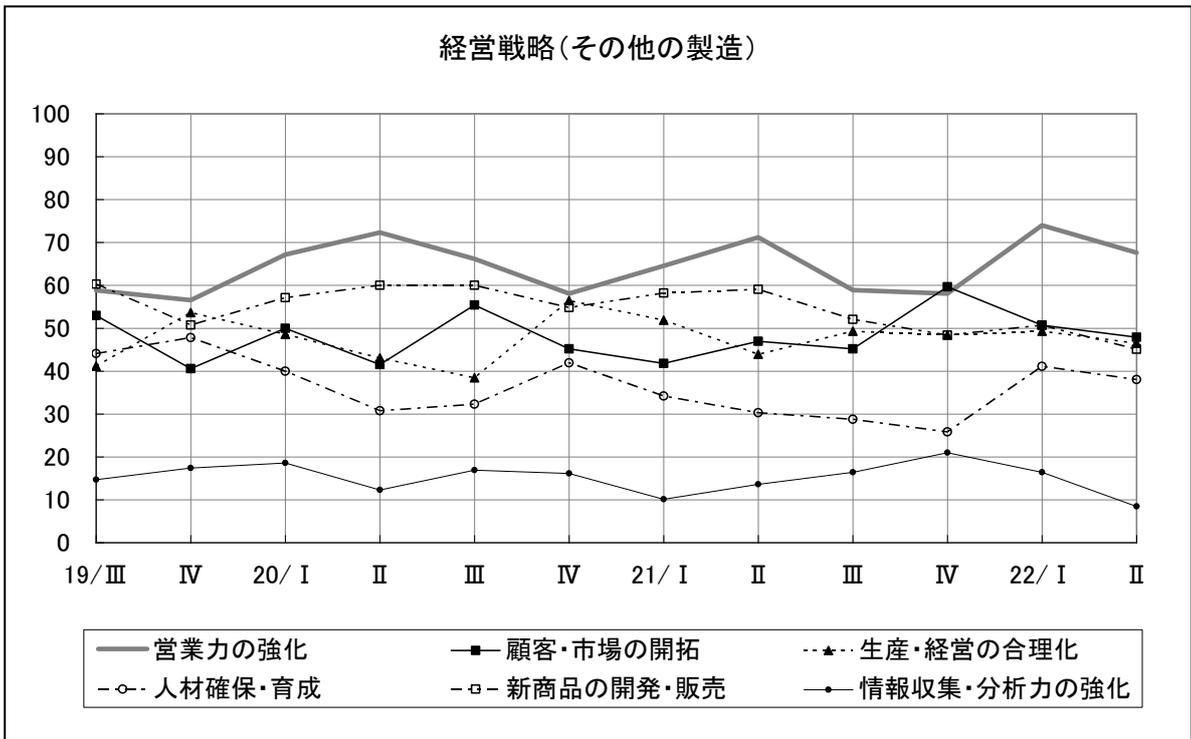


図 32. 当面の経営戦略・非製造業主要回答

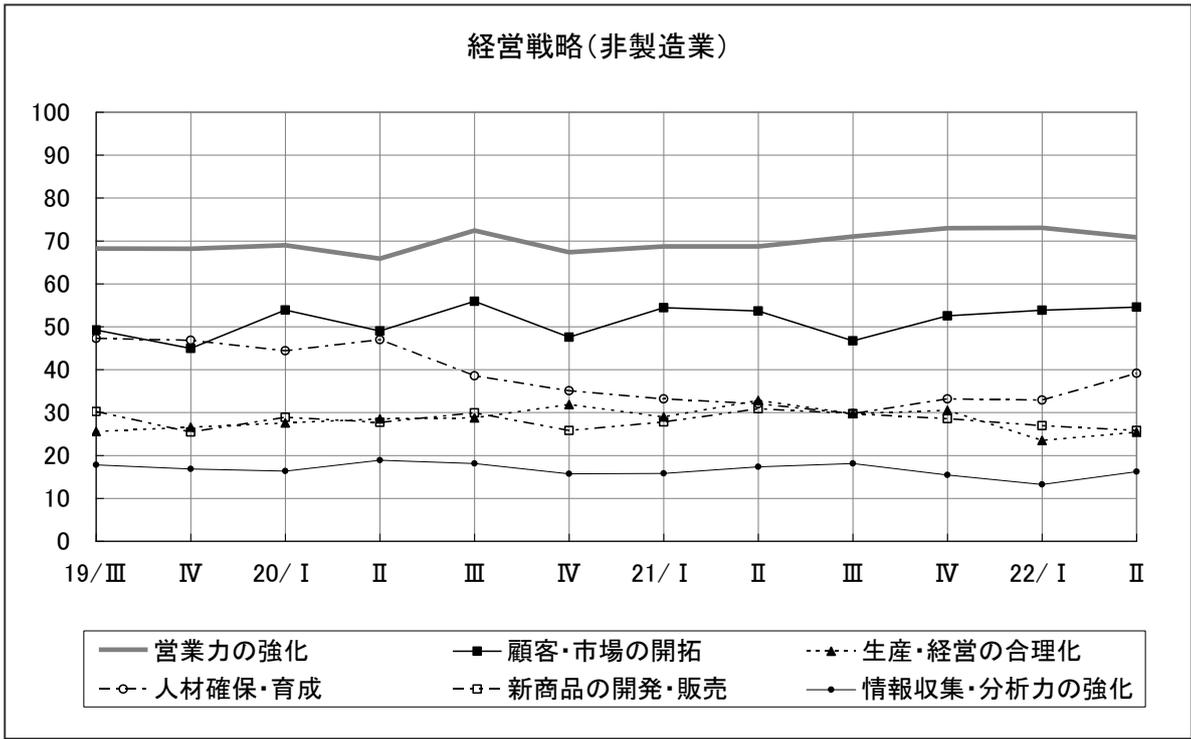


図 33. 当面の経営戦略・卸売

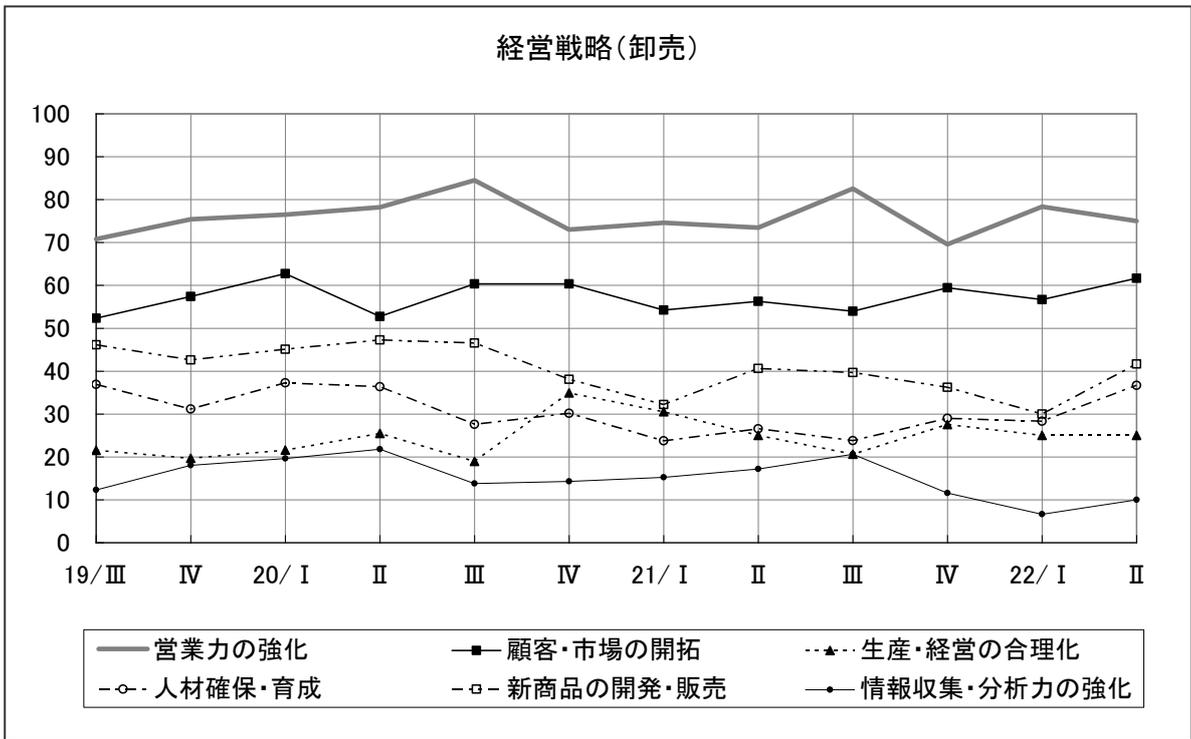


図 34. 当面の経営戦略・小売

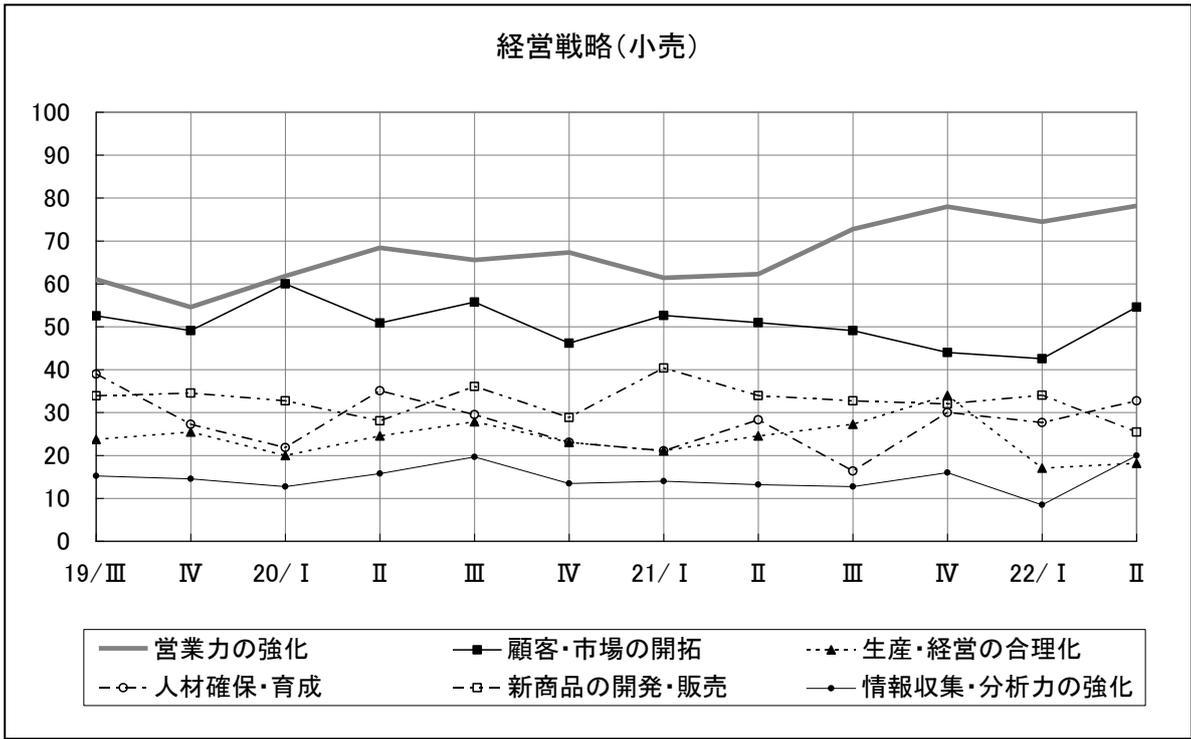


図 35. 当面の経営戦略・情報通信

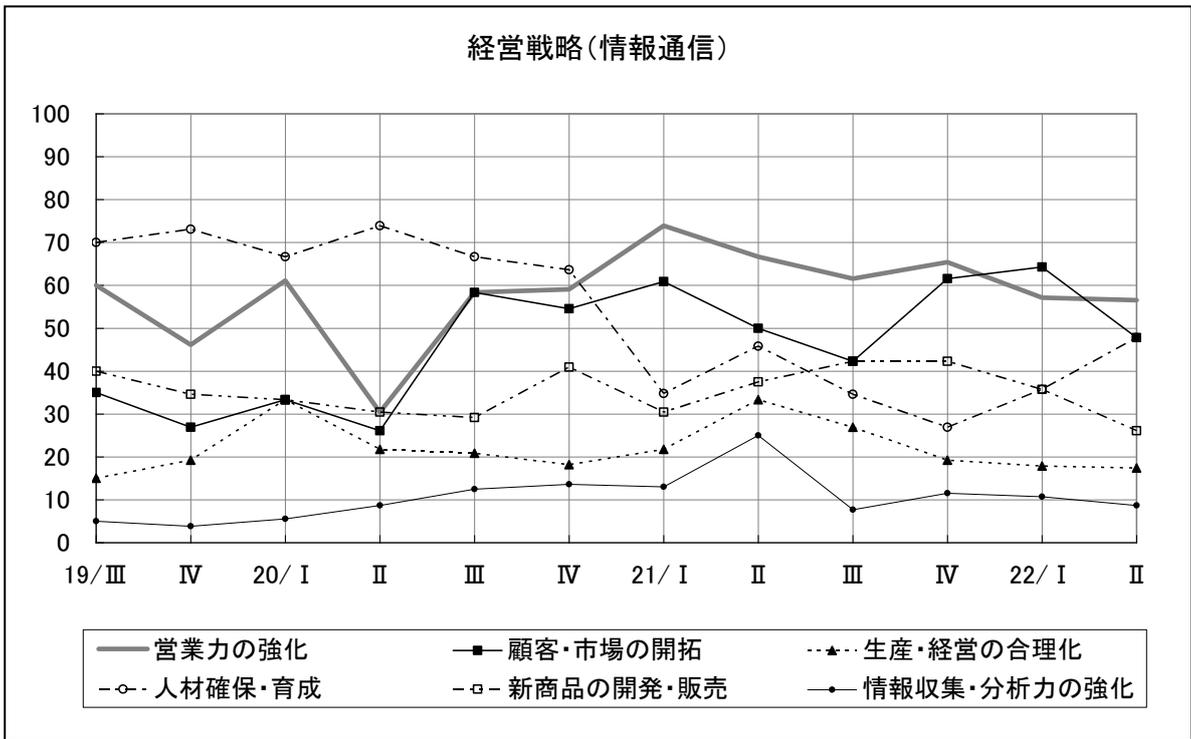


図 36. 当面の経営戦略・飲食・宿泊

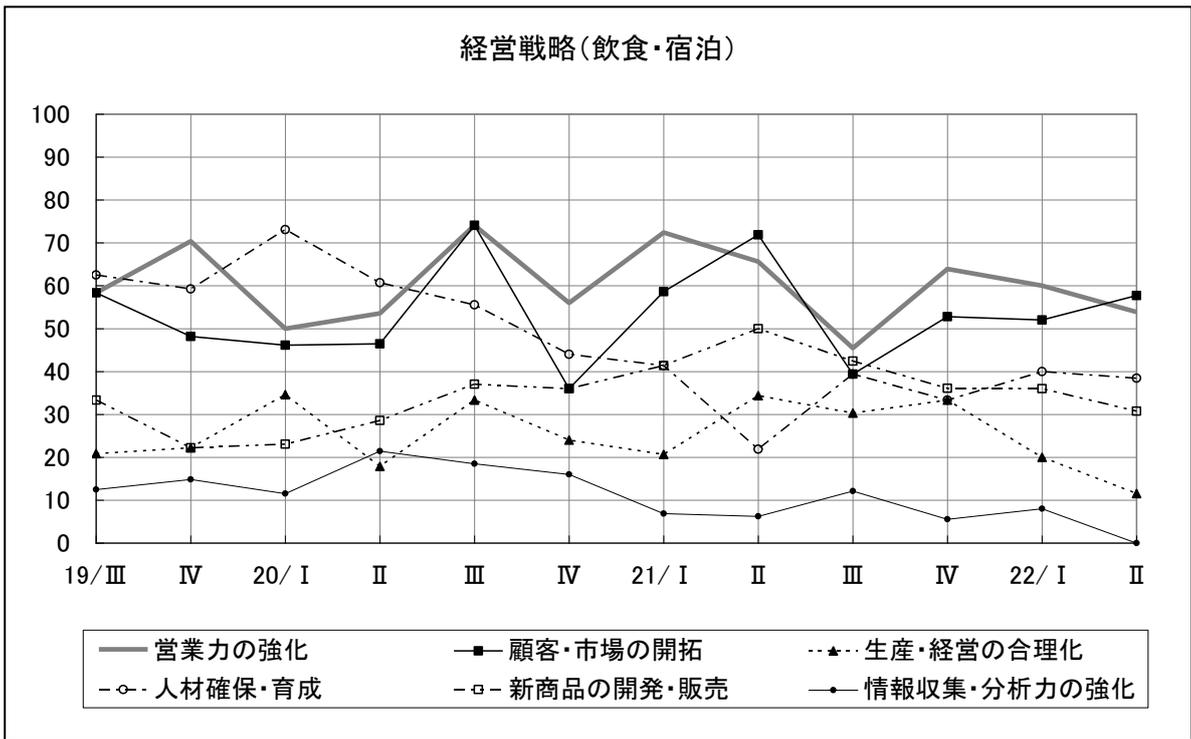


図 37. 当面の経営戦略・サービス

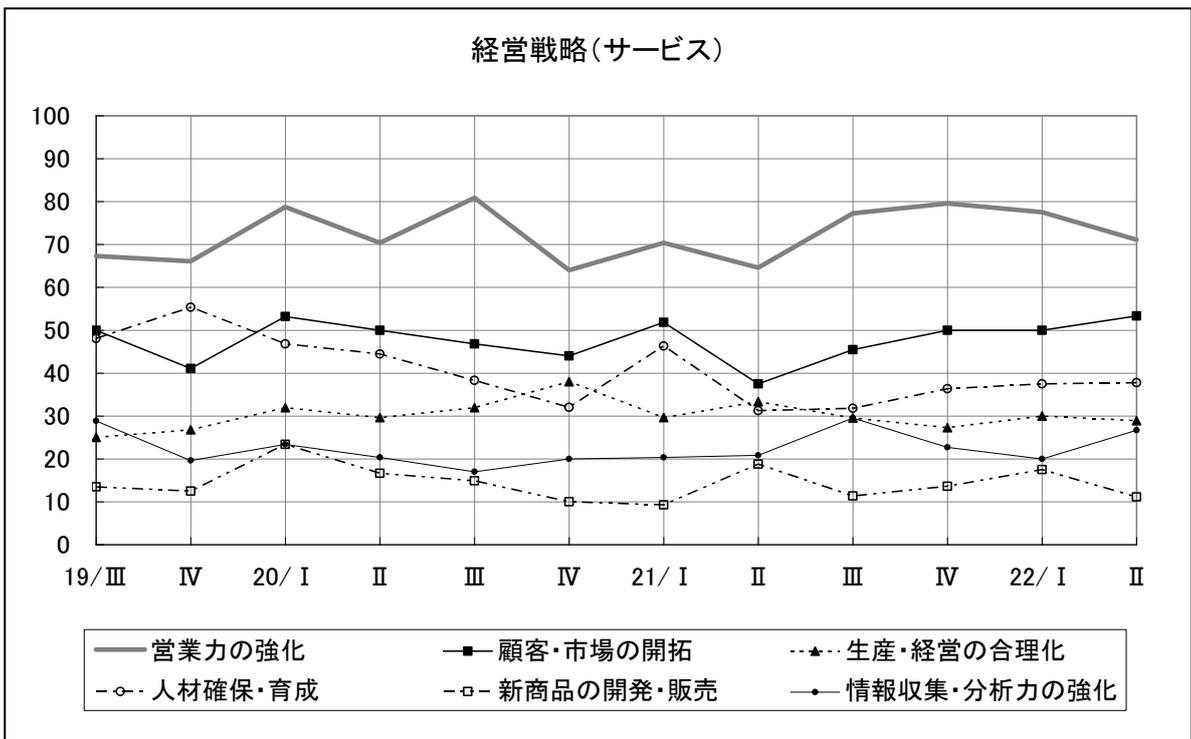


図 38. 当面の経営戦略・建設

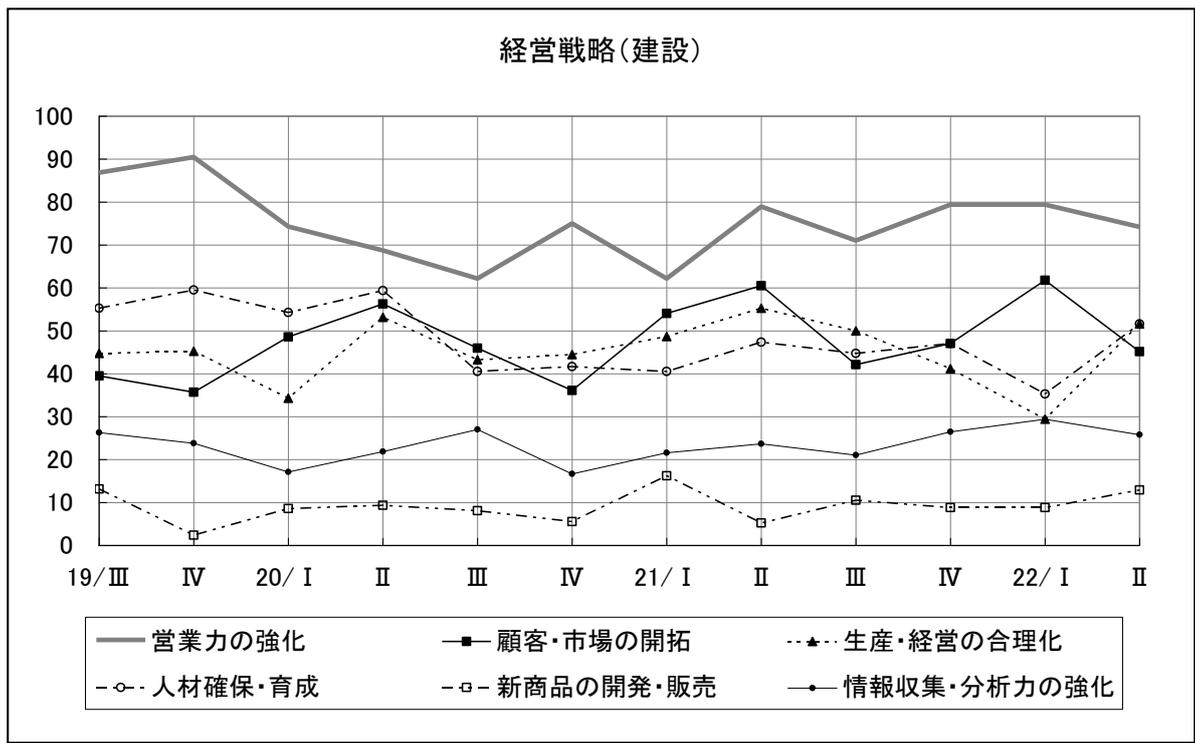


表 13. 当面の経営戦略・回答状況一覧

	営業力の強化	生産・経営の合理化	人材確保・育成	新規産業分野への進出	顧客・市場の開拓	新商品の開発・販売	研究開発の強化	情報収集・分析力の強化	その他	有効回答	無回答
全業種	330 69.0%	172 36.0%	172 36.0%	66 13.8%	245 51.3%	167 34.9%	34 7.1%	70 14.6%	3 0.6%	478 100.0%	36
製造業	160 67.2%	111 46.6%	78 32.8%	43 18.1%	114 47.9%	105 44.1%	30 12.6%	31 13.0%	1 0.4%	238 100.0%	14
西陣	13 52.0%	9 36.0%	5 20.0%	4 16.0%	7 28.0%	17 68.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	25 100.0%	1
染色	22 70.4%	15 48.1%	3 40.7%	7 14.8%	18 55.6%	14 37.0%	5 7.4%	5 25.9%	1 0.0%	33 100.0%	3
印刷	19 70.4%	13 48.1%	11 40.7%	4 14.8%	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%	7 25.9%	0 0.0%	27 100.0%	0
窯業	10 58.8%	7 41.2%	3 17.6%	2 11.8%	9 52.9%	9 52.9%	3 17.6%	3 17.6%	0 0.0%	17 100.0%	2
化学	9 56.3%	3 18.8%	11 68.8%	2 12.5%	7 43.8%	8 50.0%	6 37.5%	4 25.0%	0 0.0%	16 100.0%	1
金属	13 61.9%	12 57.1%	9 42.9%	8 38.1%	10 47.6%	6 28.6%	1 4.8%	3 14.3%	0 0.0%	21 100.0%	0
機械	26 92.9%	19 67.9%	9 32.1%	6 21.4%	14 50.0%	9 32.1%	5 17.9%	1 3.6%	0 0.0%	28 100.0%	1
その他の製造	48 67.6%	33 46.5%	27 38.0%	10 14.1%	34 47.9%	32 45.1%	7 9.9%	6 8.5%	0 0.0%	71 100.0%	6
非製造業	170 70.8%	61 25.4%	94 39.2%	23 9.6%	131 54.6%	62 25.8%	4 1.7%	39 16.3%	2 0.8%	240 100.0%	22
卸売	45 75.0%	15 25.0%	22 36.7%	10 16.7%	37 61.7%	25 41.7%	1 1.7%	6 10.0%	0 0.0%	60 100.0%	7
小売	43 78.2%	10 18.2%	18 32.7%	5 9.1%	30 54.5%	14 25.5%	0 0.0%	11 20.0%	2 3.6%	55 100.0%	5
情報通信	13 56.5%	4 17.4%	11 47.8%	3 13.0%	11 47.8%	6 26.1%	2 8.7%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%	0
飲食・宿泊	14 53.8%	3 11.5%	10 38.5%	0 0.0%	15 57.7%	8 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	26 100.0%	2
サービス	32 71.1%	13 28.9%	17 37.8%	4 8.9%	24 53.3%	5 11.1%	0 0.0%	12 26.7%	0 0.0%	45 100.0%	4
建設	23 74.2%	16 51.6%	16 51.6%	1 3.2%	14 45.2%	4 12.9%	1 3.2%	8 25.8%	0 0.0%	31 100.0%	4
観光関連	22 62.9%	12 34.3%	13 37.1%	2 5.7%	18 51.4%	18 51.4%	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	35 100.0%	7

### (3) 経営上の不安要素について

※回答項目数が多いため、主要回答（回答数上位6項目）のみの表示としている。

図 39. 経営上の不安要素・全体回答状況

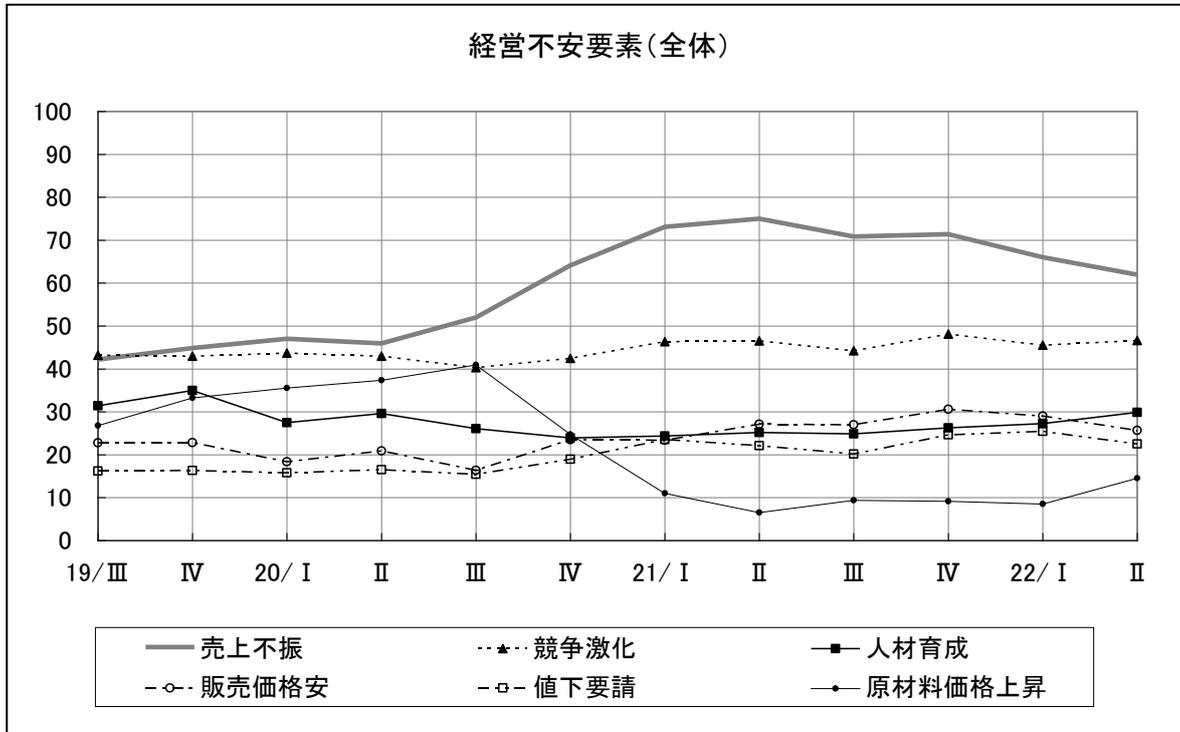


図 40. 経営上の不安要素・製造業主要回答

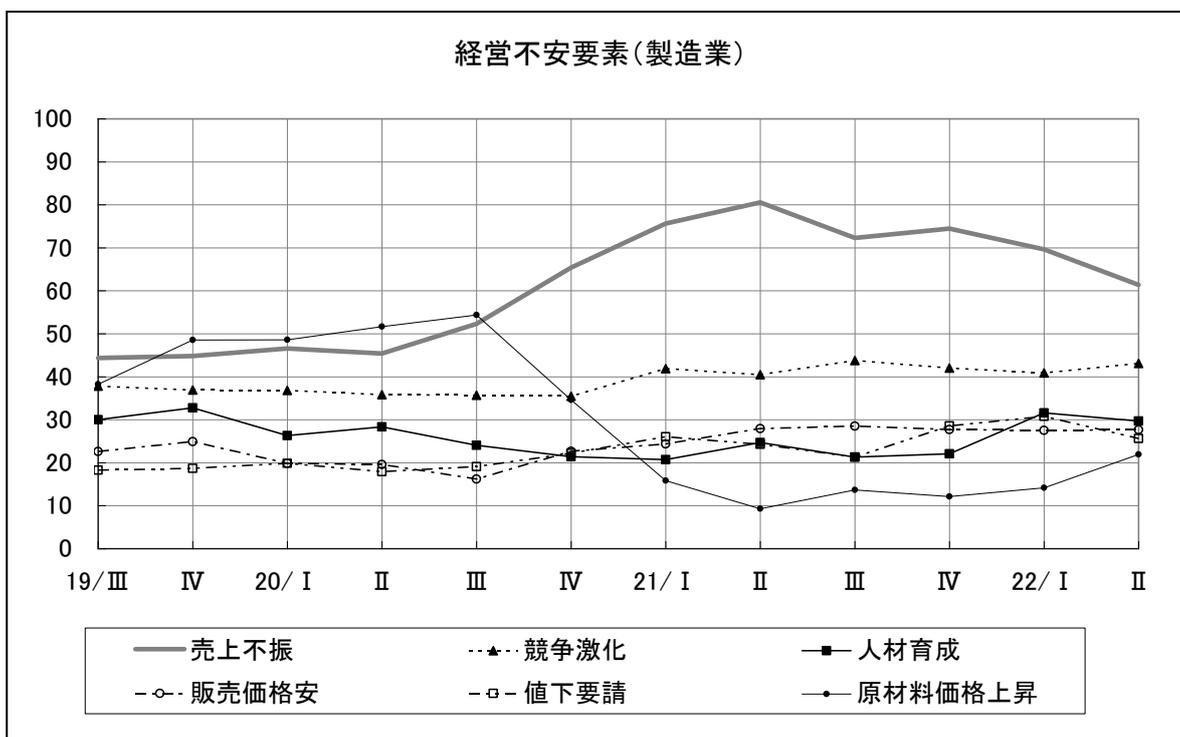


図 41. 経営上の不安要素・西陣

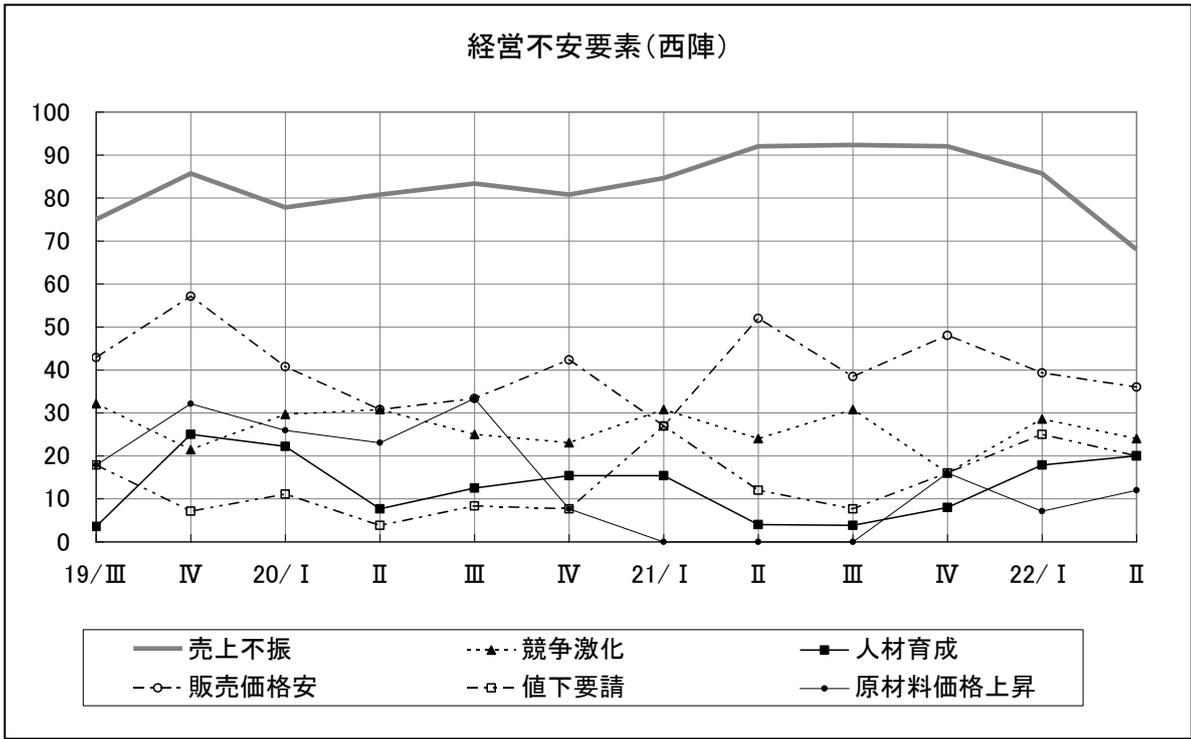


図 42. 経営上の不安要素・染色

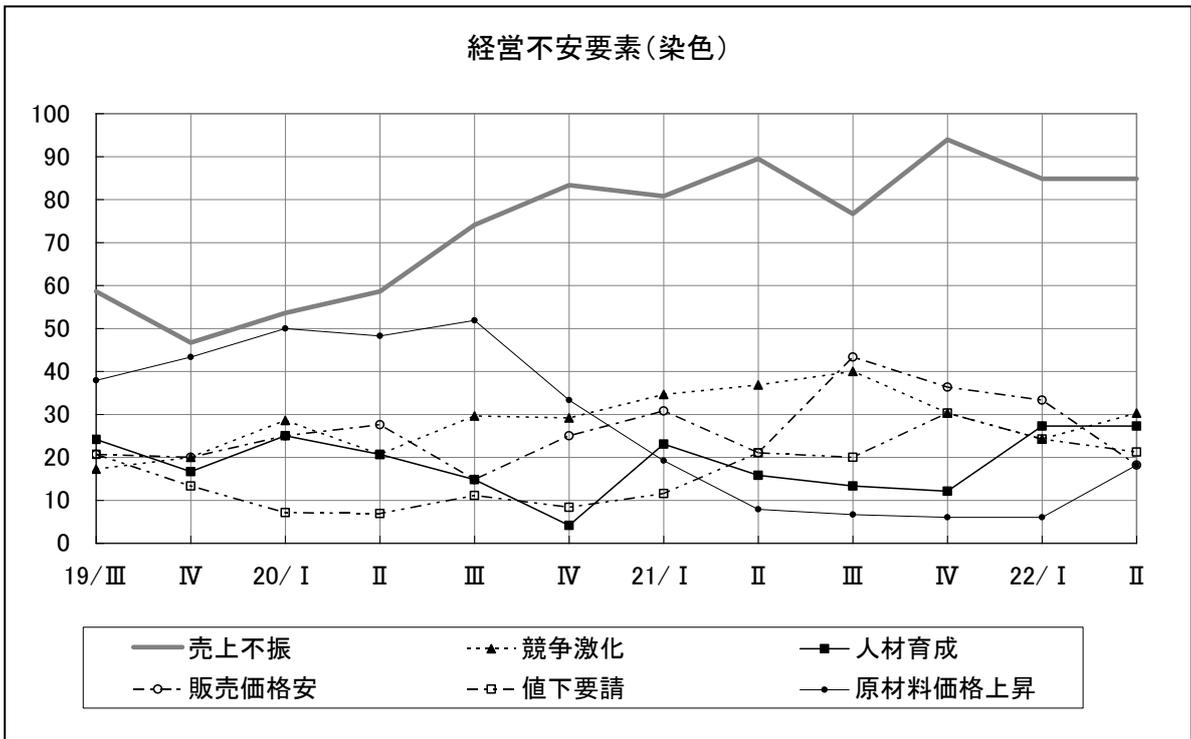


図 43. 経営上の不安要素・印刷

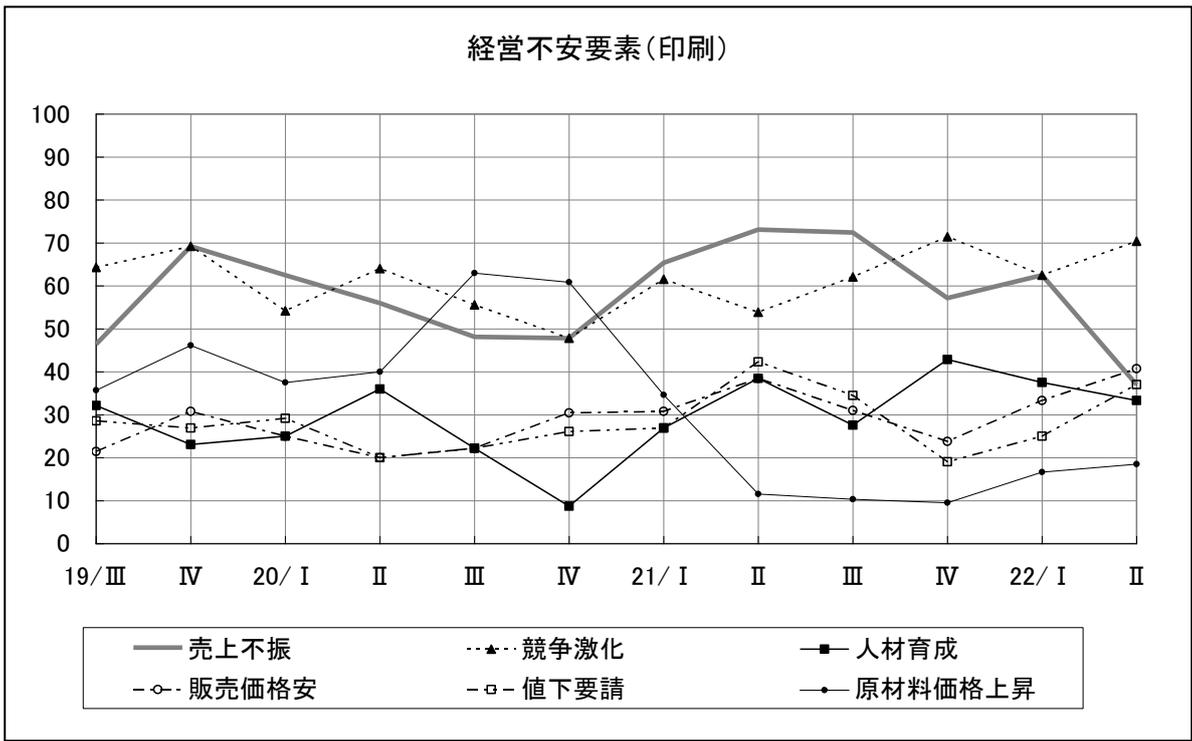


図 44. 経営上の不安要素・窯業

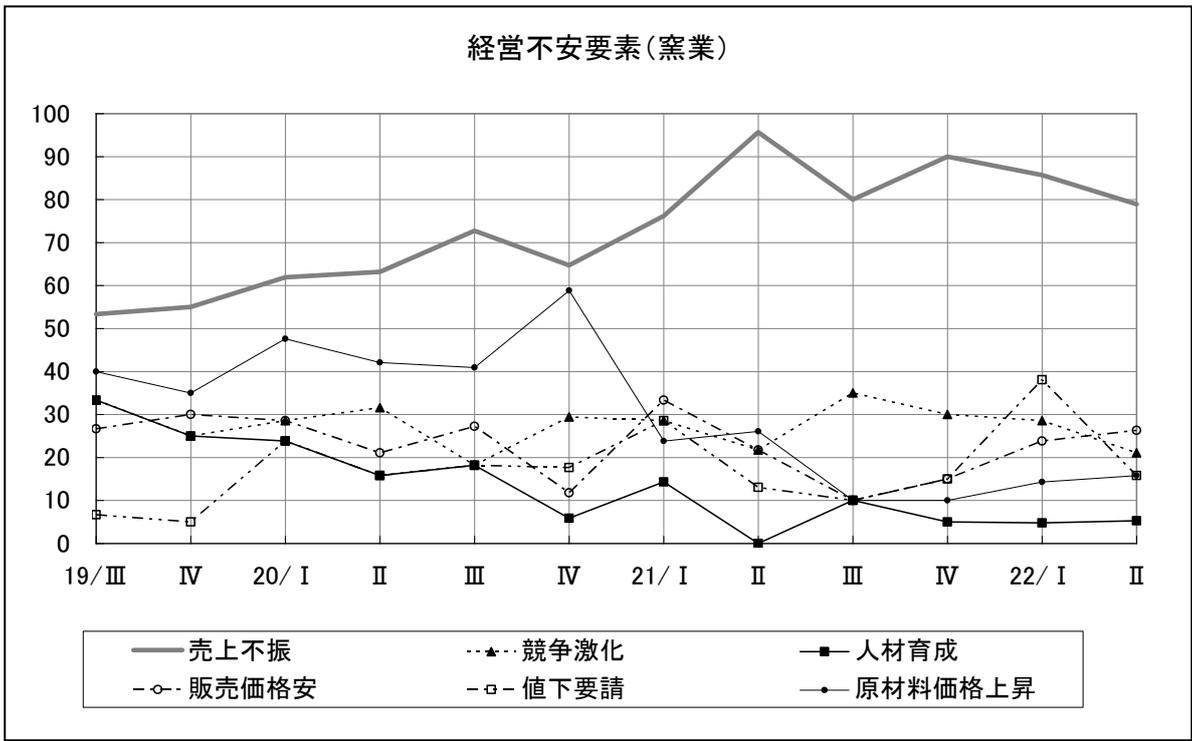


図 45. 経営上の不安要素・化学

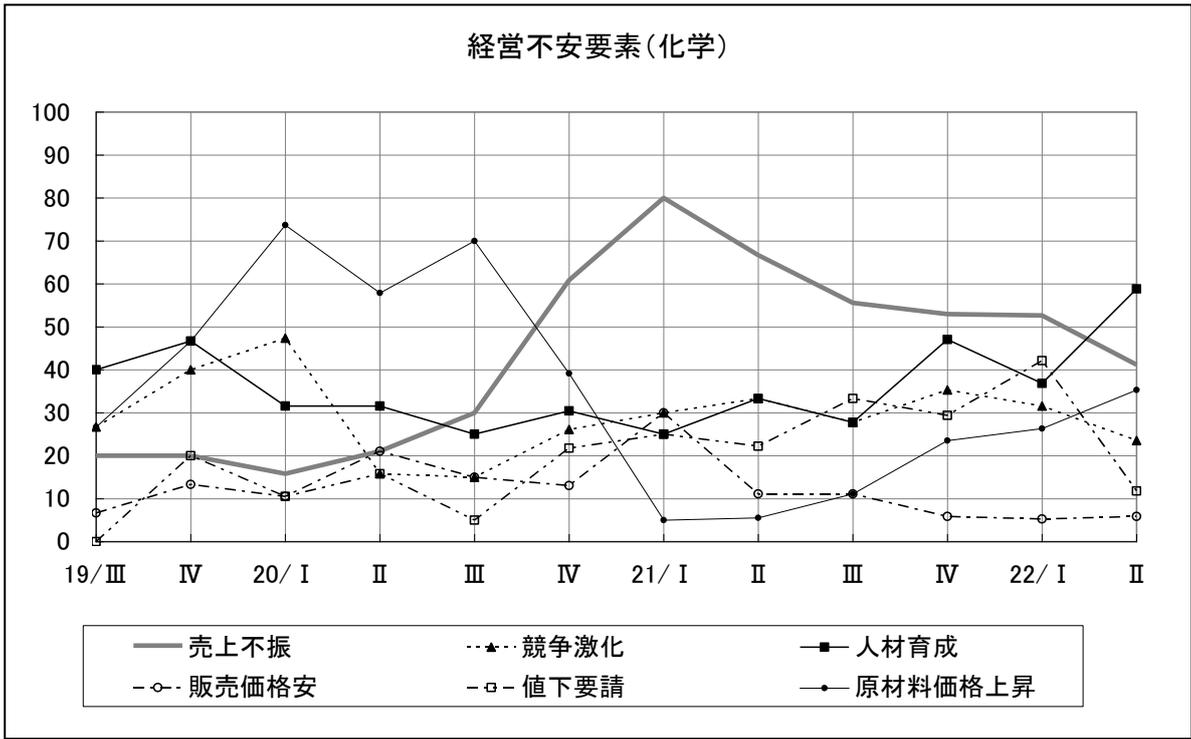


図 46. 経営上の不安要素・金属

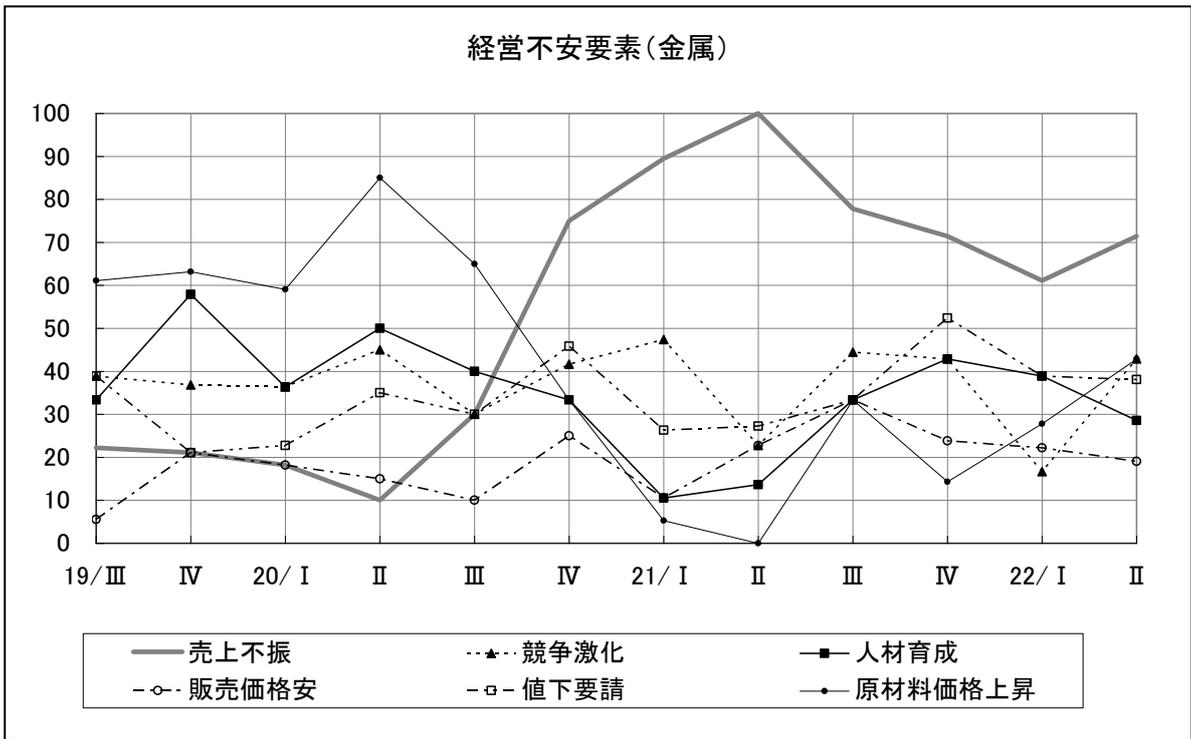


図 47. 経営上の不安要素・機械

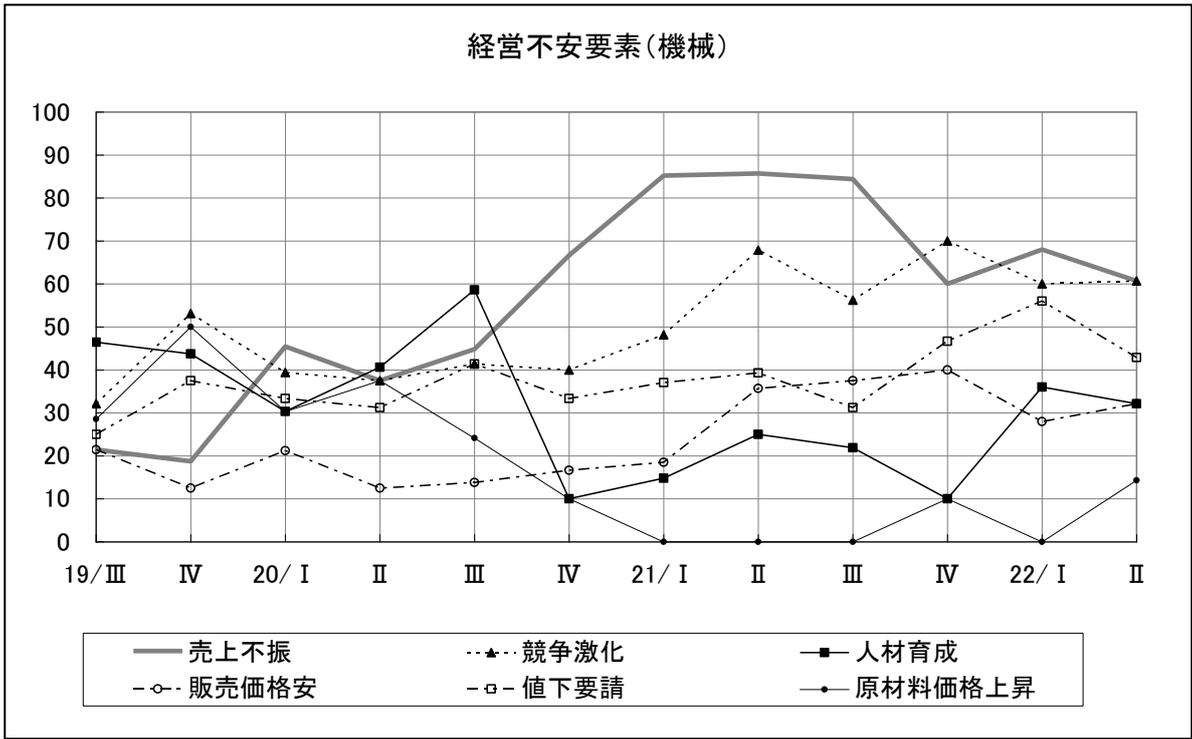


図 48. 経営上の不安要素・その他の製造

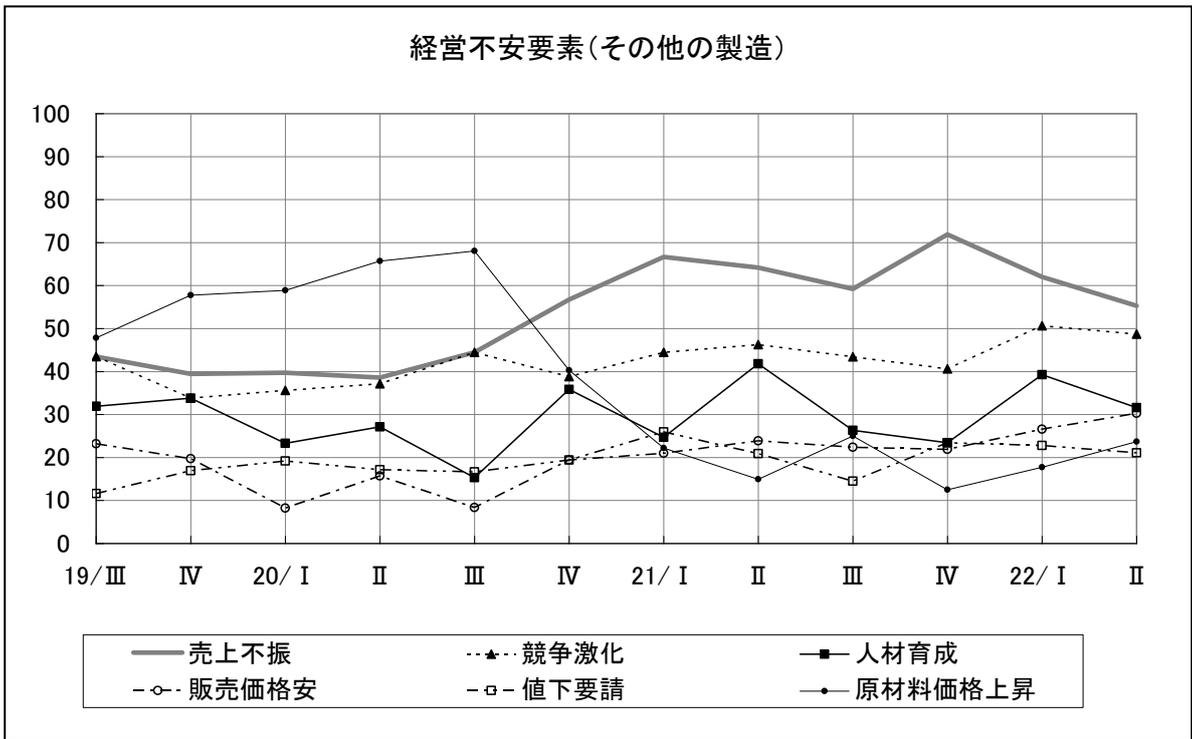


図 49. 経営上の不安要素・非製造業主要回答

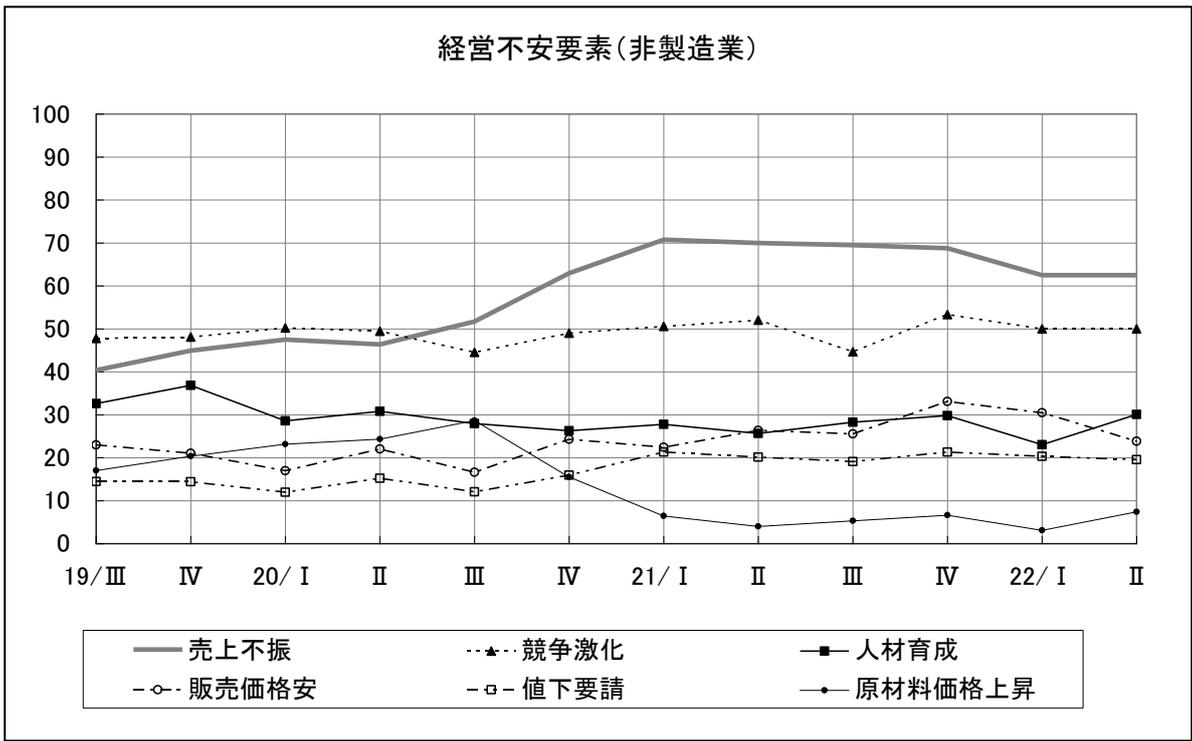


図 50. 経営上の不安要素・卸売

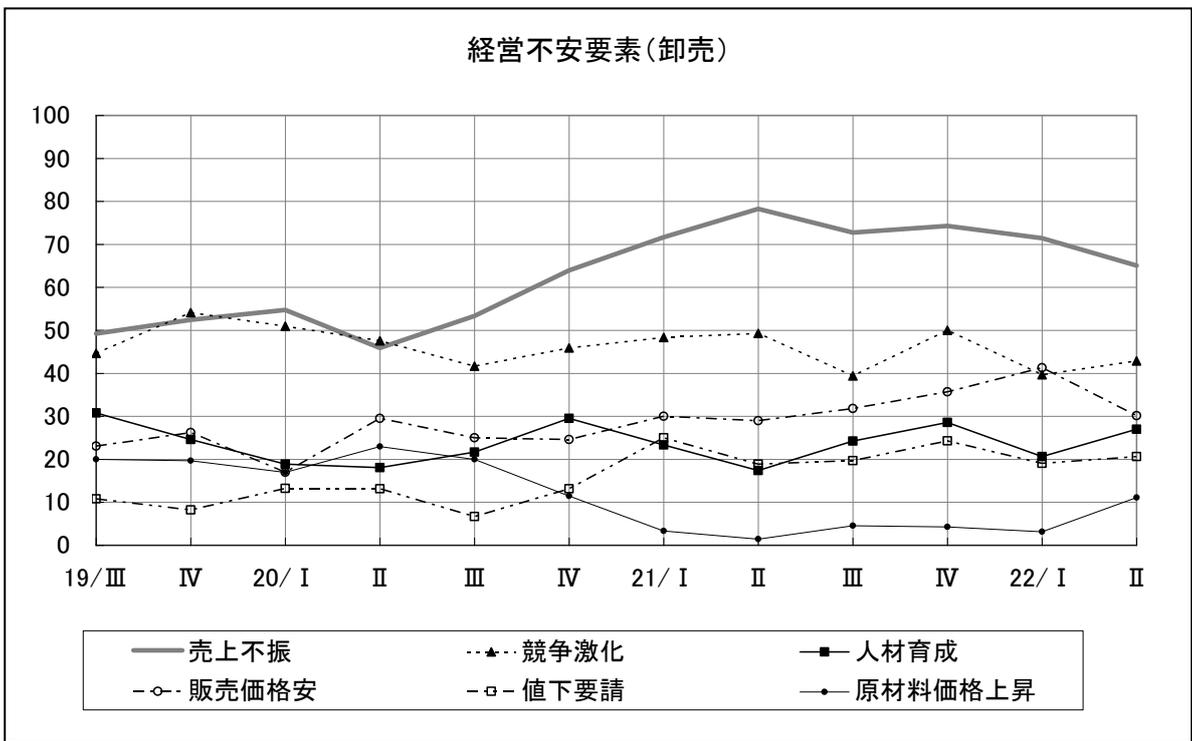


図 51. 経営上の不安要素・小売

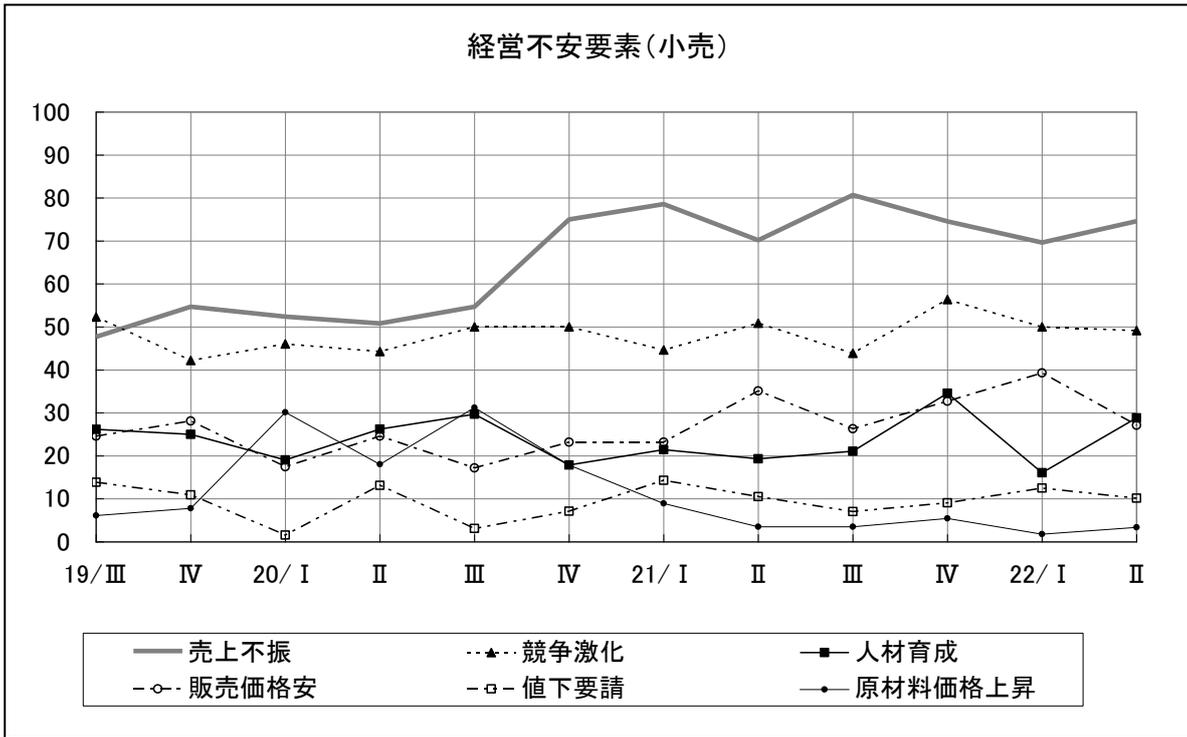


図 52. 経営上の不安要素・情報通信

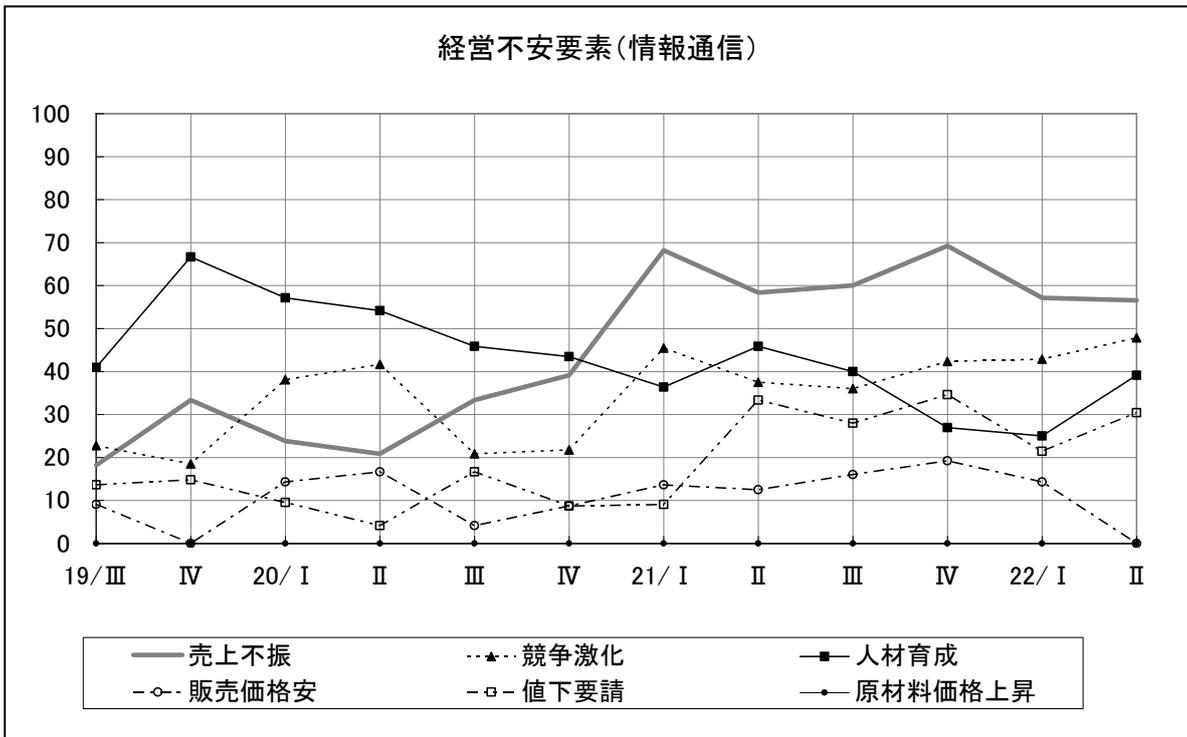


図 53. 経営上の不安要素・飲食・宿泊

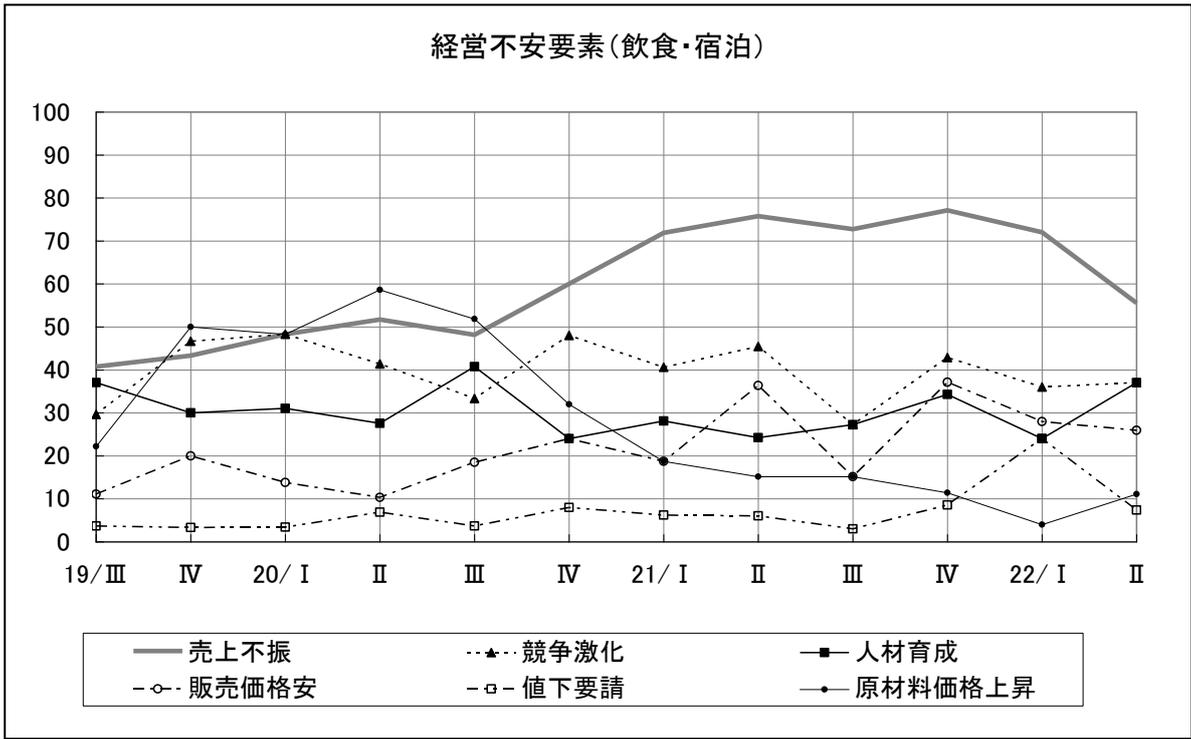


図 54. 経営上の不安要素・サービス

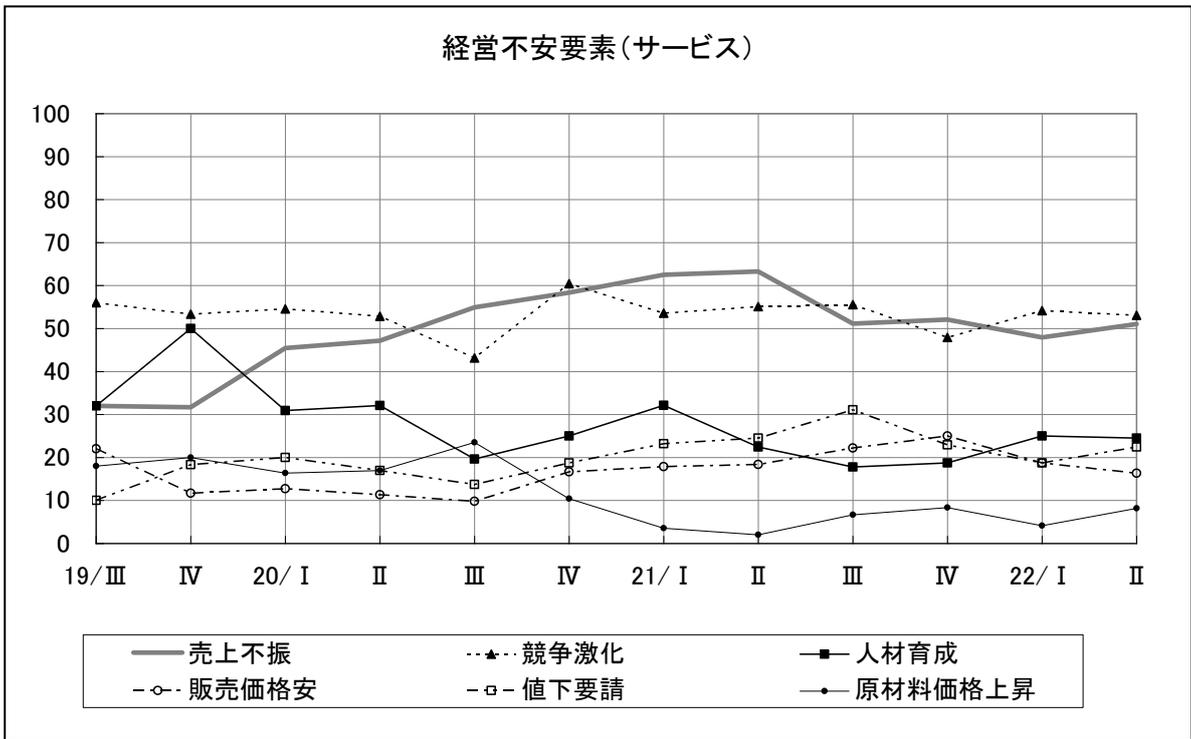


図 55. 経営上の不安要素・建設

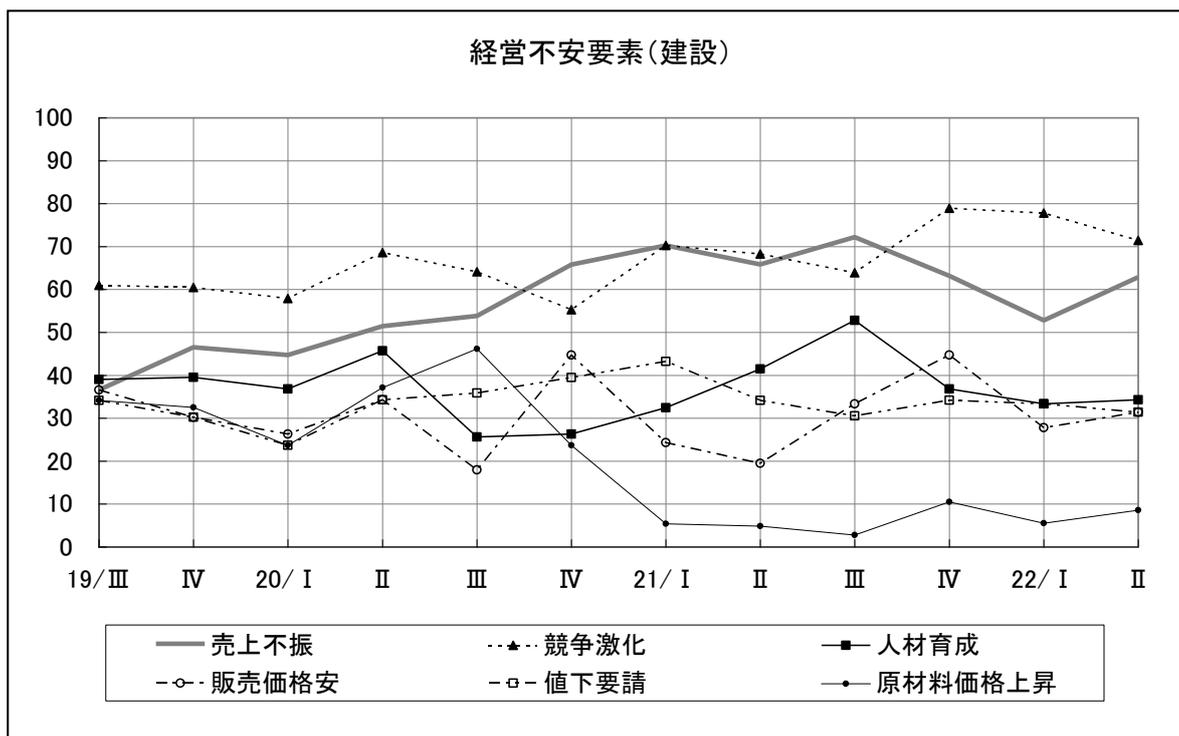


表 14. 経営上の不安要素・回答状況一覧

	競争激化	売上不振	人材育成	値下要請	仕入値上 要請	原材料 価格上昇	金利上昇	販売価格安
全業種	234 46.6%	311 62.0%	150 29.9%	113 22.5%	50 10.0%	73 14.5%	19 3.8%	129 25.7%
製造業	106 43.1%	151 61.4%	73 29.7%	63 25.6%	27 11.0%	54 22.0%	7 2.8%	68 27.6%
西陣	6 24.0%	17 68.0%	5 20.0%	5 20.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	9 36.0%
染色	10 30.3%	28 84.8%	9 27.3%	7 21.2%	4 12.1%	6 18.2%	3 9.1%	6 18.2%
印刷	19 70.4%	10 37.0%	9 33.3%	10 37.0%	1 3.7%	5 18.5%	1 3.7%	11 40.7%
窯業	4 21.1%	15 78.9%	1 5.3%	3 15.8%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	5 26.3%
化学	4 23.5%	7 41.2%	10 58.8%	2 11.8%	2 11.8%	6 35.3%	1 5.9%	1 5.9%
金属	9 42.9%	15 71.4%	6 28.6%	8 38.1%	5 23.8%	9 42.9%	0 0.0%	4 19.0%
機械	17 60.7%	17 60.7%	9 32.1%	12 42.9%	2 7.1%	4 14.3%	0 0.0%	9 32.1%
その他の製造	37 48.7%	42 55.3%	24 31.6%	16 21.1%	9 11.8%	18 23.7%	1 1.3%	23 30.3%
非製造業	128 50.0%	160 62.5%	77 30.1%	50 19.5%	23 9.0%	19 7.4%	12 4.7%	61 23.8%
卸売	27 42.9%	41 65.1%	17 27.0%	13 20.6%	10 15.9%	7 11.1%	3 4.8%	19 30.2%
小売	29 49.2%	44 74.6%	17 28.8%	6 10.2%	3 5.1%	2 3.4%	4 6.8%	16 27.1%
情報通信	11 47.8%	13 56.5%	9 39.1%	7 30.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
飲食・宿泊	10 37.0%	15 55.6%	10 37.0%	2 7.4%	3 11.1%	3 11.1%	0 0.0%	7 25.9%
サービス	26 53.1%	25 51.0%	12 24.5%	11 22.4%	1 2.0%	4 8.2%	1 2.0%	8 16.3%
建設	25 71.4%	22 62.9%	12 34.3%	11 31.4%	6 17.1%	3 8.6%	4 11.4%	11 31.4%
観光関連	17 42.5%	30 75.0%	12 30.0%	7 17.5%	5 12.5%	4 10.0%	2 5.0%	9 22.5%

	技術力 不足	後継者 問題	人手不足	人件費 増加	その他	有効回答	無回答
全業種	52 10.4%	54 10.8%	27 5.4%	63 12.5%	21 4.2%	502 100.0%	12
製造業	32 13.0%	27 11.0%	14 5.7%	23 9.3%	11 4.5%	246 100.0%	6
西陣	1 4.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	1 4.0%	25 100.0%	1
染色	1 3.0%	2 6.1%	1 3.0%	3 9.1%	2 6.1%	33 100.0%	3
印刷	7 25.9%	4 14.8%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	27 100.0%	0
窯業	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	2 10.5%	1 5.3%	19 100.0%	0
化学	5 29.4%	4 23.5%	2 11.8%	4 23.5%	2 11.8%	17 100.0%	0
金属	2 9.5%	1 4.8%	2 9.5%	2 9.5%	0 0.0%	21 100.0%	0
機械	9 32.1%	1 3.6%	0 0.0%	2 7.1%	1 3.6%	28 100.0%	1
その他の製造	5 6.6%	9 11.8%	5 6.6%	8 10.5%	4 5.3%	76 100.0%	1
非製造業	20 7.8%	27 10.5%	13 5.1%	40 15.6%	10 3.9%	256 100.0%	6
卸売	4 6.3%	8 12.7%	1 1.6%	8 12.7%	2 3.2%	63 100.0%	4
小売	4 6.8%	4 6.8%	2 3.4%	8 13.6%	3 5.1%	59 100.0%	1
情報通信	5 21.7%	2 8.7%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	23 100.0%	0
飲食・宿泊	2 7.4%	5 18.5%	5 18.5%	6 22.2%	1 3.7%	27 100.0%	1
サービス	4 8.2%	4 8.2%	1 2.0%	9 18.4%	2 4.1%	49 100.0%	0
建設	1 2.9%	4 11.4%	0 0.0%	7 20.0%	2 5.7%	35 100.0%	0
観光関連	1 2.5%	7 17.5%	7 17.5%	8 20.0%	2 5.0%	40 100.0%	2

## 参考:分野ごとの調査票回収状況

設立年次別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
明治以前	12 ( 2.3 )
明治	20 ( 3.9 )
大正	11 ( 2.1 )
昭和19年以前	28 ( 5.4 )
20~39年	183 ( 35.6 )
40~49年	85 ( 16.5 )
昭和50年以降	81 ( 15.8 )
平成	76 ( 14.8 )
無回答	0 ( 0.0 )
不明	18 ( 3.5 )
合計	514 ( 100.0 )

組織形態別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)
法人	452 ( 87.9 )
個人	13 ( 2.5 )
無回答	49 ( 9.5 )
合計	514 ( 100.0 )

業種別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
製造業	252 ( 49.0 )	非製造業	262 ( 51.0 )
西陣	26 ( 5.1 )	卸売	67 ( 13.0 )
染色	36 ( 7.0 )	小売	60 ( 11.7 )
印刷	27 ( 5.3 )	情報通信	23 ( 4.5 )
窯業	19 ( 3.7 )	飲食・宿泊	28 ( 5.4 )
化学	17 ( 3.3 )	サービス	49 ( 9.5 )
金属	21 ( 4.1 )	建設	35 ( 6.8 )
機械	29 ( 5.6 )	不明	0 ( 0.0 )
その他の製造	77 ( 15.0 )	合計	514 ( 100.0 )

※観光関連 (観光関連の売上げが25%以上)	42 ( 8.2 )
------------------------	------------

資本金規模別回答企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
~100万円	1 ( 0.2 )	3001~5000	74 ( 16.4 )
101~200	0 ( 0.0 )	5001~1億円	49 ( 10.8 )
201~500	31 ( 6.9 )	1億円超	9 ( 2.0 )
501~1000	164 ( 36.3 )	無回答	1 ( 0.2 )
1001~3000	123 ( 27.2 )	合計	452 ( 100.0 )

※法人のみ

従業員規模別企業数 (%)

項目	企業数 (構成比)	項目	企業数 (構成比)
0~4人	69 ( 13.4 )	50~99人	70 ( 13.6 )
5~9人	83 ( 16.1 )	100人以上	39 ( 7.6 )
10~19人	110 ( 21.4 )	無回答	1 ( 0.2 )
20~29人	71 ( 13.8 )	合計	514 ( 100.0 )
30~49人	71 ( 13.8 )		

# 第95回京都市中小企業経営動向実態調査

京都市産業観光局

( TEL:222-3325 )

【締切日 平成22年6月7日(月)】

貴社の概要を御記入ください。

(該当する箇所には○印をお付けください。電算処理致しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名						
経営形態	法人・個人	資本金		万円	電話	—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成)	年	従業員数			人
※業種	製造業： A西陣・B染色・C印刷・D窯業・E化学・F金属・G機械・Hその他の製造					
	非製造業： I卸売・J小売・K情報通信・L飲食店、宿泊・Mサービス・N建設					
	観光関係の売上げ： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 25%未満 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上げの割合を指します。 「観光関連の売上げ」がない方は、「3 25%未満」に○をお付けください。					
主な製品・商品、サービス						
御記入者	部課：	役職：	氏名：			

※業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

(1) 景気動向についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。

項目	期間	平成22年4月～6月の実績 (前年の同期と比較して)			平成22年7月～9月の予想 (前年の同期と比較して)		
		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
貴社の業況		増加	不変	減少	増加	不変	減少
生産加工量・販売量		増加	不変	減少	増加	不変	減少
経常利益(税引前)		増加	不変	減少	増加	不変	減少
製品・加工単価、販売単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
仕入単価		上昇	不変	下降	上昇	不変	下降
製品・商品在庫量		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
雇用人員		過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
資金繰り		楽	普通	苦	楽	普通	苦
同業他社との競争		激化	不変	緩和	激化	不変	緩和
「製造業」 を営む方 のみ回答	受注残	増加	不変	減少	増加	不変	減少
	生産設備	過剰	適正	不足	過剰	適正	不足
	設備投資	した	していない		する	しない	

(2) 該当するものに○印をお付けされた理由を御記入ください。

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |              |               |             |
|--------------|---------------|-------------|
| 1 営業力の強化     | 2 生産・経営の合理化   | 3 人材確保・育成   |
| 4 新規産業分野への進出 | 5 顧客、市場の開拓    | 6 新商品の開発・販売 |
| 7 研究開発体制の強化  | 8 情報収集・分析力の強化 | 9 その他( )    |

(裏面も御記入ください。)

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印をお付けください。(複数回答可)

- |           |          |                |
|-----------|----------|----------------|
| 1 競争激化    | 2 売上不振   | 3 人材育成         |
| 4 値下要請    | 5 仕入値上要請 | 6 原材料(特に )価格上昇 |
| 7 金利上昇    | 8 販売価格安  | 9 技術力不足        |
| 10 後継者問題  | 11 人手不足  | 12 人件費増加       |
| 13 その他( ) |          |                |

(5) 貴社の融資の利用状況についてお尋ねします。

現在、融資を利用していますか。どの融資を利用していますか。該当するいずれかに○印をお付けください。(複数回答可)

- |              |              |                            |
|--------------|--------------|----------------------------|
| 1 金融機関プロパー融資 | 2 京都市・府の制度融資 | 3 日本政策金融公庫など<br>その他公的機関の融資 |
| 4 分からない      | 5 融資は利用していない |                            |

(6) (5)で1~4と回答した方に、貴社の中小企業金融円滑化法(以下、「円滑化法」)の利用状況についてお尋ねします。

A. 円滑化法施行後、既借入金に係る条件変更を金融機関に申請しましたか。該当するいずれかに○印をお付けください。

- 1 申請した。もしくは今後申請を検討している (⇒ Bへ)
- 2 申請する予定はない (⇒ Dへ)
- 3 「円滑化法」自体を知らない

B. Aで「1 申請した。もしくは今後申請を検討している」と回答した方にお尋ねします。各設問とも、該当するいずれかに○印をお付けください。

設問	回答欄		
① 円滑化法施行による既借入金に係る条件変更の申請環境の変化	1 申請しやすくなった	2 変わらない	3 その他 ( )
② 条件変更の申請先	1 取引金融機関	2 信用保証協会	3 政府系金融機関
③ 金融機関等の対応	1 条件変更が承諾された	2 現在、申請中	3 条件変更は否認された

C. Bの③で「1 条件変更が承諾された」と回答した方にお尋ねします。各設問とも、該当するいずれかに○印をお付けください。

設問	回答欄		
① 条件変更の手法	1 返済期間の猶予 (返済猶予)	2 毎月の返済額を減額	3 その他 ( )
② 条件変更後の新規借入の有無	1 新規借入を申請した	2 新規借入は検討していない	3 その他 ( )
③ 今後希望する借入金の返済緩和の手法	1 返済猶予等の条件変更	2 既借入金の借換の一本化	3 その他 ( )

D. Aで「2 申請する予定はない」と回答した方にお尋ねします。該当するいずれかに○印をお付けください。

設問	回答欄		
円滑化法を利用しない理由	1 条件変更する必要がない	2 新規融資への影響が不安	3 その他 ( )

(7) 今後期待する資金繰り支援策について、ご意見をお聞かせください。

(お忙しいところ、御協力いただきありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。)